滿洲日報
夕刊 十二月六日
大連市東公園町一番地 發行所 株式會社滿洲日報社

蔣、張兩氏間に決定の中央對東北省の關係

外交、交通、財政を中央に移管

連絡係には張繼氏

【上海特電五日發】張學良氏が出發に際して蔣介石氏との間に纏まつた中央政府對東北關係に關しての重大なる決定事項左の如し

明年一月一日より新税率を實施、同時に釐金撤廢を機會として東北四省の半獨立狀態を改め外交、交通、財政の三件を完全に國民政府の手に移し全國統一の實を擧げると、其具體案左の如し

外交 從來中央と東北は滿蒙諸問題につき二重外交であつたが明年一月一日より全部中央に移し内部的に東北は中央に具申し一致して統一のされたる外交方針を立てること

交通 滿洲における北寧、四洮、吉長三國有鐵道はこれを中央政府交通部に移しその他吉敦、奉海、吉海、洮昂、呼海、齊克等の省有鐵道は當分その儘とし、これが監督權は矢張り中央政府交通部が握ること

財政 地租は全國一率に從來通り省の收入としその他の收入は全部中央へ送り必要の經費は更めて中央より交付す、なほ東北邊防軍の名義は明年一月一日より中央國防軍と改稱し、東北における上級黨部は東北の官吏がこれに當る

なほ南京よりの情報によれば中央對東北關係の連絡については張繼氏が奉天に赴き駐在すること〻なる

張學良氏天津着

今明日中奉天に歸る

【天津特電六日發】張學良氏は六日午前七時半天津に到着、フランス租界の自邸に入つたが今明中に奉天に歸還のはず

蔣介石氏潮江

【南京五日發電通】蔣介石氏は今夜十時軍艦にて南京發漸南、湖北、江西の共匪討伐督勵のため上流に向つた、約二週間で歸京の豫定である

共匪南下に漢口不安

【漢口五日發電】新州方面の共産軍は四十八師の討伐隊を撃退し續々南下を始め揚羅司近くに迫りつゝあり黄州、岳城兩縣城は城門を閉じ籠城準備中で市民は昨夜來當地に避難しつゝあり、黄州、岳城が共匪の手に陷れば漢口下流航路は杜絶すべく揚羅司が占領されれば漢口は危機に直面するので武漢行營は大狼狽し四十四師全員を同方面に急派するに決し司令部は今朝軍艦に出動したが兵力尚不足で樂觀を許さない

馮玉祥氏

青島經由日本へ

【上海五日發電通】某方面の情報によれば津浦沿線袁州に現はれた馮玉祥氏は袁州より濟南に出で膠濟線で青島に向ひ青島から日本に亡命するに決した模樣、なほ馮玉祥氏は天津經由に危險を感じ石友三、韓復榘氏等舊部下の駐屯する道筋を選んだものと見られてゐる

閻錫山氏は大連へ

一兩日中天津發

【天津特電六日發】閻錫山氏は一兩日中に大連汽船に搭乘し大連に赴く響

立見式の議會傍聽席

第五十九議會開會も二旬後に迫つた今年から院内の模樣替へを急いでゐたが through 傍聽席後方も[illegible]の立見式に改造され、この程完成した【寫眞は議會傍聽席の立見式】

政府、與黨の統制上黨務代行者を置く

安達内相を推さん

【東京六日發電通】民政黨では濱口總裁に代つて黨務を代行せしむべく副總裁を置くべしとの議論が與黨少壯代議士中に擡頭してゐたが黨内の議が熟せず又幹部においてもこれが實現には種々の事情より面倒な筋があるとて既に贊成せぬ向もある、一方濱口總裁の經過は頗る順調で來年休會明けの議會に出席の見込み十分立つてゐても既に目前に迫つた議會召集を控へて實際問題として豫算編成上、議會の重要黨務を控へてゐるのでこの際總裁に代り政府を代表して與黨との聯絡統制の任に當る閣僚が必要であるといふに幹部の意見一致しこれがため原幹事長總務は五日安達内相と會見の際種々意見交換の末更に近日中幹部と黨出身閣僚との間において篤と協議の上決定することゝなつたが結局黨出身閣僚中順序からして安達内相が總裁の病氣中政府與黨間に立ち特に總裁に代つて黨務を代行する事となるであらう【寫眞は安達内相】

副總裁と稱せず

與黨少壯派の意見

【東京六日發電通】民政黨少壯代議士又新會は五日午後六時より新橋東洋軒にて例會を開き松浦、眞鍋氏等二十九氏出席減俸問題につき更に實現に努めるに決した後副總裁問題については濱野外十餘氏より濱口總裁は休會明け議會に出席し得るは確信するが病後の身故これを補佐し政府與黨間の聯絡統制に當る副總裁を設置するは時期を得たものである

と贊成したが

この際副總裁の語は面白くないから聯絡係りといふやうなものでよくないか

との異論出で結局總裁が休會明け議會に出席に至るまで黨務の中心となりて活動する中心主體を設くべし

との意見に滿場異議なく一致した右は決議や申合せとする事を避け單に少壯派の空氣として發表する事とし次いで

第五十九議會の陣立はこの際閣僚等に捉はれず新進有爲の人物を抜擢し溌剌たる活動をなさしむべし

といふに滿場一致九時過ぎ散會した

聯絡係懇談

【東京六日發電通】濱口首相の病氣中總裁に代り政府與黨間の聯絡統制の任に當るべき所謂聯絡係閣僚の件に關し九日午後黨出身閣僚と總務との懇談會を開き決定する豫定である

東北黨務委員會は多分明春成立せん

既に組織準備に着手

南京における張學良氏と中央黨部の協定により東北四省に省及縣黨務指導委員會を組織するに決定したので東北黨務委員會は目下これが組織準備に着手してゐるが同委員會には黨務の經驗ある者[illegible]以て河北省黨部員六名を呼寄せ準備事務に當らしめてゐる、なほ東北黨務委員會の成立は多分明春となる見込みである【奉天電話】

地方税の輕減要求

大藏當局反對

【東京六日發電通】減税財源の一部を地方税の輕減に割いて貰ひたいとの内務省の要求に對し大藏當局は強硬に反對し目下行惱みの狀[illegible]

北寧線公債發行期日と利率

奉天の三銀行で引受

北寧鐵路局が[illegible]關車購入のため起債する北寧鐵路[illegible]五百萬元は既に南京立法院の審議通過を經たが利率月八厘、額面金額發行、發行期日は第一回は昭和六年一月十六日(九十萬元)第二回は同年十一月十六日(八十萬元)昭和七年一月十六日(百二十萬元)同三月十六日(百二十萬元)で第一回分は十五ケ月、第二回分は二十四ケ月償還、引受銀行は金城、鹽業、中南三銀行である(奉天電話)

關税減税案の大綱

明六年度には九百萬圓

【東京六日發電通】大藏省では減税案につき全く成案を得るに至つたがこれに伴ふ地方税たる附加税改正につきなほ内務省と交渉中である、決定せる大藏省の關税減税案の大綱左の如し

減税方法

△地租 新たに賃貸價格標準の地租法を制定し税率を百分の三、八とす

△營業收益税

一、個人營業收益税は百分の〇、二を引下げ百分の二、六とす

二、法人營業收益税は見分の〇、二を引下げ百分の三、四とす

三、千圓以下の所得者は所得額より百五十圓を控除して課税す

△砂糖消費税 第一種より第五種を通じ約一割の減税を爲すが黒砂糖、赤砂糖は第四種第五種より幾分多く減税する

△織物消費税

一、税率百分の一〇を百分の九に引下ぐ

二、絹綿、人絹綿の混織物にして綿九十五パーセント以上のものは免税す

三、下級毛織物、下級麻織物は列擧方法により免税す

減税金額(單位百萬圓)

明年度	九〇〇
七年度以降年々	二、五〇〇
内譯 地租約	一、〇〇〇
營業收益税約	四五〇
砂糖消費税約	七〇〇
織物消費税約	三五〇

實施期

明年度九百萬圓でこれに適應し税目により異なり營業收益税は六年十一月一日、織物、砂糖消費税は七年一月一日、地租はその後となる模樣である

國資に二千五百萬圓の餘裕を生じたのでこれを減税に充當せんとするもので從つてこの二千五百萬圓は國税に振り向けらるべきものである、只この國税減税によつて負擔關係に不均衡が生ずるならば地方財源の節約によつて財源を捻出し之を補正するを至當とするといつてゐるので本問題の解決までには十日位を要するものと見られてゐる

霧社事件審査

【東京六日發電通】臺灣霧社事件につき研究會では六日午後三時より政務審査部會を開き特に松田拓相の出席を求め詳細説明を聽取する事となつた

文制審議會

【東京五日發電通】師範教育改善に關する文制審議會の第二日は五日午後一時から首相官邸に開會前日に引續き審議に入り質疑應答あり委員長林博太郎博士以下十五名の特別委員に附託し午後四時半散會した、第一回特別委員會は八日午後一時より開會の豫定である

滿鐵々道部異動

主任助役級十四名

滿鐵では六日社報を以て鐵道現業の主任助役級の人事異動を左の如く發表した

四平街驛貨物主任 向野元生
鐵道部勤務を命ず(海外出張)
[illegible]運課勤務 竹森豐男
四平街貨物主任を命す
鄭頭事務所貨物方 石川常長
鄭頭事務所貨物助役を命ず
吾妻驛貨物助役 白川義隆
鐵道部庶運課勤務を命ず
鄭頭事務所貨物助役 武知幸廣
吾妻驛貨物助役を命ず
奉天驛貨物主任 桑原已代治
鐵道部貨物課勤務を命ず
遼陽驛貨物主任 藤原龍一
奉天驛貨物主任を命ず
鐵道部庶務課勤務 橫山圭一
遼陽驛貨物主任を命ず
長春驛貨物助役 園重久
鐵道部庶務課勤務を命ず
大連驛貨物助役 田代佐重
長春驛貨物助役を命ず
新臺子驛助役 平山惣吉
大連驛貨物助役を命ず
五龍背驛助役 中村三郎
新臺子驛助役を命ず
大石橋小荷物方 田方幸四郎
五龍背驛助役を命ず
(以上各通二日附)
總務部檢査課技師 高野氣太郎
計畫部能率課兼務を命ず(三日附)

關東廳の異動決定

大連警察署長に石井警視拔擢

新民政署長は中旬ごろ發表

大連警察署長後任の人選については豫て關東廳首腦者において、今や歳末警戒期に入り、併せて最近頻發する強盗殺人事件に鑑み急ぎつゝあつたが、いよ〳〵長春警察署長石井金三門氏(警視六等)に白羽の矢をたて近く發令を見ることになつた、これによつて長春署の初めその他警視署長級に異動が行はれる筈である、しかして新任警視には現警務局高等警察主任部清水豫氏が拔擢任命されることになつた、かくて石警務局内の事は衞生課長を内地から輸入して完備するわけであるが、新設の三民政署長の任命と事務官、理事官の大體[illegible]十四五日ころ發令されるべく、而して金州民政署長には前旅順支署長增田道義氏(事務官六等)が昇任に決定した

警察界のピカ一

石井新任署長

新任石井大連署長は東京府生れ大正三年渡滿、同八年警部となり旅順、大連兩民政署、警官練習所教官を歷任し大正十五年警視に昇任、營口署長となり昨冬の大異動によつて長春署長に榮轉したものである、氏は各地警察署長中の最古參警視にして同時にまた辯護士試驗に及第した滿洲警察界のピカ一である【寫眞は石井氏】

簡易保險金は今後即時拂

局へ請求と同時に

愈よ來る十一日から實施

簡易保險の規定が改正されて本月十一日から郵便局で直接保險金の即時拂ひを取扱ふ事になつた、これは從來保險金支拂の場合總て請求書が東京の簡易保險局に廻送され同局で支拂決定後郵便局から支拂はれてゐたのが今度は郵便局へ請求と同時に支拂はれる事になるので受取人には非常に便利となつた譯である、大要左の通りである

一、取扱局、管内各郵便局及び出張所(郵便所を除く)でその契約の保險料の拂込みを受持つてゐる局所に限る

二、即時拂ひ取扱ふべき契約の範圍

(イ)契約の效力發生後二年を經過(復活のものにありては契約の效力發生後二年を經過し且つ復活の效力發生後一ケ年を經過)し保險料拂込み期間内に被保險者の死亡した契約であること、但し傳染病豫防法第一條第一項に係る傳染病に關する死亡ならば經過期間の制限なし

(ロ)契約または復活の效力發生後五年内に被保險者が死亡したる場合はその死亡の原因が契約締結後發生したるものに限る

三、辨済未了の貸付金の在るものに限る

四、受取人の氏名を指定した契約若し指定なければ被保險者の家族相續人がその相續の屆出を濟したるものに限る

五、被保險者死亡後三ケ月内の請求に限る

六、書類の完備されたものに限る

走馬燈

知功生

農業金融機關の提唱に就いて(下)

批評すれば際限ないが、かうした反省があるに拘らず、農業資金に關する金融機關の改善は必要だ、併しそれはただ低資の一般的貸出のみに喰附けるのも考へもので、貸出の主體を農會とする説が起る所以だが、私は更に農會自體が、先づ自治的金融組合を基礎附け、その信用の上に低資を借入れるのが必要だと思ふ、斯ういふと金融組合の基礎、即ち特産の必要な所以でないかといふであらう、しかし理窟はさうだが實際は非常に異ふ、勢ひ從來の特權なる者を見るに眞に必要から起つた議論と便宜論との區別がある、結局思想的助長策に陷り、甚だしきは或る意味の中間者を拵へたに過ぎない、現に内地でも農林省の低資融通が、深刻にそれを[illegible]自作農者に徹底せずして、中間の有志者に利用されさうになつたとの嘆聲なく、有りさうな事だ。

◇

私は今の南滿農家金融機關の提唱者が、さうした意味の分子だとは決して思はぬ、しかし何處でも陷り易い傾向は低資の曲解で、ブラジルのコーヒー國でもダバオの麻栽培でも、同じく盛んに低資貸出論が唱へられて居る、否現に當地の水産業者間にも起つて來たが、何處でも疑義を生ずるのは主體問題だ、若し深くこれを研究しないならば、たとひ當然の動機は純良であつても、その結果は動もすれば好くない、殷鑑遠からず、世界各地の日本植民地にさうした弊害が多分にある、農業地帶はそれ自體が生産力を有するだけ、比較的融資物件として安固なやうだが、金融業者に農業的智識經驗なく、農業者また金融に關する素地ない場合は、却々思ふやうにならぬ者だ、私は屢々各地で此種の意見をきかされたが、融工業にせよ、農事經營にせよ、さうした組合自體が大小に拘らず鋭く消費的弊害を避け、官府若くは親銀行をして、合理的に低資貸出の途を講ぜしめることが、最も策の得た者でないかと考へた

◇

忌憚なくいへば、滿鐵農事經營者の生活樣式、土地に對する經營觀念は、餘りに千種萬態だ、其處に過渡期の已むない事情がある譯であらうが、併し眞に各個人に就いて考察すると、資力あるもの必ずしも成功の端緒を握つて居らぬ當然の資力は徹頭徹尾だが、純農者としての努力を傾注する者に、將來の大成を思はせる萌芽がひそみ、何の點から考へても、本業自體に起因した貧擔らしくないのもある、それは世相の常態ださいへぬ事もないが、併し當業者の不一致は其處から生れる、換言すれば對外的には一塊の意志を見得られるが、内部の希望、その希望の因つて來つた動機は千差萬別だ、それを大摑みに助成しやうとするのは好いかどうか、第三者は屢々疑ひなきを得ぬ。

◇

各種の問題が起るたびに、私は自ら現地に就いて獨自の研究を仕やうと試みた、當局者の措置にも手落ちはあるが當業者の意見も固まつて居ない、製鋼所問題がさうだ、遼陽工場移轉問題がさうだ、滿寶問題また然りである、表面では斷然相對立して是非の論を立てゝ居るやうだが内容は彼此の利害が相錯綜して定見を捉へにくかつた、それと同じく農業資金問題の如きも、要點は先づ農業者自體の内部的結束を固め、その根柢となるべき具體的成案を實現し、それを中心に漸次發展させて行くにあると思ふ、直言すれば既成の金融機關に缺陷があつて、若し之れを改善するに於ては、別に新たに機關を成立させないでも、充分その使命を發揮せしめ得る、恐らく當事者自身にも其方途の發見に苦しんで居るであらう、從つて農業團體の躊躇點は、彼等を承服さすに足る成案を提示するのが先決問題だ、希望だけ披瀝して、アトは官憲と金融當事者との裁量に任すといつた、月並の運動に了らざらん事を切望したい、要するに究極は個人の信用であり、その信用ある個人の團結力だ。

吉田大使親任式

【東京六日發電通】外務次官よりイタリー大使に榮轉した吉田茂氏の親任式は六日午前十時半より宮中鳳凰の間において幣原首相代理侍立の上左の如く行はせられた

從四位勳三等 吉田茂
任特命全權大使
伊太利國駐箚被仰附

佐藤大使親任式記

【東京六日發電通】本日新任駐白大使佐藤尚武氏に對し左の如く親任の官記傳達があつた

特命全權公使 佐藤尚武
任特命全權大使日本白義國駐箚被仰附

辭令

【東京六日發電通】從四位勳一等 澤原[illegible]

ドイツにおける東洋研究熱勃興

日本文學研究の獨學生語る

【ハルビン特電五日發】大毎の交換ドイツ學生ヘイユウシュ氏は日本文學研究のため五日歐亞連絡列車で通過したが語る

最近ドイツには日本文學特に東洋の研究熱勃興してゐる、夏目漱石氏の作品はドイツの各方面に刺戟を與へてゐる

歐亞聯絡列車から

歐洲各國の燃料研究

志賀理學士談

又同列車で涌過の動力會議に出席した志賀富士男(故重昂氏の息)理學士は語る

歐洲における燃料、殊に石油の研究はフランスが幾でオイルセールもドイツで成功するとの意氣込み、學者も金持で却々近づき難い、理論的にはフランスが一番優れてゐる、モスクワでは何か變事があつたのか大砲機關銃を並べてゐたさいふ浮説で賑いでゐた

高等科生修了式

關東廳警察官練習所第二十期高等科生修了式は五日午前十時より旅順振武館にて所長中谷警務局長、安岡高等法院檢察官長、森本警務課長、二宮憲兵隊長其他來賓多數列席の上盛大に擧行、開式に次いで中谷所長より左記十名(△印は即日附を以て巡査部長に昇進)に對し修了證書、考査試驗合格證書に武道進級辭令等を夫々授與し星子生徒監の成績報告、警務局長の訓示、二宮憲兵隊長の祝辭、生徒總代の答辭を以て閉式、一同振武館前にて記念撮影をなしたる後立食の修了祝宴を催した

巡査部長荒木通、同河本七三郎△後藤芳雄△浦部東一郎△長安武男△山口銀三△黒瀬始△島崎成義、永松增明△伊東政敏△松島仁平△大井幸太郎、高野榮五郎、鹽崎廣次郎、土居公則、竹下文吉、藤井英夫、吉田春衛、山内俊治、安川伊八

驅逐隊初度巡航

旅順第十六驅逐隊は來る十五日旅順出港渤海沿岸警備區域の初度巡航に赴き二十日青島に寄港二十五日旅順歸港の由

ばいかる丸

七日午前八時半大連港外着の豫定

人事

▲岡本乙一氏(辯護士) 六日午前十一時出帆の長春丸にて上海へ

▲竹内克己氏(著述業) 同上

▲小野喜作氏(辯護士) 六日午前十時出帆のあめりか丸にて内地へ

▲森田茂氏(代議士) 同上

▲丹羽保次郎氏(工學博士、日本電氣株式會社技術部長) ラヂオ展講演の爲め來連中の處六日夜行にて朝鮮經由内地へ

▲小澤新之輔氏 母堂並に令姉不幸に際し深甚なる同情と弔意を表せられた御禮の爲め六日市内各方面歷訪

東洋拓殖會社總裁被仰付 宮尾舜治

依願東洋拓殖會社總裁被免 なほ菅原通敬氏は五日民政黨を脱黨した

大觀小觀

蔣、張合作により、東北省の外交、交通、財政三權を明年一月より中央に移管。

◇

内亂鎭まり、全國和平統一の實擧がるは、隣邦日本も望むところ。

◇

東拓、新總裁を迎へ、積極的に事業遂行を圖らんとす。在滿邦人に濶はんことを祈る。

◇

大藏省の減税案大綱成る。軍縮の有難味はこれ。

◇

漸く再開した鮮支交渉の基調は一部平等、それは既定の根本方針。今までつまらぬ道草を食つたもの

天氣豫報

七日(南西の風)曇り時々晴

各地溫度

十一時 五日最低

	十一時	五日最低
大連	二、九	零下〇、五
旅順	七、八	一、三
營口	零下六、三	零下八、一
奉天	同 六、四	同 七、七
長春	同 六、二	同 九、二

照宮樣、けふ御誕生お迎へ
伊豆地方大震災で御祝宴お取止め

【東京特電六日發】照宮樣におかせられては今六日をもつて滿五年の御誕生を迎へさせられたが、この日正午御祝膳につかせ給ひ天皇、皇后御兩陛下からも御玩具の御祝品を拜し、御祖母皇太后陛下からは御祝膳に添へて鯛一臺を賜るなど宮中はわかき内親王樣を御中心に御慶びにあふれた、また山岡同御養育掛その他奉仕、奉仕者達が打揃つて參内宮樣に拜謁御祝詞言上したが、御祝宴は伊豆地方の大震災により御取止め遊ばされた（寫眞は照宮さま）

御發育も御見事
幼稚園兒と御一緒に和かな半日をお暮し

【東京特電六日發】照宮樣には、六日を以て滿五年の目出度き御誕生日を迎へさせられた、今秋十月六日、おはかり申したところによると御身長は早くも三尺三寸七分と拜し奉つた、また先月六日の御體重は四貫二百二十七匁にて御發育極めて

＝御順調＝ にわたらせられる御趣きである、天皇、皇后兩陛下の御一方ならぬ御愛撫を受けさせられて御妹孝宮樣と宮城皇子御殿に和やかに御暮しの宮樣は最近殊に大人びて渉らせられた、先月から毎週火、金の兩日赤坂離宮御苑内の舊生物學御研究所跡に成らせられ女子學習院教授宇佐美ケイ子女史の御指導で女子學習院幼稚園兒十名と御一緒に可愛い唱歌や遊戯、色紙細工などに打興ぜさせ給ひ、御苑に咲き競ふ花壇の草花いぢりを遊ばされ、花に譬れた

＝御手を＝ 先生に示されるにも「パッチー」と仰せられることもあると承はる、快晴の時は砂遊び、粘土細工、さてはブランコ、滑り臺などで御學友と共に和かな半日を送らせられるのが常とならせられた、この頃では御人見知りのこともなく御快活御聰明な御資性に渡らせられる、先月十八日皇后、皇太后兩陛下には御揃ひで、照宮樣が園兒と共に圓卓に興ぜさせられ御手藝に

＝御餘念＝ なきさまを赤坂離宮で御覽遊ばされて殊のほか御滿悅になつたとのことである

滿鐵のボーナス
基金減額三十萬圓
日給は五分、月給は一割減斷行
成績で支給額に大差

財界不況の打擊をうけた滿鐵にては事業不振による收入減のため止むなく本年は會社の賞與基金全體に就て日給は五分、月俸は一割減を斷行することゝなつた、しかして例年普通賞與が十日まで、特別賞與が廿日までに支給されてゐるが月俸社員の普通賞與は從來のまゝとし特別賞與において改正されることゝなつてゐる、但しこの一割減額は基金の減額であつて各人に對しては各人の働きを充分に考査して支給されることゝなつてゐるから必ずしも各人一樣に減額されるものでなく、從つて各人の差が多くなることは當然の結果と見ればならない、尚この基金減額高は大體三十萬圓見當と見られてゐる

風說を憂慮
首相の經過發表
鹽田、眞鍋兩博士名で　きのふ民政黨から

【東京五日發電通】濱口首相の容態につき議會を控へて種々風說あるを憂へ政府與黨は五日鹽田、眞鍋兩博士の名にて容態經過を左の如く發表した（五日午後六時）手術後第三日中は化膿性腹膜炎の併發を憂慮せしもその事なく腸管の麻痺も同復し疎通確實となり、飲食物攝取も逐日量を増し手術後第五日に至り排便あり、腸管疎通障碍の根本を懸念せしもこれまた異狀なく便通良好にして消化も良好なり、今後創面中障碍を起すべき模樣もなく現在の狀況では彈丸摘出の必要を認めず、以上の如くなるより近時體溫は三十七度を越えず呼吸、脈搏は共に平靜順調なる體力の回復を見つゝあり

店びらき
福岡（JKO）が愈よけふから

【福岡六日發電通】多年の懸案であつた福岡放送局の新設が叶ひよく本日から放送開始、L・Kの聲で呼び掛けることゝなつたので、午前七時ラヂオ體操から放送

岡山地方にも弱震

【岡山六日發電通】今朝五時半ごろ當地方に可成りの地震あり、市民は戸外に飛出した、發震時は五時三十二分、震動時間一分、震幅一粍、震動の響き方で性質は急、震源地は淡路島の西方海底らしいと

方面委員制度
愈よ近く發令
規程や顏觸れも決定

關東廳では現下社會の生活改善並に公私救護事業の促進を圖るため大連市一圓に方面委員制度を施行すべく過般來慈善公共團體並に施設を要すべき事項、不良住宅地域内に於ける風紀、衛生問題等具に調査し且つ規程の草案、委員の人選に着手する等準備を整へてゐたが、生憎、太田長官が上京不在であつた爲め遅れて延々になり今日に至つてゐた處が長官もこの程漸く歸廳し最も必要とされる方面委員規程も決裁となり、また委員の銓衡も確定して今度こそは旬日を出でず實施される運びになつた、いよ〳〵活動を開始するのはこの月中に擧行される發會式後からである。尚方面委員の掌理事項として傳へられる處は左の通りである

一、一般社會並に生活狀態を査察しこれが改善向上を圖ること
二、救濟または指導を要する者に對し各個の事情を精査しこれに對する適當なる措置を講ずる事
三、人事の相談に應ずること
四、不良住宅地域内における衛生風紀の改善を圖ること
五、既設社會施設の活動を助成し新に建設を要すべき事業等を攻究すること
六、その他特に調査實行を委囑する事項

警察も手を焼いた
ハンドバッグ搔拂ひ
ゆふべ大廣場で婦人を襲ひ捕る
二青訓生の大手柄

大連大廣場青年訓練所生が今春來婦人を襲ひハンドバッグ搔つ拂ひ犯人の現行犯を目撃し格闘の上逮捕し民衆警察の模範を示した――五日午後七時三十分ころ神明町八番地花岡一枝（二）が近隣の奥さん三人連れで浪速町で買物を濟まし大廣場ヤマトホテル前を通行中、

薄暗り からツカ〳〵と寄つて來た一名の支那人が矢庭に一枝の手から現金十三圓入りのハンドバッグを強奪逃走したので、一枝が「泥棒々々」と叫んでゐるを、附近散歩中の大廣場青年訓練所生市内桂町二二番地田中正典（一）と春岐町二四番地田中大助（一七）の兩君が馳せつけ、千代田町方面に逃走する犯人を追跡し、大廣場小學校前で格闘のうへ逮捕、大連署司法係に突き出した、犯人は沙河口胡家屯常保財（二五）といふ今春來屢々として浪速町中心に出沒し

雜踏に 紛れて婦人のハンドバッグ專門の搔拂ひを働き、巧に姿を晦ましてゐたので當局もこれが逮捕に手を焼いてゐたものである、なほ星署長事務取扱は犯人逮捕の二少年の行爲は民衆警察の模範とすべき勇敢なる行爲であるとて賞揚し六日二少年に對し金一封を贈つた

共犯者も逮捕

青年訓練所生が逮捕したハンドバック專門の搔つ拂ひ犯人は二、三名の共犯關係があることも判明、大連署で捜査の結果、六日午後十時ごろ常廷山（二〇）といふ共犯者を近江町で保甲中取押へた

賭場荒し捕ふ

去月十二日午前一時ごろ大連黍山街六二番地侯錫殿方の賭博場へ警官を装ふて闖入し大洋三圓と小洋七圓を奪つて逃走した三人組強盜犯人のうち二名は小崗子署で逮捕されたが殘り一名の石道街東部二二番地劉福田（二七）は逃走中のところ五日夜大連署猪瀬刑事が逮捕した

生存權を奪はれ
五千圓女給遂に大連を左樣なら

「もう決して大連には戻つて來ません」と吐き出す樣に記者に投げつけて五千圓女給の大内衣子は六日出帆のあめりか丸で内地に歸つた、彼女は先般古巣の大連に舞ひ戻つて女給にならうと思へば警察から不許可、カフエー經營も罷りならぬ、折角大日活の長さんが

百圓也 でテケツに雇入れやうとすればそれも警察の干渉で罷りならぬとつひに大連では生存權さへ奪はれて何時までも五千圓が懷中にあるわけでなし、昨夜も歸國の旅費がないので例の三百圓也の白狐のショールを博多屋に質入れしやうとしたが、ダイヤカフエーの主人が俠氣を出して旅費を與へたといふ次第――「五千圓だ五千圓が來た」と折柄船内外の見送りの人々の好奇な眼から逃れるやうに

三等室 に隱れたが、記者がなほもつかまえて話しかけやうとすれば用心棒の樣に傍らに附き切りのダイヤのおやぢさん「そんな男放つときなはれ」と衣子を連れて人込の中へ――

森田氏歸京

去る一日來連した民政黨代議士森田茂氏は六日出帆のあめりか丸で歸京したが「大分お土産が出來ましたか」と船中に訪へば「いや年内にも一度來なければならぬ、一寸した私用で副總裁や大森理事等と新濱で飯を喰つて大いに猥談をやつたよ、今度來た時には君等と一度ゆつくり猥談でもやらうわはゝゝゝ」と相變らずの大元氣であつた

調査の粗漏から
料理店を破産の運命へ
大連署の苛酷な營業取締りに
非難の聲漸く昂る

大連署保安係が法規を楯に苛酷な營業取締を行ひ不況に喘ぐ一營業者を破產運命に突き落したといふ聲が出來し行政上考慮すべき問題であると非難されてゐる、卽ち市内逢坂町四九番地

松市樓 こと山田コタケは抱妓に稼高の分け合ひを支拂はなかつた廉により過般大連署保安係から一週間の營業停止を命ぜられたが、これが致命的打撃となり遂に破産の運命に突き落されて廢業した、松市樓が抱妓に分け合ひを仕拂はなかつた理由は樓主的、貪慾から來たものではなく裏面には打ち寄せる深刻な不景氣のため極度の營業不振を招き、米すら一升買ひでその日をすごしてゐたといふ窮狀、

脊に腹 は替へられぬ餘儀なさから生じたといふ同情すべき事情にあつたことが逢坂町廓組合で調査の結果判明したが、大連署ではこの同情すべき一營業者の行爲を調査するところなく單に樓主搾取にして營業停止を命じ所謂生存權を絶つたもので、この種の事態に際しては寄つて來るところの眞相を調査し行政上遺漏ある取扱ひをなすべきだと云はれ、今回大連署が執つた遺漏なき態度は當業者の

怨嗟の 的となつてゐる

右につき廓組合聯合事務部は語る

松市樓の今回の行爲は同情すべき事情にあつたので從來信託の債務三百圓を棒引にしてやり家主の方も何千圓かの滯りがあるがこれも棒引にして貰つた上幾分かの立ち退き料すら貰ひ廢業したのです、こんな場合今少し警察に涙があつて營業停止といふが如き大鐵槌を下されなかつたならば或は廢業といふ悲運に遭遇せず濟んだかも知れません

無責任に同情の餘地なく處分
原田保安主任の話

右に就き原田大連署保安主任は語る

松市樓に事實そんな事情があつたとすれば、樓主は進んで當署に來り事情を釋明すべきであるに、いくら當署から呼び出しても病氣だといつて出頭せず、しかも分け合ひを支拂はなかつたのは帳場委せであるから自分は知らぬなどと無責任なことをいつてゐたので當方としては一點同情の餘地はないと思つて處分したのである、然し松市樓の事件は別として、將來筋の通つた同情すべき事情のある者に對しては行政上相當考慮する考へである

滿鐵の採用人員
明年は七十名位
而かも技術が大部分

滿鐵明六年度の專門學校以上の新採用人員は人事課の手にて着々調査を進めてゐるが、時代の勢ひと緊縮のためこゝにも不景氣風が押寄せてゐる、卽ち技術員方面は四年度が九十名五年度が七十名の採用を行つたが本年は目下のところ四十四名程度の採用方針であり、事務員方面は目下各課の要求數を取纏め中であるがこの方面もまた四年度の九十名、五年度の卅五名に比し六年度は當然卅名以下に下るものと豫想されてゐる

關東廳と滿鐵が
化學工業博に共同參加
滿洲の斯業紹介に努む

内田嘉吉氏を會長とする化學工業協會主催の第三回化學工業博覽會は明六年三月廿日から四月卅日まで約四十日間東京上野不忍池畔で開かれるが、滿鐵、關東廳双方とも大正六年と十五年の再度の同博覽會に協同出品し非常な效果を收めたので今回も協同參加することゝなつた、しかして滿鐵にては同博覽會場に約廿坪の陳列場所を作る豫定であるが、滿鐵、關東廳共に化學工業界に最も權威ある催し物の一つとして一般滿洲斯業者の參加を熱望してゐる、尚滿鐵よりは中央試驗所、撫順の化學工場、オイルシエール工場等その他より出品されるものと豫想されるが滿洲の一般出品希望者は滿鐵殖產部庶務課に問合せば出品方斡旋の勞を執ると

R一〇一號
査問會閉會す

【ロンドン五日發電通】十月五日フランスの上空に於て爆發したイギリス大飛行船R一〇一號の査問會は本日を以て閉會となつた、査問會の結果に就てはまだ發表されぬが一委員は語る

何時頃報告書を作製するかは目下のところ言明出來ぬ慘事の原因を明かにし且つこれが將來の航空界に有益な助力を提供する樣になる事を希望する

阪神地方に
今曉地震
時計の止る程度

【大阪六日發電通】六日午前五時三十一分大阪地方に可成り強い地震あり最大震幅〇、六粍、總震動時間九分半、時計の止まる程度で阪神地方被害無し、震源地は淡路方面又は兵庫縣姫路附近といふがいづれも被害無き模樣である

ラヂオの二重放送
愈よ十日から試驗的に
成績がよければ紀元節から本放送

【東京六日發電通】日本放送協會多年の懸案であつたラヂオの二重放送は遞信省に認可申請中のところ五日試驗放送の認可があつたのでいよ〳〵來る十日から明年一月三十一日まで試驗放送を行ふ事となつた、放送電力は十キロ、波長六百十二キロサイクル（四百九十米突）で、時間は午前七時より八時まで、同八時四十分より九時四十分まで、同十時二十分より十一時まで、同十一時四十分より午後一時十分まで、午後一時五十分より二時四十分まで、同三時四十分より五時四十分まで、同六時十分より十時迄である、總して右試驗の結果が良好であれば來る紀元節から本放送を實施する豫定である

河上氏梅畫展

六日から滿日講堂で梅畫の個人展覽會を開催した河上灣立氏は日本に於ける梅畫の第一人者で開會と同時に頗る盛況を見せてゐるが參觀者からの希で河上畫伯は七日色紙の即席揮毫の需めに應ずることゝなつた

大連第一中學校の偉人記念會

大連第一中學校では六日午前九時から教育勅語渙發四十周年記念事業の一つとして毎年催すことゝなつた偉人記念會の第一回として徳川光圀卿記念會並に展覽會を開催した【寫眞は記念會】

支那人兒童にも缺食者

不景氣の影響が祟つて學校に通ふ兒童にすら影響を及ぼし最近支那普通學堂の生徒に缺食者が非常に多いとのことで沙河口署では過般來管内の公學堂及普通學堂について調査中であつたところ、小平島普通學堂に十名の缺食兒童のあるのが判明したので同署保安係では近く同地の小平島會と協議し救護方法を講ずる筈であると

醉拂ひ年增大暴れ

市内京町四〇番地眞部徳三郎内縁の妻杉本リト（三）は五日午後十一時半ごろ沙河口泉町原住の西城一と共に夜明カフエーにおいて強か飲酒泥醉のうへ兩名は附近のカフエーパリーに至り同所にて飲んで騒ぐうち杉本は器物を投げ飛ばし「損害は辨償すればよいではないか」と盛に啖呵を切り、他人に喧嘩をかけるので沙河口署員が出張、六日朝大債三郎まで呼び出された

賣掛代金踏倒し

市内磐城町大連鄭萬陳は民生料理店の屋號で市内浪速町五、三橋吉五郎から自動車、醫療器械の即賣を受け販賣してゐたが右掛代金六百十四圓餘を踏倒して行方不明となつたので六日前記三橋から鄭の捜査願を小崗子署に出した

信濃町市場外部歳末賣出し

信濃町市場では十日より廿八日まで景品付外部歳末聯合大賣出しを行ひ福引券は現金買上五十錢毎に一枚を出し二枚にて抽籤し白米三斗入十本、木炭一俵三十本、醤油醸造九十樽、湯呑一百七十本、殘り全部タワしの景品であると

旅順の驅逐隊迎宴

旅順官民合同の第十六驅逐隊歡迎會は驅逐隊の都合により來る十日午後五時より偕行社に於て開催することに決定した

俠艶一代男 (133)

米田華紅作　伊藤幾久藏畫

廓の血の雨（五）

「いろ〳〵と御親切にお訊ね下さいますが、仔細あつて、生國はおろかなこと、苗字は申し上げかねます」

か組の纏持淸吉が、あまりに熱心に訊ねるので、眞鶴のお千賀も輕く面をあげ、弱々しい聲で答へた。

「さうですかえ？これ程に俺がお訊きしても、お話が出來ねえと仰しやれば、この上、無理にはお訊きしますまい」

淸吉も、むツつりと腕組した。

いかにも濟まぬやうに、眞鶴もソツと息を吐いたが、纏みかけた心をぐツと締めて

「どうぞお許し下さいませ」

「何の、許すの許されえのと、いふことはねえ。祕會から根掘り葉掘り、野暮な話しを切り出して、……」

白い陰に、人波をよけて、突つ立てゐるのは、加賀鳶の裏木鐵太郎であつた。

その側に小腰をかゞめて愛想笑ひ、ぺこぺこと安手に腰ばかり下げてゐるのは、四谷鹽町に巣喰つてゐる遊び人の三藏。

いつぞや下谷西町の立花左近邸で、仲間部屋へ立ち現れ、淺草奧山の矢場女、寶亭のおさしみお龜が仕組んだ小便組の裏を掻いた手傳ひをしたあの男である。

「えへツへツへゝゝゝゝ、いゝ所で、お役割にお眼にかゝりましたよ。お千賀さんとやらを拐した火の玉小僧典膳の在所を突き留めやしてれ、なアに新宿の村端れ、柏木在のしでえ木賃宿でござえましたよ。あれからすぐに八番組組か組の淸吉さんの耳へ入れまして、揃つて出かけてみると、口惜しいぢ……

なんで！そこへ行くと、あつしは典膳が木賃宿へ連れ込むお千賀さんの姿をかいま見てゐますから、一目見れば間違ひつこはれえんでござえますよ。頭が一緒に來いと云ふので、實は大鷲神社のお詣りをかれ、頭の伴をして、か組の若衆五人連れで、こゝへ繰込みやしたが、何してもこの人出で、押しつもまれつしてゐるうち、仲の町の中頃で、その姿を見失つてしまつたのでござえますよ。全くいゝ所で、お役割にお眼にかゝりましたよ」

三藏はホツとして悦しさうだ。か組の淸吉にはぐれて、折角の飲み口を引ッぱづしたいまくしさ。誰か知つた鴨でも引ッ懸れば よいさ、鵜の眼鷹の眼で、往き交ふ群衆を物色してゐるうちに、人ごみにもまれてくる加賀鳶の鐵太郎を見つけ、袖を引いて、道ばたへ避けてきた。

大鷲神社戻りの人たちが、ぞく〳〵と廓へ繰込んで來たか？遊か〳〵に往き交ふざわめきが無氣味な潮を捲いて聞えてくる。

山口樓へも登つた客も多いと見え、廊下をバタ〳〵と草履の音が激しく、妓や鴇婦の呼ぶ金切聲が繰返された。

大籠持や内藝者を揚げた客が、茶屋から送り込まれ、中庭を越した向ひの廣座敷でどんちやん騒ぎ飲めや唄への賑やかさで、三味太鼓に混つてどら聲で唄ふてゐる。

内も陽氣、外も陽氣、廓の大路小路、ざめきの客でごつた返し、肩と肩とが觸れ合ふ人出で、江戸町の角町、遊州流の花を活けた飾りもの、たそや行燈の灯もほの……

定めし變な野郎と思ふか知られえが、これにも深い仔細があることで」

「はい……」

と、眞鶴はまた頭を深く襟に埋めてしまつた。

賑やかな外の混雜に引きかへ、この部屋ばかりは寂閑と、嫌にしめやかに默りこくつた男女が顫く呼び合つて居つた。

油を吸ふ音が、ジ、ジと耳についた。

やござんせんか、野郎はお千賀さを連れて、もうどこかへ鞍替へで、感電してしまやアがつたので した。それがどうもこの廓へ賣られたらしい樣子なのでござえますよ。今日の午さがり、神田和泉町の淸吉さんのお宅へ伺ひ、それを話しやしたから、今夜紋日の張見世を幸ひ、片ッ端から調べてやると仰しやつてますが、頭にしたつて、お千賀さんの面を見知つてるわけぢやなし、雲を掴む話れもの……

第廿六回　滿日勝繼碁戰

【秋元氏三回勝四回目】

先　秋元豐二郎氏
　　北條力松氏

（一）

●一　八の四	○二　レの四	●三　ホの四	○四　ハの十六
●五　ヨの十七	○六　カの三	●七　レの十六	○八　レの十
●九　ホの十七	○十　チの十七	●十一　チの十六	○十二　リの十六
●十三　トの十七	○十四　リの十七	●十五　ニの十四	○十六　ホの十六
●十七　ニの十六	○十八　ニの十五	●十九　ニの十七	○二十　ホの十五

▲滿永三段講評　白六は黒に兩締りを打たせて面白くない依つて先づ（い）に掛り黒七白（ろ）黒（は）なれば其時白（に）に高く締り又黒（は）に打たず（ほ）に打たば白（へ）に伸びて打つがよろしい、白十六は遡向ならんも此場合（イ）に飛び黒（ロ）白（ハ）黒（ニ）白（ホ）黒（ヘ）のさき白（ト）に打たば（ハ）の一子は征に取らるゝ虞れなきを以て白の方有利でしよう

長氏の演藝館經營説は嘘

飽迄大日活で頑張り

益々積極興行に出る

舊映畫館の改築を前にして變な噂なき大連映畫界は次から次へと各種の流言が傳へられつゝあるが、最近に到り大日活が正月興行後に於て長次郎吉氏が投げ出し明春演藝館の新築を俟つて再び映畫界に進出すべしとの説をなすものがあり、これがため又も惡宣傳が行はれ演藝館の現状より推して相當有力視されてゐるも、右の説は全く根據のない流説である、即ち演藝館は家屋管理人の平田讓吉氏が言明せる如く明春三月まで館員教演のため營業を續けつゝあるもので その後は全く白紙主義の如何なる好條件を伴ふとも改築後の演藝館經營を目差す一切の策動者には耳を藉さぬところであり、また大日活の營業成績を見るに依然として帝館と優に充分に採算の見込が あり、今日長氏が大日活を手離すが如きことは全く想像されぬところである、尤も去月末來、出資者との間に紛糾が生じ一時は交渉決裂を傳へられたるもその後圓滿なる解決を遂げ當時の曖昧は一掃されてゐる、また日活との買木提攜も旣に一部分の成立を見たので、愈々積極興行策に出で旣に正月番組を全部決定し來る九日には夏川靜江來演の件に關し上洛の豫定である、以上各方面より見るに大日活及び演藝館に關する流言は問題にならぬものである、右に就き長氏は語る

新館を建てゝ今日まで實際に苦みました、一時はこんなことをするのでなかつたと思つた位です、昨年は金策に奔走し今年はかへ飛びました、しかし大日活は立派に採算がとれます、その上來年こそは私の今日までの努力の酬いられる時です、解氷期と共に舊映畫館が改築に着手すれば斷然大日活が有利な地位に立ちます、幸ひ皆樣の御援助で借金もこの程一段落つきましたから、今後は興行に全力をそゝぎます、私が大日活を投げ出すでも心外です、口幅つたいやうですが、十五萬圓以上もかゝる新館がそう容易に出來るものではありません、來春から大日活が獨り舞臺の意氣込みです、敢……

て後の演藝館を狙つてゐるなんて、それも嘘です、そんなことを言はれては今春の浪速館問題を根に持つたやうで小田樣にもすみませんし、私はそんな卑怯な人間じやありません、大日活は借金にこそ追はれてゐますが儲かる館ですから館員の減俸もしてゐません。私は大日活を絶對に手離さぬことを斷言します

新舞踊會日延

明晩もひらく

大連舞踊研究所師範科第一回公演會は六日夜協和會館で開催されるが、前人氣よく全部座席券を賣盡し敎容し切れぬので明七日一日だけ日延べするさ

清元演奏會はヤマトホテルに會場を變更

清元美笑會

明七日夜六時より遼東ホールにて開演の筈なりし

雜話

北村席の踊奈津と六寒三郎の兩師匠が村岡樂童氏の案內で洋行しようかといふ話がある▲六寒三郎師匠の方は「うちを捨てゝおいて飛出すことも出來ぬし……」と考へてゐるが▲踊奈津師匠の方は新舞踊への精進にこの際と大分洋行熱が高いらしい▲この間の温習會に淸元を演じたが、今度は名取のおゐんサンを師匠にして常磐津の稽古をはじめた

大連ＪＱＡＫ

十二月七日午後六時五十八分（內地中繼）

▲箏曲「梅の月」（箏）鶴野榮松（同）小野寺鈴子（三絃）中能島欣一（尺八）荒木梅玉
▲淸元「鳥羽繪」（淨瑠璃）淸元梅榮（三味線）同梅濱（上調子）同梅花
▲映畫物語「泉天嶺」（伴奏指揮）荻原達也（以下大連放送局より）
▲ラヂオ體操
▲料理獻立
▲天氣豫報

大連ラヂオ界回顧（二）

——ＪＱＡＫの處女時代——

貝瀨謹吾

これを日本に就て見まするのに古い文明に就ては歐米先進國に一籌を輸する事巳むを得ませんが、新しい科學に關しては決して人後に落ちないのでありまして、前記マルコーニの無電がヨット競漕に實驗を收めた翌年、早くも我遞信省の電氣試驗所內に無線電信研究部が設けられ、爾來無線電信電話に關する研究發明は歐米のそれと雁行して進歩し、殊に最近丹羽博士の無線電送の如きは遙かに彼を凌駕し、博士發明の機械が盛に彼地に輸出されると云ふ實情であります。而して所謂ラヂオ放送も亦米國に於ける最初の試驗に遅るゝ二年、即ち一九二二年（大正十一年）の頃から放送開始が提唱され翌年の關東大震災に際しては、無線の威力が素晴らしく發揮されて其の年の十二月に放送用無線電話規則が制定公布されたのでありま す、而してＪＯＡＫは大正十三年十一月に社團法人設立、放送施設の認可を受け、翌十四年の三月一日から芝浦高等工藝學校內の假放送所から試驗放送をはじめ、同月二十二日から愈々假放送を開始し、同年七月愛宕山の本放送所に移し正式放送をはじめたのであります。大阪、名古屋も夫々假放送をした後、ＪＯＢＫは同年四月一日から、ＪＯＣＫは同年五月一日から孰も正式の本放送に移つたのでありま す。

さて然らば我滿洲のラヂオは如何、今回滿洲日報社がラヂオ展覽會を開催されるに當り、ラヂオに關する特別講演會を設け、世界的權威者たる丹羽博士をはじめ、斯界に關係深き諸名士が夫々蘊蓄ある講演を試みらるゝ中に、私にもラヂオ界の回顧、殊にＪＱＡＫの處女時代を語れとの事でありまして、私とて敢て其の任でないとは思ひましたが、又一面大連ラヂオの祕期に多少の因緣を持つ自分として、展覽會へ古物を出品するやうな意味でお請したのであります。實際の處大正十四年の秋の日記には年頭から年末迄、ラヂオ關係の事項が頗る多く記出されて居るのであります。今茲に其の主なるものを拾ひ集めて見れば、大連ラヂオ史の一部の埋草になるのではなからうかと自負するものであります。

滿洲日報
帝國生命
生命保險に値下りなし
貯蓄、信託に代るのみか投資として最も有利なり
不況時代に却つて堅實なる伸展を示せる會社こそ眞に信頼するに足る事を知る
契約の純增加が前年同期に比して斷然光彩を放てるはひとり帝國生命あるのみ
解約率の僅少優良なること四十に餘る生命保險會社中他に追隨するものを見ず
新種保險は連年利益の九割積立を實行し愈々明年より無比の高額配當を斷行す
健康增進施設を利用されし御加入者は創始三年間に約三萬件に及ぶ多數を示す
新種保險
他の如何なる種類とも御比較下さい確信を以て御薦めできる最も有利な最も進歩的な保險はこれです
健康增進施設
各科專門の顧問醫と本社の營業醫と合せて十八、博士が協力し御加入各位の健康增進に奉仕します
東京丸ノ内　帝國生命保險株式會社
大連市西通り三十五番地　大連出張所
東京・丸ノ内　東京支店
大阪・今橋　大阪支店
仙臺・大町　仙臺支店
福岡・中土居町　福岡支店
札幌・大通り　札幌支店
金澤・石浦町　金澤支店
名古屋・榮町　名古屋支店
臺北・榮町　臺北支店
京城・黄金町　京城支店
廣島・大手町　廣島支店
京都・烏丸通り　京都支店
營業案内・健康增進叢書（御申込次第進呈致します）
新年號出來!!
富士
『富士』は輝く日本の雜誌
全國に轟く大歡呼、悉く粒選りの巨篇大傑作
▲美しき地上　山中峯太郎
▲愛憎秘乃錄　三上於菟吉
▲大盜傳　佐藤紅綠
▲千兩花嫁　前田曙山
▲無遠慮夫人　伊東研齋
花月風流第一課
▼昭和六年を賑はす人々
▼働く快味を語る
▼家庭花形訪問記
▼一本の釘
▲怪奇戰慄!幽靈塔
▲黑龍白虎の大試合
▲さすらひの孤兒
▲反逆兒由比正雪
雪中鴛鴦圖繪　小島政二郎
（岡野金右衛門の巻）
踊れぬ愛人　近藤經一
（モデル小説）
▲怪奇實話　猛獸人の告白　小山荘一郎
▲悲絶壯絶　戀ぐるま　吉川英治
▲滑稽無類　人生漫畫面　佐々木邦
▲哀戀悲戀　愛の戰車　加藤武雄
▼獨身者（滑稽萬歳）　▼大酒自慢（寸篇落語）
▼やきもち（寸劇）　▼罰金（寸劇）
二組の情死事件
▲新作落語　納豆屋　柳家金語樓
▲命がけの名吟　柳原緑風
▲呦ぬられた名刀
▲お國よいとこ　横山健堂
書籍附錄
芝居と映画　名流花形　大寫眞帖
空前の大奮發　三百六十頁　堂々たる美麗書籍附錄
天下の名優花形一人も洩れなく採錄!
本名は勿論、年齢、出身地、出身校、當り役、趣味嗜好其の他一目瞭然!
映畫ファン、芝居ファン、必携の大アルバム
この附錄だけても、一圓でも安い二圓でも安いと大評判!
定價七十錢　送料本誌に限り十錢
東京本郷　大日本雄辯會講談社
美裝罐入
(新製品)
御園石鹼
御歳暮に御年賀になどたにも喜ばるゝ御進物
御園石鹼(一個十五錢)の六個入又は十二個入をお求めになれば美裝罐は無代となり後で廣、御用途に適します
意匠　罐の意匠は新味溢るゝ流行尖端模樣色彩は優美
内容　芳香高く泡立ちよく純良第一の定評ある御園石鹼
TOILET SOAP MISONO TOKYO
定價　六個入九十錢　十二個入一圓八十錢
御料御園化粧品本舖
伊東胡蝶園
東京・大阪

コドモ

おはなし　山賊たいぢ

沙河口小學校尋三　五十嵐幸

ある日のことです、一郎さんは山へ鐵砲を持つて鳥をうちに行つた歸り、日暮近く一本道を一人で歸つて來ると、前の方から猿がやつて來るのを見つけました。

「これは大變だ」と思つて後を向くと、後の方からは熊がやつて來ました、道は一本道です「どうしようか」と困つてしまつたが、丁度其處に一本の高い木がありましたので一郎さんは急いで其の木に上りました。

一郎さんは葉と葉の間にからだをかくしてヂーツと下を見てゐると猿は熊を見てにげてしまひました。熊は木の上をじつと見てゐましたが、あきらめたと見えて、のそり〳〵とどこかへ行つてしまひました。

一郎さんは木から下りて又一本道を歩いてゐると向ふの草原から鐵色の兎が不意にとんで出て一郎さんにピヨコンとおじぎをしました。

一郎さんは、何の氣なしに兎の後からついて行くと、兎は青い森を通りぬけきれいな野原に着きました。

或橋を渡ると金の門がありました。そして其の中には、きれいな金のお城がありました。

兎は其の中に入つたので、一郎さんもついて入りました。

やがて兎は王樣のおへやに入り王樣の前で、ていれいにおじぎをしました。

王樣は、一郎さんの姿を見ると大へん珍しがりました。

「おう、あなたは、なか〳〵強さうな少年だ、どうか私達のお城にいつまでも居て下さい」

王さまは、いろ〳〵と一郎さんをもてなしてから、

「じつは、おねがひがあるのですが、きいて下さいませんか」

「それは、どんなことです」

一郎さんは王樣のしんぱいさうな顔を見ました。

「それは、外でもない、じつは、この向ふの山に、おそろしい山ぞくが住んで居る、その山ぞくが私の娘の菊姫とたからもの、千里ぼうえんきやうをぬすんで行つたのです、どうかして取りかへしたいと思つてはゐるのですが、山ぞくは仲間が大ぜいなので中々取りかへすことが出來ないのです、あなたは強さうな少年だし、それに鐵砲を持つてゐなさるから、きつと山賊に勝つことが出來るにさうゐありません、どうがこの國のために山ぞくをたいぢして下さい」

これを聞いた一郎さんは、もとく勇ましい少年ですから、すぐそれを引きうけました。

「よろしい、私がたいぢしてあげませう」

一郎さんのこの言葉をきいて王さまや、けらいどもはたいへんよろこびました。

「では、今すぐ出かけませう」

一郎さんは、さつきの白兎を道あんないにしてズン〳〵山奥にはいつてゆきました。

やがて、けはしい山の中ほどのところに來ました。

「あそこが、山ぞくの岩やです」

白兎の指さす方を見ると岩やの入口らしいものが見えます。

一郎さんは、けはしい坂道をかけのぼつて岩やの門のところにつくと、おもての戸が破れるやうにドン〳〵たゝきました

「開けろ〳〵開けないと、門をぶちこはすぞ」

一郎さんの聲をきゝつけた山ぞくのけらいは、出て來て見ると鐵砲を持つた強さう少年が立つてゐるのでびつくりしました

「かしら、大變です、鐵砲を持つた強さうな子供が門の前でいばつてゐます」

「何、鐵砲を持つた少年が、よしおれが、とつちめてやらう」

こわい顔をした山賊のかしらは太い鐵の棒をかゝえて表に出やうとしてゐると一郎さんは岩やの中にとびこんで來ました

「きさまが、山ぞくのかしらだナさあ奪つて行つた菊姫と千里望遠鏡を出せ、出さなければこの鐵砲で打ち殺すぞ」

「何をこしやくな、小ぞうめ、この鐵棒をくらへ」

まつかになつて怒つた山ぞくのかしらは、鐵の棒をブン〳〵ふり廻して一郎さんに打つてかゝりました

一郎さんはパツと後に飛びのいて鐵砲のねらひを定め、山ぞくのかしらの足をめがけズドンと一ぱつ放つと、ねらひはあやまたず、山ぞくはちんばになつてしまひました

この騒ぎに手下の者どもが澤山集つて來ましたが、片ぱしから鐵砲で足を打つたので、山賊どもは一人のこらずちんばになつてしまひました

山ぞくどもは、これには困つてしまつて、みんなは地べたに手をついて

「どうぞ命ばかりはお助け下さい」とたのみました

×

一郎さんは、菊姫と望遠鏡とを取り返してお城に歸ると王樣は大へん喜んで、一郎さんに金銀の寶物を澤山くれました

「不慮の死を遂げた　菊子さんを憶ふ」

お友達が涙で綴った悲しみのつゞり方

朝日小學校に學藝會のあつた二十九日の午後四時半頃、朝日校六年生の小澤菊子さんがお祖母さんといつしよに元菊子さんのおうちに雇はれてゐた支那人ボーイのために殺されたことは皆さんは其のあくる日の新聞の記事でよくご存じでせう。自分の大へん世話になつた家のお婆あさんを殺し「かんにんしてちようだい」といふ、かあいゝ菊子さんまでも殺してしまふとは何と恐ろしい支那人でせう。小澤さんのおうちはほんたうにお氣の毒でした、とりわけ菊子さんは朝日小學校でも優等生であり お友達からはよく慕はれてゐました、來年は目出度く學校を卒業して女學校に入ることを樂みにしてゐたのでせうに先生達もお友達も共に前途ある菊子さんの死を悲しみ、それと同時に小澤さん一家の不幸に同情をしてゐます。恐らくあの新聞記事を讀んだ世の中の人々も恐らくは同じ心で二人の冥福を祈つたことでせう、次に掲げた綴方は菊子さんの同級のお友だちが菊子さんの死を弔つた涙の思ひ出です（寫眞は菊子さん）

溫い心の菊子さんだつたのに

村井喜代

思ひ出深き二十九日、私たちに悲しい出來事がおさづれて來たのでした、私と親しい〳〵お友達の小澤菊子さんが、おなくなりになつたと聞きまして天地もくつがへるばかりに驚きました。

ほんとうに御不幸な小澤さん、永久にあなたは私たちの所へは歸つて來てくれないのでせうか、私達はいくら運命だと言つてもあきらめられません、あの日學藝會へ私達と一緒においでになつたら何事もなかつたでせうに。

あの、やさしい〳〵小澤さん、木曜日にお會したのが最後のお別れだつたのです、私は、まさか、あれが最後のおわかれであつたなどとは夢にも思ひませんでした、あなたのお机は、しよんぼりとお教室で、あなたをお待ちして居りますが、二度と私達とお勉強はできないやうになつたのです、やさしい〳〵だれにも好かれ、お勉強もよくお出來になつたのに、私の泣いてゐた時など、やさしくなぐさめて下すつたことは今でも忘れられません、おうちにおよびして樂しく遊んだことも十月が一番最後でした、お正月にも又およびして、たのしく遊びませうと思つてゐたのに、それは夢のやうに消えうせてしまひました、スケート場を見るにつけても、もし、小澤さんが生きてゐらつしやつたら今年も愉快にスケートができたでせうにと思ふと大そう殘念で、その場をすぐに立去りました。

私はもう一度小澤菊子さんのお顔が見たうございます、あの、かわいらしい、やさしいお顔を……

安らかにお眠り下さい

牧文子

二十九日「菊子樣が亡くなられた」といふ電話を受たとき私は、どうしても信じる氣にはなれませんでした。

あのお優しい菊子さまが、私の一番仲のよかつた菊子さまが……

「お母樣、嘘でせう、嘘でせう、いや、嘘です、嘘です」默つて涙をためてゐらつしやるお母さまに「嘘ですよ」といふ返事が聞きたくて泣きながら尋ねました。

本當だと知つてゐても、どうしても嘘にしてしまひたかつたのです。

菊子樣と私とは幼稚園から小學校六年まで、いつも同じ教室で學び、同じ庭で遊び、どこに居る時も二人は一緒でした、受持の先生も二人の仲をよく御存じだつたので、二人は常に机を並べていただいてゐました。

あの日は丁度、菊子樣が御病氣で學藝會には出られず私が菊子さまの代理をしたのでした。

菊子樣のお母樣のお話によれば菊子樣は、あの晩までお妹さんの「よつちやん」をお相手に、學藝會のおけいこをなすつて居られ「牧さんがきつと立派に代理を務めてくれるだらう」と、そのことばかり氣にして、私のことを御心配のあまり、お母樣に「牧さんの出來ばえを見て來てお話して下さい」と無理矢理に學藝會に行かれる事をおすゝめしたといふ事です、何と強い責任感と友情でございませう、私は美しい菊子樣のお心をうれしく悲しく何とも感謝の言葉がありません。

菊子樣安らかにお眠り下さい私は全力を注いであなたの代理を務めました。

童謠　風のふく夜

北村しげる

お猿のお尻は
つめたかろ
まつ赤な
お尻は
つめたかろ

ねどこの中に
ぬくぬくされながら
一人考へた

ひる間遊んだ
公園の
おさるのお尻が
寒さうな

寒風
ピユウ〳〵
吹いてます

新年童話　―懸賞募集―

規定

一、内容が明らかで童心の豐かなもの
二、十五字詰、百二十行内外
三、一人で何篇應募するも差支なし
四、紙上匿名可、但し住所姓名を原稿の末尾に明記のこと
五、應募原稿は一切返戻せず

◇原稿締切　十二月十五日限り
◇懸賞金　甲賞十圓、乙賞五圓、丙賞三圓
◇發送先　滿洲日報編輯局學藝部「懸賞童話」と朱書のこと

暖い冬の日の午後

締切いよく迫る　國産愛用の『童謠と標語』

各小學生諸君奮つて應募せられよ

＝十一月六日の大連滿日兩新聞參照＝

大連新聞社　滿洲日報社

懸賞童話（選外佳作）　桔梗と鶉

Y・HORI

それは朗かに晴れ渡つた初秋の朝でした。

海に面した丘陵の中腹に、一本の桔梗が美しい紫色の花を開きました。丁度其の時あかるい太陽が碧い海からきらきらと輝き出ました。太陽はすぐに桔梗を見つけました。そしてにこ〳〵笑ひながら桔梗に話しかけました。

「おーい、桔梗のお孃さん、綺麗に咲いたね」

桔梗は嬉しさうに答へました。

「太陽の叔父さん、お早やう。私そんなに美しくて」

太陽は愉快さうにうなづくと、高く高く空へ登つて行きました。野にも山にも明るい秋の光りがさん〳〵と降りそゝがれました。

青い空から一匹の鶉が降りて來ました。鶉は桔梗の傍に羽を休めながら、歌を唱ひ初めました。

「チッチチ、チッチチ
高いお空はうれしいな
チッチチ、チッチチ
涼しい秋はうれしいな」

桔梗は鶉の面白い歌聲に調子を合せて、思はず美しい體を揺りました。鶉は桔梗に氣がついて、びつくりしながら尋ねました。

「チッチチ桔梗さん
貴方はぽつかり何時咲いた。
チッチチ桔梗さん
僕はちつとも知らなんだ」

桔梗は快活に答へました。

「ほんのほんの前なのよ。
明るい光と、涼しい風に
妾ぽつかり咲いたのよ。
だけどおしやれの鶉さん
あなた何處から飛んで來て」

鶉はぱつぱと桔梗の周圍を飛びながら、又きれいな聲を張上げて歌ひ出しました。

「チッチチ、僕はねえ
高い空から來たんだよ。
チッチチ、僕はねえ
碧い海越へ來たんだよ。
奇麗なお空に
奇麗なお海
飛んで飜つて來たんだよ」

桔梗は思はず感嘆しました。そして鶉に言ひました。

「それはほんとにすばらしい
綺麗なお空に
綺麗なお海
妾も飛んで見たいな」

鶉は大聲で笑ひながら、然し親切に桔梗に言ひました。

「アッハハ桔梗さん
あんたは翼が無いだらう。
高いお空は飛べないよ。
チッチチ、だけどれ
お顔を上に向けて見な
ほーらよ。
奇麗な奇麗なお空だろ
すうつと向ふを見下しな
奇麗なお海だろ」

桔梗は空を見上げました。美しい碧い空が、高く高く澄んで居ました。

桔梗はずつと向ふを見下しました。おだやかな碧い海原が何處までも續いて居ました。

「おゝきれい」

桔梗はうれしくてうれしくて仕方ありませんでした。鶉も愉快でした。そしてぱつと飛び上りながら桔梗に言ひました。

「桔梗さん、さあ私達はこの麗かな秋のお天氣のために歌を唄はうよ」

桔梗はうなづきました。やがてさんさんと降りそゝぐ秋の光の下に、美しい歌聲が傳はつて來ました。

「秋のお空は綺麗だれ
千丈も萬丈も澄んでゐる
秋のお海はすてきだれ
果しも知らぬ瑠璃の色」

滿日各地版

奉天

土地建物に絡む 二不正事件暴露
支那人から告訴さる

中野辯護士事件以來この種不正事實が二件暴露するに至つた、市內春日町六番地新見庄左衛門は滿鐵より借り受けてゐた千代田通り廿九番地の土地を支那人高興炎に二千二百圓で賣りつけ且つ該地に高から四千七百八十圓を出さしめて家屋の建築を終り之を自己の名義として家屋を擔保に三千五百圓を借り受け更にこれを競賣に附して了つたので總領事館に告訴され目下取調べを受けてゐる、又彌生町七番地河野某は青葉町九番地と霞町十番地の支那人趙君堂の所有家屋八百廿坪を自巳の名義として所有權保存の登記をなし更に抵當權設定の登記まで了し他より二萬五千圓を借り受けてゐたが近頃河野はこれを賣却せんとして八千餘圓を取得し姿まで支那旅館にかくつてゐるといふので趙君堂は渡久山飯島兩辯護士を代理人としてこれを總領事館に告訴した

理髪料値下額 再考慮

奉天理髪業者は難局打開策として理髪料を各十錢づゝ値下げを行ふことゝなつてゐたが、五日河野保安主任からこの値下げは一般的の希望に副ふてはゐないから今一度考慮し一般の輿論に適應するやうにとの注意があつたこれがため組合側では五日午後三時から臨時總會を開き組合員の意嚮をたゞし警察側の意見にも副ふやう善處する方法につき種々打合せをなす處あつた

村上理事の 懇談會

村上滿鐵鐵道部長は九日朝來奉し奉天驛構內を巡視するが同夜は六時から溫泉倶樂部貴賓館に於て催される鐵道關係主任者等との懇談會に列席する由

邦人を泊るな と陳情
瀋陽旅館分號に

奉天驛前の瀋陽旅館分號は元來支那人の投宿する旅館であるにも拘らず同旅館は日本間を設け內地その他から來奉する日本人團體客を投宿せしめてゐるため財界不況の折柄その被る影響は甚大である…と市內東西旅館主橫山良吉氏外五名の同業者は四日奉天署を訪れその苦痛を訴へると共に同旅館が日本人團體客を投宿させないやうに取計らつて貰ひたいと申し出たがこれに對し當局では瀋陽旅館分號に日本間が設けられるやうになつたのは先年京城で開かれた朝鮮博覽會開催中奉天を訪れる旅客多數でどこの旅館も收容し切れぬ程あつた際滿鐵の方で認可を與へ設立されたと思ふが財界の景氣不景氣は警察の手でどうすることも出來ないし又一日旅人を泊める旅館と定められたる以上その旅館が日本人旅館であらうが支那人旅館であらうが日本人旅館に支那人

振られ女が 復緣願

忠淸南道生れ鮮女裴二楠(二七)は今を去る十年前同郷の金在斗(二七)と親同志の許した結婚で同棲することゝなつてゐたその當時金は自分は未成年の身であるから日本の某中學校に入り勉強してキツと偉い人間になつて歸つて來るからそれまで身體を大事にして是非待つてゐて呉れと郷里を出發し又妻の方でも自分の夫が成功して歸つて來ることであるから大いに喜びあなたが歸つて來られるまで何年でも待つてゐますと別れたのであつた、しかし金はその後五年經つても十年待つても歸つて來る模樣なく所在すら不明なので各方面に手配し搜査中金は奉天の某圖書館に勤務してゐることを人傳により聞き込みじつとして居られず本年二月奉天に來り知人の許に厄介となつてゐた、そしてその間屢々金の許を訪れ復緣を迫つたが聞き入れられず又金は他の婦人と同棲してゐると他の人から聞いたので最後の談判を試みたがその甲斐なく却て妻は氣違ひ扱ひされる哀れな狀態となつたので五日奉天署に出頭し涙を以て保護方を願ひ出た

町のニュース

日曜の催し二つ…滿洲醫大スケート部のホッケー場開きを兼ね競技會を午後一時から開催、又全滿飲食店組合聯合會は午後一時から金龍亭に於て開かれる

◇

去る二日から三日間東拓三階で賣出しを開始した大連三越支店の出張販賣は四日を以て終了したが今期は賣上閑散で安物が多く賣上總高僅に二千餘圓であつたと

◇

元遼寧省長劉尙淸氏は今回南京政府の財政部長に任命され近く赴任する由

◇

奉天郵便局の支關修理は年末を控へてゐるので完成を急ぎ五日までにはその一部分を開始する豫定であつたが都合により七日から開始することになつた

◇

家庭研究所では臨時講習としてフランス刺繡講習會を九日から四日間開催するが會費は四日間で一圓講師は田鎖つう子女史であると

◇

市內浪速通り六番地露人喫茶店ヨーロッパ事ダウイレヤレッは同業者の純粹な菓子店に店を變へた

◇

奉天郵便局內館讀會から伊豆地方の義捐金として金五圓を奉天署を通じ寄贈方を屆け出た

人事

▲大森滿鐵地方部長　五日朝過奉安東へ
▲太田同學務課長　同上
▲森守備隊司令官　四日過奉鞍山へ
▲入江奉天公所長　四日歸奉
▲宇佐美哈爾濱事務所長　四日過奉歸任
▲山領滿鐵工務課長　四日撫順往復
▲宮崎關東軍參謀部長　四日過奉公主嶺へ

撫順

小遣や學用品を 節約、美しい義捐
湘南罹災者に集る同情

撫順高女生の一美談、湘南大震災罹災民の窮狀を慰問する微意の現はれとして同校二年ロ組生徒は學用品乃至お小遣ひの節約、または手傳ひなどして得た金五圓五十五錢を救恤資金の一部に加へてくれと五日撫順署へ申出た、なほ既報鮮人の百二十餘圓の外撫順佛教聯合は金二十圓、撫順聖德救世會は金十圓、大山坑消費組合內佐々木武康氏は金十圓新屯坑長尾藤市氏金十圓等各特志家續々として慰問金を警察方へ現金と共に申込んできた

震災義捐金 募集

伊豆地方大震災に對する在滿邦人の同情は翕然として集まり各地とも續々として救恤資金の申出あるが撫順警察署では今回關東廳の指示に從ひ炭礦大垣庶務課長、市中町內聯合會長、各町內會長區長等と連絡をとり各戶より應分の喜捨を募集することゝなつた、在住民一同もこの擧に贊助その金額の多少を問はず同胞赤誠の微意を表され度いと

炭礦社員連の貯金 ザット八百萬圓

確なる筋で調べたところによると撫順炭礦社員連の貯金はザット八百萬圓、その內譯は退職の際當然その懷中に轉がり込む身元保證金が約五百萬圓、會社への純然たる預金が約二百萬圓、その他郵便局銀行等への預金約百萬圓である、それで炭礦全社員の貯金一金八百萬圓を合資すると撫順炭礦位大丈夫經營して行けるといふのだから何と豪氣な話しではある

不破氏寄附

龍鳳坑勤務不破經則氏は撫中二年在學中の長男芳正君の忌明に際し五日同校々友會に金百圓也を寄贈した

石炭泥棒
今度はボタ捨場を荒らす

炭都名物の石炭泥は從來古城子露天掘に最も多かつたので既報の如く同露天掘を中心として一萬八千圓を投じて約十里程に亘る大鐵條網を張りめぐらし一方各要所にセパート番犬を配置して備へてゐるが、炭泥も最近は作戰を變更右鐵條網や番犬のゐない計軍屯、撫順、東郷等の各ボタ捨場に潛入し每日百名餘の團體的炭泥が每日現はれその內に混じてゐる良炭を盜にかすめ去つてゐるので勞務係では目下その對策を考究中で近く徹底的炭泥撲滅策を講ずる筈、因に各ボタ捨場に混入せる良炭は明星公司その他炭礦指定の拾炭請負者の縄張でその拾ひ炭の過半は炭礦に歸するものである爲結局炭礦自體の炭泥被害をなす必要があるといはれてゐる

年賀郵便
來る廿日から取扱ふ

年の瀨刻々近づき千九百三十年もあと僅かとなつたが撫順局の年賀郵便特別取扱ひ期間は十二月二十日より同二十九日と決定したがその差出に際し左記心得られ度しと

取扱種類は第一種(普通の書狀)第二種(葉書)の內國郵便物及支那宛外國郵便物にして料金の未納や不足でない普通郵便物、切手別納郵便物に限られてゐる、なほ郵便物に「年賀郵便」の貼札を附し總て十文字に束ね(通數が少なければ年賀郵便と書いた袋に入れて)郵便局所の窓口に出すか又はポストに入れること、但し切手別納郵便物(同一內容のもの即ち年賀狀の如きもの五十通以上差出す時は一々切手をはらなくとも別納郵便として現金で料金を納める)は必ず局の窓口へ差出すこと、是には紙札や袋の見易き所へその通數を書くこと

營口

五十人の 馬賊團

去月三十日午後三時頃遼濱縣西方四十支里の滕家堡及び小李家屯附近に長銃携帶の馬賊五十餘名現れ掠奪を擅まゝにするので遼濱、遼陽兩縣公安局にては討伐隊を編成して共同討伐をなしたが賊は早くもこれを察知し何れにか踪跡を晦ました、最近賊は營口縣管內に逃入せし形跡あるので縣公安局にては極力警戒中である

僞造紙幣頻發

近來遼寧業銀行五元券及中國銀行五元券の僞造紙幣が續々として現はれ居れるが僞造巧にして殆ど本物と區別はつかないように出來て居るけれどもよく見れば印刷稍不鮮明の點あり支那票の取引をなす人は注意すべしと

長春

…日取締役會の事廿四日定時總會に提出する方針であるも、右に對する大株主方面の意向も一齊に贊意を表しつゝある模樣にて至極順調に同案の通過を見る可く同所將來のため理事者及大株主の高配に依る案は實に機宜に適應したる最善の策として一般から非常に歡迎されて居る

大野參事東上

臨江採木公司理事大野參事は目下滯京中の高尾理事長と事務打合せの要務を帶び五日夜特急列車にて東上したが歸安は本月二十日前後であると

當分委員總會の 招集を延期
町內會問題再び混沌

柏原會長の辭意表明によつて時ならぬ波瀾を描いた長春市民會問題は、既報の如く去月二十五日の幹事會において、聯合町內會と市民會幹部との間に、規約改正の上存續する事に決定し、規約改正に入り第二區の異議提出によつて行惱みとなつたが、二十八日午前第二區代表瀨下氏より規約中の第二條に對し委員制を撤廢し表決權は一區一票とする事、第十五條の聯合町內會豫算の項を全部抹消し、經常費を認めずとの意見支持を下德副會長に對し回答し、更に今月に入り去る二日二十八日の幹事會において要求されたる聯合會の事務を第二區のみにて負擔する件は幹事會、又は委員總會において回答すべきにつき、至急幹事會又は委員總會を開催されたき旨、瀨下氏より要求ありたるに對し下德副會長は柏原、島名、郷、田中、小松等の各區代表と協議を重ねた結果現狀のまゝにて幹事會又は委員總會を開催し、席上において第二區が依然反對意見を強調せんか聯合町內會も決裂を免れざるべく、故暫く幹事會或は委員總會の招集は延期するを可とすとの意見一致を見、その旨第二區に對し回答を發した模樣で、折角の解決の曙光を期待された市民會問題も再び混沌裡に彷徨するに至つた

年末金融 一般に梗塞

目下の不況時に際し長春でも正金銀行、朝鮮銀行の如き大銀行はいづれも貸出警戒と同時に資金回收に努めつゝあり自然一般的に金融の梗塞を來して居るのは當然であるが、當地における金融機關としては朝鮮人金融會(總督府補助)長春金融組合(關東廳補助)の兩者を除いては日華金融株式會社、長春金融株式會社、福信金融株式會社の三社が營利本位の金融業を營んでゐるが、之等も大銀行に追隨して極度に貸出を制限しつゝある、ために互助機關たる頼母子講會の利用が頗る盛んを極めてゐるが、一方郵便の簡易保險金の貸出も增加を辿り左記の如く十月における貯金拂戾し額は貯金額に比し一千餘圓を超過してゐる

▲郵便貯金額(上半期)　三十二萬七百六十九圓
同拂戾金額　二十五萬九千二百六十七圓
同十月中(貯金額五萬一千三百三十九圓、拂戾額五萬二千九百四十四圓)
▲簡易保險貸付口數　百六十八口
同　金額　四萬四千七百一圓
▲講會(十一月二十一日現在許可濟のもの)口數　七十七口
金額　七萬八千三百十五圓(但し一ケ月掛金)

押し迫る歳の瀨 警察の警戒嚴重
正月迄を三期に分つ

容赦なく押迫る三百六十五日を總決算の年の暮、長春警察署でも特別警戒の準備に忙しい、先づ大體は、この十九日までを第一期とし全署員の三分の一、二十五日までを第二期として三分の二、三十一日までを第三期として全署員を總動員して事故を未前にとの陣立である、二十日からは特に晝間の立哨が、夜間警戒として各銀行や郵便局に一名づつの警官を派遣して警備する外にサイドカー班や乘馬班なども組織して水も洩らさぬ警戒に當る事となつてゐる

オ運輸監査長

東支鐵道南部線運輸監査長ポンーネッ氏はボグラニーチナヤ驛運輸監査長オストロフスキ氏を同伴四日午後來長した、長春驛における滿鐵鐵路代表との寬城子及び長春驛連絡貨物の積替に關する二日間の會議に出席のためである

安東

鎭江橋の架替へ 花見時迄に實現
一段の美觀を添へん

鎭江山通路の最も人通り繁き鎭江橋も木橋に加へて年月久しきに亘り腐朽甚だしく、一部橋梁陥没して危險の虞ある處から本年夏頃より自動車の渡橋をさへ禁じて居たがこれが架け替へにつき地方事務所より本社に向け申請中の處豫算の關係上削除されて居た處橋梁の腐朽は一層甚だしく到底來年一ぱいの持ち堪へどころか來春の花見時には沿線各地よりの人出夥だしく危險此の上もなければ地方事務所は改めて追加豫算として折衝の結果今回本社より承認されて來たので現在の木橋を撤廢して宏壯なる鐵橋を架する事となりいよいよ來春早々工事に着手し花見時迄には竣成せしむる筈であるが八景一の景勝と相待つて又一段の美觀を添へることであらう

書道展の 入選者

文部省後援下に十一月二十六日より本月六日迄東京上野公園美術館に於て開催された東久邇宮殿下を總裁とし滿浦閣下を會長とせる我國書道の權威泰東書道院第一回展覽會に全國よりの出品は實に五千點以上に上り其中の入選は僅に九百餘點に過ぎずその他の入選は落選といふ嚴選振りなるにも拘らず我安東より出陳した左記の諸氏は目出度入選の光榮を得しことは實に安東の誇りと謂ふべきである

七言二句　隷書條幅　河谷大乘
千字文　楷書帖　三田素堂
中庸　楷書幅對　則武鶴亭
程正叙勅叢　草書條幅　三田素堂
慚賦　行書帖　米山朴堂
和歌さなしか帖かた帖　米山朴堂
和歌　かな條幅　米山富子

今期安取の 出來高

安東取引所の今期出來高は實に七億三千餘萬兩、鈔平銀の取引手數料のみにても十五萬圓と云ふ好成績を擧げ此處ばかりは不景氣知らず

本社支局から お年玉贈呈
興味ある二つの課題
迎春愛讀者奉仕催物

坊ちやん嬢ちやん方が待ちに待つた樂しいくお正月もいよいよ近まりました、吾支局は安東愛讀者多年の御愛顧に酬ゆる爲め在安東各學校の生徒兒童諸子の新年勞頭のお樂みとして左の課題を正答者二百名に對し抽籤を以てお年玉を贈呈することに致しました、奮つて應募して下さい

○課題

滿日　滿洲で高速度輪轉機を設置せる唯一の大新聞の名
本にも數ない最新式高速度輪轉機を持つ滿洲日報の安東販賣店は何處と何處ですか

△解答　は官製ハガキに限ります
△お名前　と學校の名と何年級と云ふことをハッキリお書き下さい
△宛名　は大和橋通滿日安東支局宛
△締切　十二月二十五日限り
△抽籤　十二月二十六日正午安東支局に於て警察官新聞社員立會公平に行ひます
△發表　昭和六年一月一日付滿洲日報紙上に掲載します
△賞品　當選の幸運者には一等より十等迄左記賞品を一月二日の初お年玉同午前十時に文榮堂新築階上廣間でお渡し致しますから九時半迄にお集り下さい

○賞品

等級	品名	員數
一等	學生靴	一
二等	スケート	二
三等	組合せ文房具	三
四等	クリ出し鉛筆	四
五等	ポケット用メモー帖用紙付	五
六等	セルドイド筆入	一〇
七等	ツバメ印クレオン十二色	一五
八等	大學ノート	三〇
九等	鉛筆三本	五〇
十等	雜記帳	八〇
計		二〇〇名

主催　滿洲日報安東支局　文榮堂新聞舖

鞍山

市場會社成績

鞍山市場株式會社の創立第一回の十一月中の水揚高は左の通りであるが糶場に出荷された主要地は釜山三割三分二厘、大連三割一分八厘、元山一割二分、下關五分四厘其他木浦統營等にて取引狀態は頗る良好であるが內譯を示せば次の如し

	圓
鮮魚	三、九九二、九〇
鹽乾魚	三九二、〇二
製造品	六〇一、四九
菜果	一、〇八四、一八
計	六、〇七〇、五九

但し此の水揚高は十一月十日より三十日までの成績である

けふ兎狩り

鞍山實業青年團の本年掉尾の行事として既報の如く愈々本七日午前六時三十分實業會堂本部に集合して午前七時攻擊軍防禦軍の隊形編成をなし鐵守山ゴルフ山當兩附近において兎狩を擧行し其獲物を以て正午より實業本部において忘年會を開催するが兎狩には團員外の方の參加も歡迎するから一般多數參加されたしと

將校團來鞍

第二十師團幹部將校團十四名は八日午前六時八分着列車にて來鞍し製鐵所各工場を視察の上同午前九時十六分發列車にて歸遼豫定であると

製鐵所を見學

國民高等學校生徒四十八名は來る十四日午前九時着列車にて來鞍し製鐵所銑鐵工場、製鋼工場其他各工場見學の豫定であると

普蘭店

落花生の出盛 驛員大車輪
年々增加する傾向

普蘭店驛にては目下落花生の出盛り期に際し驛員大車輪にて之が著發に從事してゐるが十一月中に於ける取扱ひ數量は發送に於て五百餘貨車五千二百噸を示し到着に於ては同じく五百餘貨車六千七百內二千八百噸は落花生である、之を昨年の十一月取扱ひに比する時は發送に於て千八百噸、到着に於て千九百噸の增加となる、尙落花生は目下少しく安値を傳へられて居るので幾分出澁りなるべきそれでも普蘭店を中心に各道路は御馬車の列をなし急速に受渡が出來ない有樣であるが斯くて歲末迄續くものとみられてゐる

道路修繕 一段落

普蘭店民政署にては臨島技手監督の下に道路の大修繕を施して居つたが此程漸く豫定の工事を終了した、從來餘り顧みられなかつた當地も漸く面目を一新する事となつた

貯藏庫を設置

關東州果樹組合にては明春早々果樹貯藏庫を建築する事となつたが從來此の設備なき爲め營業者は投賣捨賣を餘儀なくして居たが之が頗る便利となる譯で該貯藏庫には簡易造場なども併設する由にて豫算は約一萬五千圓の見込である

會長會議開催

普蘭店民政署にては來る十五、十六の兩日管內各會長會議を開催し指示事項諮問事項其他緊急問題等に就き討議する筈

署員の宿舍に

普蘭店舊小學校々舍を何に使用するかと云ふ問題で研究中だつたが署員の宿舍が不足なので改造して全部宿舍に充當することゝなつた

自動車公司

普蘭店居住王貴臣及邦人和泉碗の兩氏は今回自動車公司を設立し普蘭店を中心として各地に自動車營業を開始する事となつた

開原

輸組業績監査

滿鐵商工課にては滿鐵輸入組合の業績を監査のため監査員を派遣せるが開原輸入組合監査には小川商工課員中村輸入組合聯合會理事兩氏來開し八九兩日に亘り調査をなすと

婦人會總會

開原婦人會總會は既報の通り四日午後一時より滿鐵倶樂部に於て開會出席者約七十名に達し定刻開會桂社會主事は挨拶を兼ね婦人會組織の趣旨を述べ會則により幹事十四名を選任

△滿鐵側　中野靜江、慶德福子、利光津義、三田幸子、永野里、桂淸美、下田たか
△市中側　川島ムラ子、毛利トミ子、佐竹ヒデ、駒田文子、山田ヤス、千々和もつよ、東島鶴子

の諸氏當選續會長に滿場一致川崎夫人を推薦せるも當日缺席の爲め諾否未定の儘閉會した、猶來る八日午後一時より滿鐵倶樂部に於て幹事會を開催し常任幹事三名の互選をなす事となつた因に現在會員は百五名である

窯業會社總會

亞細亞窯業會社にては來る二十二日午後二時より開原市場會社內に於て第十三回定時株主總會を開催し昭和五年度營業決算報告並に利益金處分案を附議すると

市場會社總會

開原市場會社にては來る二十二日午後一時より同社內に於て第二十四回定時株主總會を開催し昭和五年下半期營業決算報告並に利益金處分案を附議すると

工務課長檢閱

滿鐵々道部工務課長山領氏一行は四日午前十一時インスペクションカーにて來開し保線關係の檢閱の上即日午後一時半同車にて南行

保安課長檢閱

滿鐵鐵道部保安課長山岡氏一行は五日午後一時五十四分着第二十一列車にて來開し保安關係個所の檢閱の上即日午後五時五十五分發第十八列車にて南行

藤井專務歸省

開原市場會社藤井專務は夫人の母堂病氣の急報に接し看護のため家族同伴五日午前十一時四十七分發急行列車にて郷里郡山へ歸省

補血強壯增進劑
ブルトーゼ
活動に耐え得る體軀となれ
身体は運動に際し筋肉や其他諸器管等が物質の消費を盛んに行ふものであり從つて他方分解産物が多く出來ます
これに對し必要な物質を補給し不用物を運び去るものは血液であります
所謂血液の循環作用の盛んなることが是非必要となります
血液を作るものは蛋白質と鐵とであります
その重要な役目をする其れ故活動する人は常に合理的有機性鐵劑ブルトーゼを御服用になることは保健上是非必要なことであります
▼ブルトーゼには体質と症状とにより用途を異にする
原味・アルゼン・ヨードキナ・グアヤコールの五製劑あり
大阪道修町二　藤澤友吉商店
大連市西広場西入る電車通
池田小兒科專門醫院
池田嘉一郎
電話六三六五番
建築・設計・監督
構造・計算・鑑定
宗像建築事務所
大連市連鎖商店街広場
工學士　宗像主一
電話二二五五・二二二六六番
新
天威ランプ
天威瓦斯入電球
もちよく明るく電気がお徳な経済電球
内は鮮消、眞珠の表
放つ光は春の色
TEC
東京電氣株式會社

忘年會客の凄じい爭奪戰

「安い」を標語に展開す

エロ不足を覘ひ肉薄の小料理店 目覺しいカフエーの進出振り

▼…緊縮、節約、減俸、淘汰等々……不安な合言葉がサラリーメンの末梢神經を錐揉みに揉み刺して減收投資、倒産等々、中商工業階級の年の瀬越への不況が目先に迫つても師走の初旬を過ぎた慌ただしい市民の腦裡に浮ぶのは「忘年會」の歳末行事である

▼…不景氣の擊を追つ拂ふ意味からか更始一新の新春へ肩の荷も輕々さ迎へる前祝ひからか忘年會まで愉快に年越し快飲、談笑の出來るオアシスを醸し出してくれるのだ

▼…さて——夕食を待ち備へた妻君に鹽鮭の二ツ切れは土産にしなくとも、ボーナス袋が乾からびぬ限り忘れられない忘年會を覘つて大連市中の料理店、飲食店それに一年の粉黛をこゝ二旬に化粧を凝らしたとりどりの藝妓ガール、サービス・ガールが一樣に凄じい宴會爭奪を開始した、不景氣さ宴會諸再萬端時節柄さ尻ごみする連中も忘年會だけは避けられぬ年貢と諦めたかどうか、大連の書樓、酒店はそろそろこれらの申込みで活氣づいてゐる

▼…美濃町約三百の藝妓ガールを算盤玉と線香代の煙の中にあやつる大連檢番の景氣は不況は昨年からの持ち越で年末の宴會にはそろそろ蜒蛇を並べた豫約が増えて來た、宴會時間は大體三時間が決りで料理店の申込に左右されてゐるがお客一人にガール一人宛といつた贅澤な宴席は少い、まづ精々二人の客の間を器用に泳がせる二人に一人當が上等ところだといふ

▼…プチ・ブルヂョアジの宴會景氣はどんなものか、一日ごろから豫約の口がかゝつて來たのは先づ一流の二、三軒、それも從來さ違つて費用構はずの後勘定で一人前いくらと限らないのは少い、七八圓から十圓どまりが見當、まあ御時世柄さ逃げを打つて鍋物でいゝから五圓限と宛明に懐で算盤を彈く怜悧な節もないではない、然し流石に年忘れの宴席だけに女氣は食氣より果報だとあつて客五人に女一人は料理店の粹な計らひださいふからエロの一九三〇年掉尾のお笑ひだ

▼…場所柄が覘いと考へた料理店ではこのエロの不足を覘つて一流に肉薄した、お一人前五圓五十錢が通り相場で料理九品に、女氣たつぷり、これは主として內藝妓を置いて料理店を兼業してゐるところの強味で待つ間さ、ガールの送り迎への車賃の負擔がない處が好餌、エロの豐富さ安値が人氣に投じてか、去年よりは申込者が多いやうだとの御託宣だ

▼…こゝに目覺ましい進展ぶりを見せたのは食氣を賣物のカフエーと飲食店、脂粉、紅唇の藝妓はなくても酒と食物ならといふのが看板、鍋物を主にして酒呑放題料理食次第でウンと凄じい潜行運動を開始した、醉つた上での驪線展開を豫想して先づ酒食だけの忘年會黨はこゝらに來る

▼…色、酒、食の三題揃つた遊廓もグーンと觸手を伸ばして某一流の家では酒はいくらでもサーヴイスガールにも豐富それで五圓で持込んださか、さては星ケ浦海岸の上流どころへ聘ばれた美濃町の美形が送迎にバスに滿載されてこれぢやアお太鼓も髮形も滅茶々々だわさ悲鳴を擧げたとか、忘年宴が生む珍談奇語も年の瀬らしい焦躁にざわめいてゐる

高松宮兩殿下 羅馬に御到着

【ローマ五日發電通】高松宮同妃兩殿下には午後七時五十分レグホーンよりローマに御到着、停車場貴賓室にてイタリー皇帝御名代アシナリ、アイベルネッツオ將軍を始め日本大使館員等多數御出迎へを受けさせられホテルに入らせられた、兩殿下には明六日エマヌエル三世陛下を御訪問遊ばさるゝ筈である

は日本人の年中行事中その最後を華やかに粉飾する、酒と食ひ氣と色氣がほんのりと混亂する忘年宴は一年間の快、不快、から傭主、被傭者の社會的關係をまで完全に斷ち切つて社長がお友達に下降し課長が同僚になり、さては日頃の騎馬哲學の傀儡が「醉ふた上」での鹹い言葉となつて吐き出される

放送波長を受信し易くする

四百六十メートルとして JQAKで試驗放送

大連放送局で從來使用して來た放送波長は三百九十五「メートル」であつたが、此の三百九十五「メートル」は仙臺の三百九十「メートル」及び大阪の四百「メートル」に接近し受信聽取に際してこれ等と混同し彼我分離して受信するの困難な事情があつた。其處で放送局ではラヂオファンの迷惑少くなかつたのと最近遠距離聽取用受信機を使用する者著るしく激增したのに鑑み今回前記の仙臺および大阪の波長と接近せざる四百六十「メートル」を使用することになり六日から向ふ五日間、每日午後五時から同六時半ごろまで四百六十「メートル」に切換へ放送試驗を行つて受信各地からの成績を徵する事になつた。なほ定事の放送は從來の三百九十四「メートル」を使用するがしかし前記試驗の結果、若し四百六十「メートル」に故障なく成績良好であつた場合は直に三百九十五「メートル」を廢して四百六十「メートル」を採用し放送する事にするさ

日本橋校の講堂落成祝賀

大連日本橋小學校講堂その他改增築落成祝賀式は五日午前十時から同校の新裝成れる講堂で擧行、市役所民政署各小學校、兒童保護者代表等多數列席、大連一を誇る高サ六十尺の旗竿に日章旗が揭揚せられると同時に式は開かれ、來賓兒童には紅白の菓子にそへて供物の餅の分與あり、午後一時から兒童の手になる圖畫の展覽會一年から六年迄の學藝會が催され、兒童も保護者も大喜びで午後四時盛會裡に閉會した（寫眞は四年生の舞踊「エジプトの夕」）

製圖用の文鎭で義理の叔父を殺す

兇行後逃亡し浪速町で捕はる ゆふべ西通の慘劇

六日宵の口の七時半ごろ市內西通三五番地西洋家具店松浦常一方二階で同家店員で主人の甥に當る高橋誠一（二二）が酒氣を帶びて歸宅し、折柄飲酒中の義理の伯父常一（四六）と二言三言口論の揚句、製圖用の文鎭を振つて慘殺し血まみれ姿で逃亡した、兇行の動機は戀愛關係と血で血を洗ふ深刻な家庭的事情が伏在してゐるらしい、犯人は午後十時十分頃浪速町徘徊中大連署員に逮捕された

血にからみ戀に惱んで兇行

刺身庖丁で『殺してくれ』と思ひつめた娘に迫る

犯人誠一は本年二月郷里山口縣から來連、義理の叔父に當る被害者常一方に店員として實直に働いてゐたが、叔父はひどく口喧しい質で家庭は常に風波の絕え間がなかつた、殊に最近叔父は加害者の實の叔母に當るフジ（四三）を內地へ追ひ歸し後妻を迎えやうとしてゐるのに加害者は憤慨し口ぐせに叔父の無情を罵つてゐた、それぱかりでなく加害者は叔父の長女美知子（二〇）に懸想し本人は結婚する意志すら持つてゐたが、叔父はこれに賛成せず美智子も亦進まぬ氣配があつたので鬱々たる日を送つた、兇行當日加害者が酒氣を帶びて在宅してゐるところへ晝から外出してゐる叔父が強か泥醉して七時ごろ歸宅し再び長女美智子に酒を命じ飲み初めいつもの通り小喧ましく當り散してゐるを加害者が見兼ねなためにかゝつたところ、今度は誠一に喰つて懸つて來たので誠一はカツトなつて有合せた直徑三寸、厚味一寸の文鎭をもつて叔父の顏面を亂打し卽死せしめた、犯人はかたはらに呆然自失してゐる美智子を顧み「大變なことをした、俺を殺して吳れ」と刺身庖丁を突きつけて迫つたが美智子は「そんなことは私に出來ません」とワツト泣き伏したので、そのまゝ犯人は表へ飛び出し伊勢町方面へ逃走した

遼東百貨店前で犯人を逮捕

露西亞町に叔父を訪ね歸途 亢奮のため其儘留置

加害者高橋誠一は同夜午後十時十分浪速町遼東百貨店前の人込中を徘徊してゐるのを非常警戒中の細元巡査、吳金山、許岐德兩巡捕等の手に逮捕されたその時細元巡査が犯人を發見「お前が殺したのだらう」といきなり胸を摑んだところ犯人は「いえ違ひます」と逃れやうとしたが鼻の上に血痕が着いてゐるのを「これはどうした」と同巡査から詰問され「恐れ入りました」と溫順しく縛に就いた

犯人の逮捕經路を聽くに本人は慘行後家を飛び出して伊勢町から浪速町を彷徨ひ犯人の義理の叔父に當る北大山通四一請負業坂本奧一方を訪ねたらしく同家の障子に本人の血痕の手形がべつたりと附着してゐた、これは本人が慘行後叔父の坂本方を訪れ別れを告げて自殺を遂げる意向であつたらしいが坂本家に迷惑の及ぶを虞れてか家人には會はなかつたものである、なほ犯人は可成り亢奮して居るので藤井司法主任が簡單な取調を行つた後留置して今朝取調べることゝなつたが犯人は眞蒼な顏をして「叔父さんは死にましたかどうぞ此の事は新聞に出さないで下さい」と幾度もくゝ繰返してゐた

寫眞說明 犯人高橋誠一と藤井司法主任（左）下圖は被害者杉浦常一

血族結婚を嫌つた

被害者の娘談

思はぬ慘劇に呆然自失してゐる被害者長女美智子はオロオロしながら語る

誠一さんとは從妹の間柄で每日起居を共にしてゐますが、餘り話合つたこともなく性質などはよく知りませんが、どちらかといへば實直な方で、私が時に觸れ立腹しても、別段刃向かつて來るやうなこともありませんでした、父が母を歸したのを誠一さんが心良く思つてゐなかつたことは事實です、私との戀愛關係？そんなことはありません

と否認してゐたが美智子が警察官の取調に對し陳述したところによると誠一は豫て彼女に懸想結婚しやうとまで突き詰めた考へを持つてゐたらしいが、美智子の方では血族結婚となるといふので餘り好んでゐなかつたといふことである

スケーチングを語る

アイスホッケーに就て（2） 北河清

私はアイスホッケーの將來を有望視するものである。他の競技よりもより盛んになる運命を持つ事を認める、その理由は

× ×

現代人はスポーツと緣を切つては生活は無味である、あらゆるスポーツを見て眼が肥えて居る、批評の眼を持つて居る際にあまり單純なる組織のものは魅力が少い。と云つてアイスホッケーは決して複雜なものではない。しかしどんな天才でも明日から出來ると云ふ樣な競技ではない。走つて行ふ競技は、走ると云ふ事はわれわれは出來難でも出來る事だ、しかし氷の上をスケートを穿いて滑ると云ふことは一日では出來ない、その滑るといふ緻密な技術の上に組立てられたる競技である、競技中でもある種の高等のものと見ることが出來る

× ×

われわれは團體競技と云ふものゝ面白味と云ふものを忘れることは出來ない、アイスホッケーはラグビーの如き勇壯味を持ち又彼等が持てない氷上滑走の美妙がある

× ×

如何なる競技でもプレーのテンポの速いものでなくては大衆をひきつける力は無い。特に現在はスピードの世の中である。事每にスピデイーを要求して居る。アイスホッケーはあらゆる團體競技中一番スピードのある競技である。狹いリンクの中にあの目まぐるしい程のプレーを演ずるアイスホッケーは一度見た事のある人には忘れる事の出來ないものである。ある競い戶外に立つゞけて終りまで見て居る程のファンになる

× ×

私自身にしても殆どあらゆる運動競技をやつて見たがアイスホッケー程面白く感じたものはない。選手自身にしろ觀衆にしろ愉快な現代的競技である、而して日本のアイスホッケーが世界的に進出し得るや否やは醫大の歐洲遠征によつて證明された。一番最初に全ドイツチームとは十五對四の試合であつた、色々コンデイションのハンデイキャップはあつたものゝ確に彼等は強いと思つた。我々を跳飛ばして進む彼等、幾度も幾度も攻めてくる猛烈さは體力の差で如何ともする事が出來ないと思つた。しかし最後にクインで瑞西チームと試合をした時は此は間違つた考へだと思つた。彼等は前述の如き強チームである、その上指導者のカナダ選手を加へて居た、試合は七對四であつた。しかしそれも五對四の後庄司君が負傷し西內君も足をやられて退場してからである、私達は體力の差異は技術によつて補ひ得ることを知つた

× ×

日本人は恐るべき手先の器用さを有してゐる。彼等以上の技術によるのは困難なことではない、そしてそれで彼等の體力に對する補ひとすれば彼等を征服し得るものである

× ×

近來滿洲に於ては少しく冬期運動について考へられる樣になつた。しかしまだまだ微々たるものである。特に一般の人々の理解と云ふものは皆無であるが此所で滿洲に於ける冬期運動必要論を再び述べる事は省略する。スケート競技の一般人に無理解であつた反面にこれを理解する人々が發達の爲に援つた影の努力は大なるものがある

× ×

スピードスケーチングは安東を中心に、アイス、ホッケーは奉天を中心にして今日の隆盛を見るに至つた。醫大は今年は理想的ホッケーリンクを作り、夜間練習も出來てますますその腕前をあげ當に滿洲各地のチームを指導して行く事が出來るであらう。沿線各地はリンクを作ればいくらでも出來る充分に練習する事が出來る。しかし大連の事を考へて見ると情なくなる

大連一中の光圀祭

けふも展覽會

大連第一中學校では既報の如く六日午前九時半より同校講堂に於て德川光圀卿記念講演會を開催したが職員生徒は交々壇上に立つて光圀卿の事業を讚美し水戶學を闡明し或は光圀の詩歌を吟詠して聽衆に多大なる感動を與へた、尙此の日別室には光圀卿に關する書畫書籍類を展覽したが珍しいものが多いので觀覽者は少からず興味を惹かれてゐた展覽會は七日も引續き開催の筈

慶應軍勝つ

對帝大ラグビー試合

【東京六日發電通】帝大對慶應のラグビー試合は六日擧行左の成績で慶應勝つ

慶應一二（三—三 九—〇）帝大三

捕へて見れば巡警なり

去月二十四日午前四時半ごろ營口南新街公平酒局韓錫山方に二名の強盜押入り現大洋票六千七百三十元を強奪逃走した事件については其の後支那側警察に於て極力搜査の結果、犯人は意外にも第三分局の王、劉の二巡警なること發覺し直に取押へ免職處分に付し猶事訴追中である、犯人の自白に依れば當日同酒局に於ては賭博を開帳し居りこれが取押へのため臨檢したるが彼等は早くも之を覺知し風を喰つて既に退散せし後にて前記の大洋票が現場に散亂して居たるを拾得惡心を起し隱匿所持せるものなりとのことなるも被害者の申立とは甚だしき相違の點あり目下眞相取調中である（營口電話）

成瀨本社員の不幸

滿洲日報社庶務部員成瀨善太氏三女は豫て病氣のところ五日死去、七日午後零時半から市內若狹町東本願寺で葬儀を營む

日曜の催物

▲午前八時から朝日小學講堂で第一回DM優勝旗爭奪卓球大會

けふの滿日講堂

▲河上湖立氏書展（午前九時より午後五時まで）第二講堂
▲喜多流謠曲大會（午前十時より）第一講堂

海の唄 〔一二三五〕

仲木貞一 作
林 淳 畫

出没（八）

幸吉と田部と月枝の三人は、その日、朝早くから旅順へ出かけた。

月枝は自分が一番のり氣になつて云ひ出したことであるから、何時もの朝寝坊で、寝起の惡いのには似もやらず、この日は誰人よりも早く起き出て、幸吉や田部を急き立てた。

汽車が大連の停車場を發車した時から遠くで鳴る半鐘のやうな不思議な優しい音が、列車の下の車輪のところに聞えた。制止めが車輪に觸れて、こんな音を立てるのだらう！ゆつくりした客車の中でこの音響が耳立つて聞える。

月枝は旅順へ着くまで、この音ばかりを氣にした。

旅順の停車場に着くと、三人はそれから古風な餘り綺麗でない馬車に乗つて、さびれたやうな舊市街を一通り見て通つてから、有名な二百三高地の砲臺や、白玉山塔などを見物した。

「えらいもんやなあ！おそろしいことやなあ！」

幸吉は、それ等の何かを見る度にいつもかうして感歎してゐた。

「面白いく、實に痛快だなア……」

田部はたゞかう云つて、もの凄い形に砲臺の打ち抜かれた痕などを眺めて幸吉に對して、わざと反抗的に嘲れるやうな態度をとつたりした。

月枝は、そんな戰爭の跡よりも此地の博物館が一番珍しいと思つた。

その博物館にあるものは、何れも内地の博物館などに在るものよりも、戰役記念の品々でもあり、また大きな國、古い國のものを蒐集してあるだけに、遙かに珍品も多く、いろ／＼の参考品が納めてあると月枝は思つた。

そして、其の中で一番眼を止めさせたのは、ミイラであつた。ミイラは丈六尺餘りの男が二人と、五尺餘りの女とであつた。埃及のミイラと違つて、これは五千年も前に死んだらしい人々の死體が、此の土地が乾燥し切つてゐる爲に自然に凝固して、出來上つたものであるとのことであつたが、その氣味の惡い飾物の硝子箱の上には、何年何月О氏が蒙古旅行の際、これを支那新疆天山南路にて發掘して、此處に納めたといふ細い證明書が添へてあつた。その他此のミイラの發掘者のО氏が、此館に納めたといふ支那蒙古地方の珍品が、數限りもなく陳列されてあつた。

「田部さん、ほんとにОといふ人は豪い人なんですね。今何處にいらつしやるんでせう？」

と、田部に向つて、斯う云つた月枝は、飽かずにそれ等の品々を觀てゐたのだ。

「さあ、今、青島にゐるかも知れないね。此の間大阪で演説したといふが、また此方にゐるでせう！それとも上海へ行つたか……」

と、田部も何か一心に視入つてゐた眼を、月枝の方へ向けて云ふ。

「さう？青島なんでせう？……私、一度でいゝからその人を見たいわ！どんな男だか……」

「大きな男さ、立派な……矢張あゝいふ大きな男でないと外國へ行つても恥かしいね。フッ、秋月みたいな貧弱なのぢやね。ほんとに見たところからケチ臭い奴だ」

と、云つて、田部はわざとらしく肩を怒らしてみた。

「ヘッ、大きくつたつて、醜いんぢやねえ。小さくたつて綺麗ならまたそれでいゝのよ」

月枝は何か癪にさわつたやうに高い聲で斯う云つた。コツリ／＼と鼠のやうに幸吉が背後から來た。

「あゝ、幸さん、今度青島へも伴つて行つて下さらない？ほんとに私は旅が好きだわ」

月枝 幸吉を見ると、嬉然として斯う甘へるやうに云つた。

幸吉は、何となく月枝の言葉を自嘲に近いものゝやうに感じはするものゝ、それを受け流す氣にもなれなかつた。

新年川柳募集

▲課題「羊」一人五句以内
▲〆切は十二月十五日
▲大連市能登町十高橋月南宛
▲賞金天（五圓）地（三圓）人（二圓）

新年俳句募集

▲課題「社頭雪」
▲句數一人五句以内のこと
▲締切は十二月十五日
▲封筒に滿日俳句と明記
▲原稿は東京市牛込區若松町八二島田青峰宛
▲賞品 天五圓、地三圓 人二圓

暮の雜誌界

世の不景氣は益々深刻化して來たが、暮の雜誌界は益々異數の發展振りを示してゐる、ここに雜誌の元締たる講談社發行の雜誌はこの不景氣を吹き飛ばした活躍振りを見せてゐるのは時節柄愉快である

油斷のならぬ 赤ちやんの便秘

やたらに出來ぬ院腸や下劑

人口榮養の場合は勿論母乳で育てる場合でも、赤ん坊は僅かな不注意から胃腸障害を起して、便秘勝ちに成るものです。

無論他の原因で便秘する場合例へば先天的に腸機能に缺陷のある兒や、哺乳が不足で榮養が少いために便秘と云ふより寧ろ無便となるやうな事も有ります。

而し乳兒便秘の大部分はこの胃腸障害に起因して居りまして、放置しますと遂には小兒削痩症等の重症に陷り取り返しのつかぬような事になります。

然るに下痢の時は家中大騒ぎをするのに、便秘をしても一向氣にせぬ親達がありますが、この便秘こそ愛兒を奪ふ病魔なのです。

さて便秘の手當としては何れもが院腸や下劑を考へますが之等はいはゞ強制手段で一時便通の目的は達しましても反覆しますと習慣性となり、且つ自力の弱い乳兒が衰弱して居るのでありますから、益々衰弱の度を加へる危險が伴ひます。

しからば、どんな手當が良いかと云ふに院腸や下劑は一切やめて、マルツ汁榮養療法を行ふのが最も有効最も安全な療法とされて居ります。是は別に六ケしい方法ではなくマルツ汁エキスと云ふ飴狀の美味な滋養品を牛乳か白湯に溶して病兒に與へるので、胃腸障害を根本的に除き自然によい便通となし、牛乳其他の榮養物を消化し得ない場合でもマルツ汁はよく消化吸收されて、胃腸を恢復させ乍ら便通をつけ榮養を増進し強健な發育を遂げしめるものであります。

滿洲日報
夕刊
十二月六日

蔣、張兩氏間に決定の中央對東北省の關係
外交、交通、財政を中央に移管
連絡係には張繼氏

【上海特電五日發】張學良氏が出發に際して蔣介石氏との間に纏まつた中央政府對東北關係に關しての重大なる決定事項左の如し

明年一月一日より新税率を實施同時に釐金撤廢を機會として東北四省の半獨立狀態を改め外交、交通、財政の三件を完全に國民政府の手に移し全國統一の實を擧げると、其具體案左の如し

外交 從來中央と東北は滿蒙諸問題につき二重外交であつたが明年一月一日より全部中央に移し内部的に東北は中央に具申し一致して統一のされたる外交方針を立てること

交通 滿洲における北寧、四洮、吉長三國有鐵道はこれを中央政府交通部に移しその他吉敦、奉海、吉海、洮昂、呼海、齊克等の省有鐵道は當分その儘としこれが監督權は矢張り中央政府交通部が握ること

財政 地租は全國一率に從來通り省の收入としその他の收入は全部中央へ送り必要の經費は更めて中央より交付す、なほ東北邊防軍の名義は明年一月一日より中央國防軍と改稱し、東北における上級黨部は東北の官吏なほ南京よりの情報によれば中央對東北關係の連絡については張繼氏が奉天に赴き駐在すること

張學良氏天津着
今明日中奉天に歸る

共匪南下に漢口不安

…軍は四十八師の討伐隊を擊退し續々南下を始め揚羅司近く迫りつゝあり黃州、岳城兩縣城は城門を閉じ籠城準備中で市民は昨夜來當地へ避難しつゝあ、黃州、岳城が共匪の手に陷れば漢口下流航路は杜絕すべく揚羅司が占領されれば漢口は危機に直面するので武漢行營は大狼狽し四十四師全員を同方面に急派するに決し司令部は今朝軍隊に出動したが兵力尚不足で樂觀を許さない

馮玉祥氏
青島經由日本へ

【上海五日發電通】某方面の情報によれば津浦沿線袁州に現はれた馮玉祥氏は袁州より濟南に出で膠濟線で青島に向ひ青島から日本に亡命するに決した模樣、なほ馮玉祥氏は天津經由に危險を感じ石友三、韓復渠氏等舊部下の駐屯する道筋を選 だものと見られてゐる

政府、與黨の統制上黨務代行者を置く
安達内相を推さん

【東京六日發電通】民政黨では濱口總裁に代つて黨務を代行せしむる副總裁を置くべしとの議論が少壯代議士中に擡頭してゐたが黨内の議が熟せず又幹部においてもこれが實現には種々の事情より…

一方濱口總裁の經過は頗る順調で來年休會明けの議會に出席の見込み十分立つてゐても既に目前に迫つた議會召集を控へて實際問題として對議會策、議院の重要黨務を控へてゐるのでこの際總裁代理政府を代表して與黨との聯絡統制の任に當る閣僚が必要であるといふに幹部の意見一致しこれがため原筆頭總務は五日安達内相と會見の際種々意見交換の末更に近日中幹部と黨出身閣僚との間において篤と協議の上決定する事となつたが結局黨出身閣僚中順序からして安達内相が總裁の病氣中政府與黨間に立ち特に總裁に代つて黨務を代行する事となるであらうと【寫眞は安達内相】

副總裁と稱せず
與黨少壯派の意見

【東京六日發電通】民政黨少壯派代議士又新會は五日午後六時より新橋東洋軒にて例會を開き松浦、眞鍋氏等二十九氏出席總裁問題につき更に實現に努めるに決した後副總裁問題については濱口總裁外十餘氏より

濱口總裁は休會明け議會に出席し得るは確信するが病後の身故これを補佐し政府と黨間の聯絡統制に當る副總裁を設置するは時期を得たものである

と贊成したが

この際副總裁の語は面白くないから聯絡係りといふやうなものでよくないか

その異論出で結局總裁が休會明け議會に出席に至るまで黨務の中心となりて活動する中心主體を設くべしとの意見に滿場異議なく一致した右は議や申合せとするを避け單に少壯派の空氣として發表する事とし次いで

第五十九議會の陣立はこの際閣議等に捉はれず新進有爲の人物を拔擢し潑剌たる活動をなさしむべし

といふに滿場一致九時過ぎ散會した

聯絡係懇談

【東京六日發電通】濱口首相の病氣中總裁に代り政府與黨間の聯絡統制の任に當るべき總務と關係閣僚の件に關し九日午後黨出身閣僚と總務との懇談會を開き決定する豫定である

東北黨務委員會は多分明春成立せん
既に組織準備に着手

南京における黨中央黨部の決定により東北四省に黨及黨務指導委員會を組織するに決定したので東北黨務委員會は目下これが組織準備に着手してゐるが同委員會には黨務の經驗ある者無きを以て黨中央黨部員六名を呼寄せ準備事務に當らしめてゐる、なほ東北黨務委員會の成立は多分明春となる見込みである【奉天電話】

地方税の輕減要求
大藏當局反對

【東京六日發電通】減税財源の一部を地方税輕減に割いて貰ひたいとの内務省の要求に對し大藏當局は強硬に反對し目下行惱みの狀…

北寧線公債
發行期日と利率
奉天の三銀行で引受

北寧鐵路局が機關車購入のため起債する北寧鐵路公債四百五十萬元は既に南京立法院の審議を經たが利率月八厘、額面全額發行、發行期日は第一回は昭和六年一月十六日（九十萬元）同三月十六日（九十萬元）第二回は同年十一月十六日（八十萬元）昭和七年一月十六日（百二十萬元）同三月十六日（百二十萬元）で第一回分は十五ヶ月、第二回分は十四ヶ月償還、引受銀行は邊業、東三省、中南三銀行である（奉天電話）

口税減税案の大綱
明六年度には九百萬圓

【東京六日發電通】大藏省では減税案につき全く成案を得るに至つたがこれに伴ふ地方税たる附加税改正につきなほ内務省と交渉中であるが、決定せる大藏省の國税減税案の大綱左の如し

減税方法

△地租　新たに賃貸價格標準の地租法を制定し税率を百分の三、八とす

△營業收益税

一、個人營業收益税は百分の〇、二を引下げ百分の二、六とす

二、法人營業收益税は見分の〇、二を引下げ百分の三、四とす

三、千圓以下の所得者は所得額より百五十圓を控除して課税す

△砂糖消費税　第一種より第五種を通じ約一割の減税を爲すが黑砂糖、赤砂糖は第四種第五種より幾分多く減税する

△織物消費税

一、税率百分の一〇を百分の九に引下ぐ

二、絹綿、人絹綿の混織物にして綿九十五パーセント以上のものは免税す

三、下級毛織物、下級麻織物は列擧方法により免税す

減税金額（單位百圓）

明年度	九〇
七年度以降年々	二、五〇〇
内譯　租約	一、〇〇〇
營業收益税約	四五〇
砂糖消費税約	七〇〇
織物消費税約	三五〇

實施期

明年度九百萬圓でこれに適應し税目により異なり營業收益税は六年十二月一日、織物、砂糖消費税は七年一月一日、地租はその後となる模樣である

國費に二千五百萬圓の餘裕を生じたのでこれを減税に充當せんとするもので從つてこの二千五百萬圓は國税に振り向けらるべきものである、只この國税輕減によつて負擔關係に不均衡が生ずるならば地方財源の節約によつて財源を捻出し之を補正するを至當さすといつてゐるので本問題の解決までには十日位を要するものと見られてゐる

霧社事件審査

【東京六日發電通】臺灣霧社審事件につき研究會では六日午後三時より政務審査部會を開き特に松田拓相の出席を求め詳細説明を聽取する事となつた

文制審議會

【東京五日發電通】師範教育改善に關する文政審議會の第二日は五日午後一時から首相官邸に開會前日に引續き審議に入り質疑應答あり委員長林博太郎博士以下十六名の特別委員に附託し午後四時散會した、第一回特別委員會は八日午後一時より開會の豫定である

滿鐵々道部異動
主任助役級十四名

滿鐵では六日社報を以て鐵道部業の主任助役級の人事異動を左の如く發表した

四平街驛貨物主任　向野元生

鐵道部勤務を命ず（海外留學）

鐵道部運課勤務　竹森愷男

四平街貨物主任を命ず

埠頭事務所貨物方　石川常長

埠頭事務所貨物助役を命す

吾妻驛貨物助役　白川義隆

鐵道部營運課勤務を命ず

埠頭事務所貨物助役　武知幸廣

吾妻驛貨物助役を命す

奉天驛貨物主任　桑原已代治

鐵道部貨物課勤務を命ず

遼陽驛貨物主任　藤原龍一

奉天驛貨物主任を命す

鐵道部庶務課勤務　橫山圭一

遼陽驛貨物主任を命ず

長春驛貨物助役　國重久

鐵道部庶務課勤務を命す

大連驛貨物助役　田代佐重

長春驛貨物助役を命す

新臺子驛助役　平山惣吉

大連驛貨物助役を命す

五龍背驛助役　中村三郎

新臺子驛助役を命す

大石橋小荷物方　田方幸四郎

五龍背驛助役を命す

（以上各通二日附）

總務部審査課技師　高野氣次郎

計畫部能率課兼務を命す（三日附）

關東廳の異動決定
大連警察署長に石井警視拔擢
新民政署長は中旬ごろ發表

大連警察署長後任の人選については豫て關東廳首腦者において今歲末警戒期に入り、併せて最近頻發する强盜殺人事件に鑑み急ぎつゝあつたが、いよいよ長春警察署長石井金三郎氏（警視六等）に白羽の矢をたて近く發令を見ることになつた、これによつて長春署を初めその他警視署長級に異動が行はれる筈である、かくて新任警視には現警務局高等警察主任警部清水激氏が拔擢任命されることになつ、かくて右警務局内の…容は衛生課長を内地から輸入しつて完備するわけであるが、新設の三民政署長の任命と事務官、理事官の大體の選考も終り十四五日ごろ發令さるべく、而して金州民政署長には關東廳支那長増田道義氏（事務官六等）が昇任に決定した

警察界のピカ一
石井新任署長

新任石井新大連署長は愛媛縣生れ大正三年渡滿、同八年警部となり旅順、大連兩民政署、警官練習所教官を歷任し大正十五年警視に昇任、營口署長となり昨冬の大異動によつて長春署長に榮轉したものである、氏は各地署長中の最古參警視にして同時にまた辯護士試驗に及第した滿洲警察界のピカ一である【寫眞は石井氏】

簡易保險金は今後即時拂
局へ請求と同時に
愈よ來る十一日から實施

簡易保險の規定が改正されて本月十一日から郵便局で直接保險金の即時拂ひ取扱ふ事になつた、これは從來保險金支拂の場合、總て請求書が東京の簡易保險局に廻送され同局で支拂決定後郵便局から支拂はれてゐたのが今度は郵便局へ請求と同時に支拂はれる事になるので受取人には非常に便利となつた譯である、大要左の通りである

一、取扱局、管内各郵便局及び出張所（郵便所を除く）でその契約の保險料の拂込みを受持つてゐる局所に限る

二、即時拂を取扱ふべき契約の範圍

（イ）契約の効力發生後二年を經過（復活のものにありては契約の効力發生後二年を經過し且つ復活の効力發生後二ヶ年を經過）し保險料拂込み期間中に被保險者の死亡した契約であること、但し傳染病豫防法第一條第一項に係る傳染病に關する死亡ならば經過期間の制限なし

（ロ）契約または復活の効力發生後五年に被保險者が死亡した場合はその死亡の原因が契約締結後發生したものに限る

三、辨濟未了の貸付金の在るものに限る

四、受取人の氏名を指定した契約若し指定なければ被保險者の家族相續人がその相續の屆出をしたるものに限る

五、被保險者死亡後三ヶ月内の請求に限る

六、書類の完備されたものに限る

走馬燈
農業金融機關の提唱に就いて（下）
知坊生

批評すれば際限ないが、かうした反省點あるに拘らず、農業資金に關する金融機關の改善は必要だ、併しそれがたゞ低資の一般的貸出のみに喰附けるのも考へもので、貸出の主體を農會とする説が起る所以だが、私は更に農會の自體が、先づ自治的金融組合を基礎附け、その信用の上に低資を借入れるのが必要だと思ふ、斯ういふと金融組合の基礎、賦ち特産の必要な所以でないかといふであらう、しかし理窟はさうだが實際は非常に異ふ贊ひ從來の特産…る者を見るに、必要から起つた議論と便宜論との區別がある、結局思想的助長策に陷り、甚だしきは或る意味の中飽者を拵へたに過ぎない、現に内地でも農林省の低資融通が、深刻にそれを熱望する自作農者に徹底せずして、中間の有志者に利用されそうになつたとの實際をきく、有りそうな事だ。

◇

私は今の南滿農家金融機關の提唱者を、さうした意味の分子だとはいはぬ、しかし何處でも隱り易い傾向は低資の曲解だ、ブラジルのコーヒー園でも、ダバオの麻栽培でも、同じく盛んに低資貸出論が唱へられて居る、否現に當地の水産業者間にも起つて來たが、何處でも疑義を生ずるのは主體問題だ、若し深く之を研究しないならば、たとひ當初の動機は純良であつても、その結果は動もすれば好ましくない、殷鑑遠からず、世界各地の日本植民地にさうした悲惨が多分にある、農業地帶はそれ自體が生産力を有するだけ、比較的融資物件として安固なやうだが、金融業者に農業的智識經驗なく、農業者また金融に關する素地ない場合は、却々思ふやうにならぬ者だ、私は屢々各地で此種の意見をきかされたが、融工業にせよ、農事經營にせよ、さうした組合自體が大小に拘らず金融機能を造り、官府若くは銀行をして、合理的に低資貸出の法を講ぜしめることが、最も策の得た者でないかと考へた

◇

忌憚なくいへば、滿洲農事經營者の活動式、土地に對する經營觀念は、餘りに千種萬態だ、其處に過渡期の已むない事情があるであらうが、併し具に各個人に就いて考察すると、資力あるもの必ずしも成功の端緒を握つて居らぬ當初の資力は微弱だが、純農者としての努力を傾注する者に、將來の大成を思はせる萌芽がひそみ、何の點から考へても、本業自體に起因した貧擔らしくないのもある、それは世相の常態だといへぬ事もないが、併し當業者の不一致は其處から生まれる、換言すれば對外的には一塊の組織と見得られるが、内部の希望、その希望の因つて來つた動機は千差萬別だ、それを大摑みに助成しやうとするのは好いかどうか、第三者は屢々疑ひなきを得ぬ。

◇

各種の問題が起るたびに、私は自ら現地に就いて獨自の研究を仕やうと試みた、當局者の措置にも手落ちはあるが當業者の意見も纏まつて居ない、撫順所問題がさうだ、遼陽工場移轉問題がそうだ、消費問題また然りである、表面では割然相對立して是非の論を立てゝ居るやうだが内容は彼此の利害が相錯綜して定見を捉へにくかつた、それと同じく農業資金問題の如きも、要點は先づ農業者自體の内部的結束を固め、その根據となるべき具體的案を實現し、それを中心に漸次發展させて行くにあると思ふ、直言すれば既成の金融機關に缺陷があつて、若し之を改善するに於ては、別に新たに機關を成立させないでも、充分その使命を發揮せしめ得る、恐らく當事者自身にも其方途の發見に苦しんで居るであらう、從つて農業者側の難點は、彼等を承服さすに足る成案・提示を拔擢して、アト官憲と金融當事者との裁量に任すといつた月並の運動に了らず、事を切望したい、要するに究極は個人の信用であり、その信用ある個人の團結力だ。

歐亞聯絡列車から
ドイツにおける東洋研究熱勃興
日本文學研究の獨學生語る

【ハルビン特電五日發】大毎の交換ドイツ學生ヘイコウシユ氏は日本文學研究のため五日歐亞連絡列車で通過したが語る

最近ドイツには日本文學特に東洋の研究熱勃興してゐる、夏目漱石氏の作品はドイツの各方面に刺戟を與へてゐる

歐洲各國の燃料研究
志賀理學士談

又同列車で通過の動力會議に出席した志賀富士男（故重昂氏の息）理學士は語る

歐洲における燃料對策、特に石油の研究はフランスが機で成功するルセールもドイツで成功するとづき難い、理論的にはフランスが一番優れてゐる、モスクワでは何か變事があつたのか大砲、機關銃を並べてゐたさいふ浮説で騷いでゐた

吉田大使親任式

【東京六日發電通】外務次官よりイタリー大使に榮轉した吉田茂氏の親任式は六日午前十一時より宮中鳳凰の間において幣原首相代理侍立の上左の如く行はせられた

任特命全權大使　從四位勳三等　吉田茂
伊太利國駐剳被仰附

佐藤大使親任式

【東京六日發電通】本日新任駐白大使佐藤尚武氏に對し左の如く親任の官記傳達があつた

特命全權公使　佐藤尚武
任特命全權大使白耳義國駐剳被仰附

辭令

【東京六日發電通】
叙四位勳一等　萩原通敬

高等科生修了式

關東廳警察官練習所第二十期高等科生修了式は五日午前十時より旅順振武館にて所長中谷警務局長、安井高等法院檢察官長、森本警務課長、二宮憲兵隊長其他來賓多數列席の上盛大に擧行、開式に次いで中谷所長より左記十名（△印は卽日附を以て巡査部長に昇進）に對し修了證書、考査試驗合格證書並に武道進級辭令等を夫々授與し星子生徒監の成績報告、警務局長の訓示、二宮憲兵隊長の祝辭、生徒總代の答辭を以て閉式、一同玄關前にて記念撮影をなしたる後立食の修了祝宴を催した

巡査部長荒木通、同河本七三郎△後藤芳雄△浦部東一郎△長安武男△山口銀三△黑瀨始△島崎成義、永松增明△伊東敏、松島仁平△大井幸太郎、高野榮五郎、鹽崎廣次郎、土屋公則、竹下又吉、藤井英夫、吉田春衛、山内俊一、安川伊八

驅逐隊初度巡航

旅順第十六驅逐隊は來る十五日旅順出港渤海灣沿岸地域の初度巡航を爲したる上青島、寄港來る二十五日歸港の由

ばいかる丸

七日午前八時半大連港外着の豫定

人事

▲岡本乙一氏（辯護士）六日午前十一時出帆の長春丸にて上海へ
▲竹内克已氏（著述業）同上
▲小野寓作氏（辯護士）六日午前十時出帆のあめりか丸にて内地へ
▲森田茂氏（代議士）同上
▲丹羽保次郎氏（工學博士、日本電氣株式會社技術部長）ラヂオ展講演の爲め遠中の處六日夜行にて朝鮮經由内地へ
▲小澤新之助氏　母堂並に令嬢不幸に際し深甚なる同情と弔意を表せられたる御禮の爲め六日市内各方面歷訪

大觀小觀

内亂終まり、全國和平統一の實が擧がるは、隣邦日本も欣ぶところ東援、新總裁を迎へ、積極的に事業遂行を圖らんとす。在滿邦人に躍はんこそ祈る。

◇

協力、張合作により、東北省の外交、交通、財政三權を明年一月より中央に移管。

◇

大藏省の減税案大綱成る。軍縮の有難味はこれ。

◇

漸く再開した露支交涉の基調は一切平等、それは既定の根本方針今までつまらぬ道草を食つたもの

天氣豫報

七日（南西の風）曇り時々晴

各地溫度

	十一時	五日最低
大連	二、九	零下〇、五
旅順	七、八	一、三
營口	零下六、三	零下八、一
奉天	同六、四	同七、七
長春	同六、二	同九、二

立見式の議會傍聽席

第五十九議會開會も二旬後に迫つたが今年から院内の模樣替へをやつてゐたが議場傍聽席後方も立見式の議會傍聽席に改造された【寫眞は議場傍聽席の立見式】

照宮樣けふ御誕生お迎へ
伊豆地方大震災で御祝宴お取止め

【東京特電六日發】照宮樣におかせられては今六日をもつて滿五年の御誕生を迎へさせられたが、この日正午御祝膳につかせ給ひ、天皇、皇后御兩陛下からも御玩具の御祝品を拜し、御祖母皇太后陛下からは御祝辭に添へて鯉鱗一臺を賜るなど宮中はわかき内親王樣を御中心に御慶びにあふれた、また山岡前御養育掛その他現奉仕、舊奉仕者達が打揃つて參内宮樣に拜謁御祝辭言上したが、御祝宴は伊豆地方の大震災により御取止め遊ばされた（寫眞は照宮さま）

御發育も御見事
幼稚園兒こご一緒に
和かな半日をお暮し

【東京特電六日發】照宮樣には六日を以て滿五年の目出度き御誕生日を迎へさせられた、今秋十月六日、おはかり申したところによると御身長は早くも三尺三寸七分と拜し奉つた、また先月六日の御體重は四貫二百二十七匁にて御發育極めて御順調にわたらせられる御趣きである、天皇、皇后兩陛下の御一方ならぬ御愛撫を受けさせられて御妹孝宮樣と宮城皇子御殿に和やかに御暮しの宮樣は最近殊に大人びて參らせられた、先月から毎週火、金の兩日赤坂離宮御苑内舊生物學研究所跡に成らせられ女子學習院教授宇佐美ケイ子女史の御指導で女子學習院幼稚園兒十名と御一緒に可愛い唱歌や遊戯、色紙細工などに打興ぜさせ給ひ、御苑に咲き競ふ花壇の草花いぢりを遊ばされ、花に濡れた

＝御手を＝ 先生に示され「バッチー」と仰せられることもあると承はる、快晴の時は砂遊び、粘土細工、さてはブランコ、滑り臺などで御學友と共に和かな半日を送らせられるのが常とならせられた、この頃では御人見知りのこともなく御快活御聡明な御資性に渡らせられる先月十八日皇后、皇太后兩陛下には御揃ひで、照宮樣が園兒と共に圓卓を圍ませられ御手藝に

＝御餘念＝ なきさまを赤坂離宮で御覽遊ばされて殊のほか御滿悦になつたとのことである

滿鐵のボーナス
基金減額三十萬圓
日給は五分、月給は一割減斷行
成績で支給額に大差

財界不況の打撃をうけた滿鐵にては事業不振による收入減のため止むなく本年は會社の賞與基金全體に就て日給は五分、月俸は一割減を斷行することゝなつた、しかして例年普通賞與が十日まで、特別賞與が廿日までに支給されてゐるが月俸社員の普通賞與は從來のまゝとし特別賞與において改正されることゝなつてゐる、但しこの一割減額は基金の減額であつて各人に對しては各人の働きを充分に考査して支給されることゝなつてゐるから必ずしも各人一樣に減額されるものでなく、從つて各人の差が多くなることは當然の結果と見ればならない尚この基金減額高は大體三十萬圓見當と見られてゐる

風說を憂慮
首相の經過發表
鹽田、眞鍋兩博士名で
きのふ民政黨から

【東京五日發電通】濱口首相の容體につき議會を控へて種々風說あるを憂へ政府與黨は五日鹽田、眞鍋兩醫師の名にて容體經過を左の如く發表した（五日午後六時）

手術後滿三日中は化膿性腹膜炎の併發を憂慮せしもその事なく腸管の麻痺も同復し疎通確實となり、飲食物攝取も逐日量を増し手術後第五日灌腸に依り排便あり、腸管疎通障碍の根本を懸念せしもこれまた異狀なく便通良好にして消化も良好なり、今後創面中障碍を起すべき模樣もなく現在の狀況では彈丸摘出の必要を認めず、以上の如くなるより近時體温は三十七度を越えず呼吸、脈搏は共に平靜順調なる體力の回復を見つゝあり

福岡（ＬＪＫＯ）が
店びらき
愈よけふから

【福岡六日發電通】多年の懸案であつた福岡放送局の竣顯が叶ひよく本日から放送開始、Ｌ・Ｋの聲で呼び掛けることゝなつたので、午前七時ラヂオ體操から放送を開始すると共に十一時から工會議所樓上で縣下から五百名の有志を招待し祝賀會を開いた、加入者は開局早々優に七千名に達すべく西日本文化開發の使命を果すと共にラヂオ實用化の今日植民地各地に至大の利便あらうと

Ｒ一〇一號
査問會閉會す

【ロンドン五日發電通】十月五日フランスの上空に於て爆發したイギリス大飛行船一〇一號の査問會は本日を以て閉會となつた、査問會の結果に就てはまだ發表されぬが一委員は語る

何時頃報告書を作製するかは目下のところ言明出來ぬ慘事の原因を明かにし且つこれが將來の航空界に有益な助力を提供する樣になる事を希望する

ラヂオの二重放送
愈よ十日から試驗的に
成績がよければ紀元節から本放送

【東京六日發電通】日本放送協會多年の懸案であつたラヂオの二重放送は豫て遞信省に認可申請中のところ五日試驗放送の認可があつたのでいよく來る十日から明年一月三十一日まで試驗放送を行ふ事となつた、放送電力は十キロ、波長六百十二キロサイクル（四百九十米突）で、時間は午前七時より八時まで、同八時四十分より九時四十分まで、同十時二十分より十一時まで、同十一時四十分より午後一時十分まで、午後一時五十分より二時四十分まで、同三時四十分より五時四十分まで、同六時十分より十時迄である、然して右試驗の結果が良好であれば來る紀元節から本放送を實施する豫定である

阪神地方に
今曉地震
時計の止る程度

【大阪六日發電通】六日午前五時三十一分大阪地方に可成り強い地震あり最大震幅〇、六粍、總震動時間九分半、時計の止まる程度で阪神地方被害無し、震源地は淡路方面又は兵庫縣姫路附近ともいふがいづれも被害無き模樣である

岡山地方にも弱震

【岡山六日發電通】今朝五時半ごろ當地方に可成りの地震あり、市民は戸外に飛出した、發震時は五時三十二分、震動時間一分、震幅一粍、震動の緩き方で性質は急、震源地は淡路島の西方海底らしい

方面委員制度
愈よ近く發令
規程や顏觸れも決定

關東廳では現下社會の生活改善並に公私救護事業の促進を圖るため大連市一圓に方面委員制度を施行すべく過般來慈善公共團體並に新に施設を要すべき事項、不良住宅地域内に於ける風紀、衞生問題等具に調査し且つ規程の草案、委員の人選に着手する等準備を整へてゐたが、生憎、太田長官が上京不在であつた爲め遲れて延々になり今日に至つてゐた、處が

長官も この程漸く歸廳し愈も決裁となり、また委員の顏觸れも確定して今度こそは旬日を出でず實施される運びになつた、いよく活動を開始するのはこの月中に舉行される發會式後からである。尚方面委員の執理事項として傳へられる處は左の通りである

一、一般社會並に生活狀態を査察しこれが改善向上を圖ること
二、救濟または指導を要する者に對し各國の事情を精査しこれに對する適當なる措置を講ずる事
三、人事の相談に應ずること
四、不良住宅地域内における衞生風紀の改善を圖ること
五、既設社會施設の活動を助成し新に建設を要すべき事業等を攻究すること
六、その他特に調査實行を委囑する事項

警察も手を燒いた
ハンドバッグ掻拂ひ
ゆふべ大廣場で婦人を襲ひ捕る
二青訓生の大手柄

大連大廣場青年訓練所生が今春來婦人を襲ひハンドバッグ掻つ拂ひ犯人の現行犯を目撃し格鬪の上逮捕し民衆警察の模範を示した――五日午後七時三十分ごろ神明町八番地花岡一枝（二〇）が近隣の奧さん三人連れと浪速町で買物を濟まし大廣場ヤマトホテル前を通行中、

薄暗り からツカくと

寄つて來た一名の支那人が矢庭に一枝の手から現金十三圓入りのハンドバッグを強奪逃走したので、一枝が「泥棒々々」と叫んでゐるた、附近散歩中の大廣場青年訓練所生市内桂町二二番地田中正典（一七）と壹岐町二四番地田中大助（一七）の兩君が聞きつけ、千代田町方面に逃走する犯人を追跡し、大廣場小學校前で格鬪のうへ逮捕、大連署司法係に突き出した、犯人は沙河口胡家屯常保財（二〇）といふ今春來續々として浪速町中心に出沒し

雜踏に 紛れて婦人のハンドバッグ專門の掻拂ひを働き、巧に姿を晦ましてゐたので當局もこれが逮捕に手を燒いてゐたものである、なほ星署長事務取扱は犯人逮捕の二少年の行爲は民衆警察の模範とすべき勇敢なる行爲であると賞揚し六日二少年に對し金一封を贈つた

共犯者も逮捕

青年訓練所生が逮捕したハンドバック專門の掻つ拂ひ犯人は二、三の即席揮毫の需めに應ずることゝなつた

滿鐵の採用人員
明年は七十名位
而かも技術が大部分

滿鐵明六年度の專門學校以上の新採用人員は人事課の手にて着々調査を進めてゐるが、時代の勢ひと減收のためこゝにも不景氣風が押寄せてゐる、卽ち技術方面は四年度が九十名五年度が七十名の採用を行つたが本年は目下のところ四十四名程度の採用方針であり、事務員方面は目下各課の要求數を取纏め中であるがこの方面もまた四年度の九十名、五年度の卅五名に比し六年度は當然卅名以下に下るものと豫想されてゐる

關東廳と滿鐵が
化學工業博に共同參加
滿洲の斯業紹介に努む

内田嘉吉氏を會長とする化學工業協會主催の第三回化學工業博覽會は明六年三月廿日から四月廿日まで約四十日間東京上野不忍池畔で開かれるが、滿鐵、關東廳双方とも大正六年と十五年の再度の同博覽會に協同出品し非常な効果を收めたので今回も協同參加することに決定大いに滿洲化學工業品の紹介に努めることゝなつた、しかして滿鐵にては同博覽會場に約廿坪の陳列場所を作る豫定であるが、滿鐵、關東廳共に化學工業界に最も權威ある能し物の一つとして一般滿洲斯業者の參加を熱望してゐる、尚滿鐵よりは中央試驗所、撫順の化學工場、オイルシエール工場等その他より出品されるものと觀像されるが滿洲の一般出品希望者は滿鐵殖產部庶務課に問合せば出品方斡旋の勞を執るさ

河上氏梅畫展

六日から滿日講堂で梅畫の個人展覽會を開催した河上滄立氏は日本に於ける梅畫の第一人者で開會と同時に頗る盛況を見せてゐるが參觀者からの希で會期を七日迄延長

大連第一中學校の偉人記念會

大連第一中學校では六日午前九時から教育勅語渙發四十周年記念事業の一つとして毎年催すことゝなつた偉人記念會の第一回として德川光圀卿記念會並に展覽會を開催した【寫眞は記念會】

調査の粗漏から
料理店を破產の運命へ
大連署の苛酷な營業取締りに
非難の聲漸く昂る

大連署保安係が法規を楯に苛酷な營業取締を行ひ不況に喘ぐ一營業者を破產運命に突き落したといふ事態が出來し行政上考慮すべき問題であると非難されてゐる、卽ち市内逢坂町四九番地

松市樓 こと山田コタケは抱妓に稼高の分け合ひを支拂はなかつた廉により過般大連署保安係から一週間の營業停止を命ぜられたが、これが致命的打擊となり遂に破產の運命に突き落されて數

無責任に同情の
餘地なく處分
原田保安主任の話

右に就き原田大連署保安主任は語る

松市樓に事實そんな事情があつたとすれば、樓主は進んで當署に來り事情を釋明すべきであるに、いくら當署から呼び出しても病氣だといつて出頭せず、しかも分け合ひを支拂はなかつたのは帳場委せであるから自分は知らぬなどと無責任なことをいつてゐたので當方としては一點同情の餘地はないと思つて處分したのである、然し松市樓の事件は別として、將來筋の通つた同情すべき事情のある者に對しては行政上相當考慮する考へである

け合ひを支拂はなかつた理由は惡く樓主的、貪慾から來たものではなく裏面には打ち寄せる激甚な不景氣のため極度の營業不振を招き、米すら一升買ひでその日をすごしてゐたといふ實狀、

脊に腹 は替へられぬ餘儀なさから生じたといふ同情すべき事情にあつたことが逢坂町廓組合で調査の結果判明したが、大連署ではこの同情すべき一營業者の行爲を調査するところなく單に樓主扱ひにして營業停止を命じ廢業者の生存權を絶つたもので、この種の事態に際しては寄つて來るところの眞相を調査し行政上涙ある取扱ひをなすべきだと云はれ、今回大連署が執つた潔なき態度は當業者の

怨嗟の 的となつてゐる

右につき廓組合某幹部は語る

松市樓の今回の行爲は同情すべき事情にあつたので蔣來信託の債務三百圓を棒引にしてやり家主の方も何千圓かの滯りがあるがこれも棒引にして貰つた上幾分かの立ち退き料すら貰ひ廢業したのです、警察に涙があつてこんな場合今少し營業停止といふが如き大鐵槌を下されなかつたならば或は廢業といふ悲運に遭過せず濟んだかも知れません

生存權を奪はれ
五千圓女給遂に大連を左樣なら

「もう決して大連には戾つて來ません」と吐き出す樣に記者に投げつけて五千圓女給の大内衣子は六日出帆のあめりか丸で内地に歸つた、彼女は先般古巢の大連に舞ひ戾つて女給にならうと思へば警察から不許可、カフエー經營も罷りならぬ、折角大日活の長さんが

百圓也 でテケツに雇入れやうとすればそれも警察の干渉で罷りならぬとつひに大連では生存權さへ奪はれて何時までも五千圓が懷中にあるわけでなし、昨夜も歸國の旅費がないので例の三百圓也の白狐のショールを博多屋に質入れしやうとしたが、ダイヤカフエーの主人が俠氣を出して旅費を與へたといふ次第――「五千圓だ五千圓が來た」と折柄船内船外見送りの人々の好奇な眼から逃れるやうに

三等室 に隱れたが、記者がなほもつかまえて話しかけやうとすれば用心棒の樣に傍らに附き切りのダイヤのをやぢさん「そんな男放つときなはれ」と衣子を連れて人込の中へ――

森田氏歸京

去る一日來連した民政黨代議士森田茂氏は六日出帆のあめりか丸で歸京したが「大分お土產が出來ましたか」と船中に訪へば「いや年内にも一度來なければならぬ、一寸した私用で副總裁や大森理事等と新濱で飯を喰つて大いに猥談をやつたよ、今度來た時には君等と一度ゆつくり猥談でもやらうわはゝゝ」と却々の大元氣であつた

賭場荒し捕ふ

去月十二日午前一時ごろ大連泰山街六二番地侯錫殿方の賭博場へ警官を裝ふて闖入し大洋三圓と小洋七圓を奪つて逃走した三人組強盜の一名の石道街ヶ部二二番地鄒福田（二〇）は逃走中のところ五日夜大連署刑事が逮捕したで搜査の結果、六日午後十時ごろ常廷山（三〇）といふ共犯者を近江町街衙中取押へた

支那人兒童にも缺食者

經濟の暴落が祟つて學校に通ふ兒童にすら影響を及ぼし最近支那普通學堂の生徒に缺食者が非常に多いとのことで沙河口署では過般來管内の公學堂及普通學堂について調査中であつたところ、小平島普通學堂に十名の缺食兒童のあるのが判明したので同署保安係では近く同地の小平島會と協議し救護方法を講ずる筈であると

醉拂ひ年增大暴れ

市内京町四〇番地濱部儀三郎内縁の妻杉本リト（三五）は五日午後十一時半ごろ沙河口泉町居住の西織一と共に夜明カフエーにおいて強か飲酒泥醉のうへ兩名は附近のカフエーパリーに至り同所にて飲んで歸ろうち杉本は器物を投げ飛ばし「損害は辨償すればよいではないか」と盛んに啖呵を切り、他人に喰つてかゝるので沙河口署員が出張檢束、六日朝夫儀三郎まで呼び出され大目玉を頂戴引さつた

賣掛代金踏倒し

市内磐城町鄭萬隊は民生料器行の屋號で市内浪速町五、三橋吉五郎から自動車、警察器械の卸を受け販賣してゐたが右掛代金六百十四圓餘を踏倒して行方不明となつたので六日前記三橋から鄭の搜査願を小崗子署宛に出した

信濃町市場外部歲末賣出し

信濃町市場では十日より廿八日まで歲末付外部歲末聯合大賣出しを行ひ福引券は現金買上五十錢毎に一枚を出し二枚にて抽籤し白米三斗入十本、木炭一俵三十本、醬油瓶詰九十錢、湯呑一百七十本、砂糖一斤詰、タワシの景品であると

旅順の驅逐隊迎宴

旅順官民合同の第十六驅逐隊歡迎會は驅逐隊の都合により來る十日午後五時より偕行社に於て開催する事と決定した

侠艶一代男（133）

米田華紅作　伊藤幾久造畫

鄕の血の雨（五）

「いかくさ御親切にお訊ね下さいますが、仔細あつて、生國はおろか、こゝ、苗字は申し上げかねます」

か組の頭清吉が、あまりに熱心に訊ねるので、眞鶴のお千賀も輕く顏をあげ、弱々しい聲で答へた。

「さうですかえ？これ程に俺がお訊きしても、お話が出來ねえと仰しやる以上は、この上、無理にはお訊きしますまい」

清吉も、むッつりと腕組した。いかにも濟まぬやうに、眞鶴もソッと溜息を吐いたが、縋りかけた心を今さら締めて

「どうぞお許し下さいませ」

「何の、許すの許されえのと、いふことはねえ。初會から根掘り葉掘り、野暮な話しを切り出して、定めし變な野郎と思ふか知られえが、これにも深い仔細があることでれ」

「はい……」

と、眞鶴はまた顔を深く襟に埋めてしまつた。

賑やかな外の混雜に引きかへ、この部屋ばかりは森閑と、嫌にしめやかに默りこくつた男女が暫く向ひ合つて居つた。

油を吸ふ音が、ジ、ジと耳についた。

大鷲神社戻りの人たちが、ぞく〳〵と廓へ繰込んで來たか？遙かに往き交ふざわめきが無氣味な渦を捲いて聞えてくる。

山口樓へも登つた客も多いと見え、廊下をバタ〳〵と草履の音が激しく、妓や遣手婦の叫ぶ金切聲が繰返された。

太鼓持や内藝者を揚げた客が、茶屋から送り込まれ、中庭を越した向ひの廣座敷でどんちやん騒ぎ、飲めや唄への賑やかさで、三味太鼓に混つてどら聲で唄ふてゐる。

内も陽氣、外も陽氣、廓の大路小路、ぞめきの客でごつた返し、扇と扇とが觸れ合ふ人出で、江戸町の角近く、遠州流の花を活けた

白い陰に、人波をよけて、突つ立てゐるのは、加賀鳶の纏持木鐵太郎であつた。

その側に小腰をかゞめて愛想笑ひ、ぺこ〳〵と安手に頭ばかり下げてゐるのは、四谷鹽町に巣喰つてゐる遊び人の三藏。

いつぞや下谷西町の立花左近邸で、仲間部屋へ立ち現れ、淺草奥山の矢場女、寶亭のおさしみお兼が仕組んだ小便組の裏を掻いた手傳ひをしたあの男である。

「えへッへッへゝゝゝ、いゝ所で、お役割にお眼にかゝりましたよ。お千賀さんさやらを拐した火の玉小僧與膳の在所を突き留めやしてれ、なアに新宿の村端れ、植木在のしでえ木賃宿でごぜえましたよ。あれからすぐに八番組か組の清吉さんの耳へ入れまして、揃つて出かけてみるさ、口惜しいぢやござんせんか、野郎はお千賀さんを連れて、もうどこかへ鞍替へで、逐電してしまやアがつたのでした。それがどうもこの廓へ賣られたらしい樣子なのでござえますよ。今日の午さがり、神田和泉町の清吉さんのお宅へ伺ひ、それを話しやしたから、今夜紋日の張見世を幸ひ、片ッ端から調べてやると仰しやつてますが、頭にしたつて、お千賀さんの面を見知つてるわけぢやなし、雲を攫む尋ね人の

なんで！そこへ行くさ、あつしは與膳が木賃宿へ連れ込むお千賀さんの姿をかいま見てゐますから、一目見れば間違ひつこはねえんでごぜえますよ。頭が一緒に來いさ云ふので、實は大鷲神社のお詣りをかね、頭の伴をして、か組の若衆五人連れで、こゝへ繰込みやしたが、何しても此の人出で、押しつもまれつしてゐるうち、仲の町の中頃で、その姿を見失つてしまつたのでごぜえますよ。全くいゝ所で、お役割にお眼にかゝりましたよ」

三藏はホッとして嬉しさうだ。か組の清吉にはぐれて、折角の飲み口を引ッぱづしたいまく〳〵しさ。誰か知つた顏でも引ッ懸ればよいさ、鵜の眼鷹の眼で、往き交ふ群衆を物色してゐるうちに、人ごみにもまれてくる加賀鳶の鐵太郎を見つけ、袖を引いて、端へ避けてきた。

長氏の演藝館經營說は嘘

飽迄大日活で頑張り

益々積極興行に出る

舊映畫館の改築を前にして變動常なき大連映畫界は次から次へと各種の流言が傳へられつゝあるが、最近に到り大日活が正月興行後に於て長次郎吉氏が投げ出し明春演藝館の新築を俟つて再び映畫界に進出すべしとの說をなすものがあり、これがため又も惡宣傳が行はれ演藝館の現狀より推して相當有力視されてゐるも、右の說は全く根據のない流說である、卽ち演藝館は家屋管理人の平田謙吉氏が言明せる如く明春三月まで館員救濟のため營業を續けつゝあるもので、その後は全く白紙主義で如何なる好條件を伴ふとも改築後の演藝館經營を目差す一切の策動者には耳を藉さぬところであり、また大日活の營業成績を見るに依然として他館を壓倒し充分に採算の見込があり、今日長氏が大日活を手離すが如きことは全く想像されぬところである、尤も去月末來、出資者との間に紛糾を生じ一時は交涉決裂さへ傳へられたるもその後圓滿なる解決を遂げ當時の噂は一掃されてゐる、また日活との資本提携も既に一部分の成立を見たので、愈々積極興行策に出で旣に正月番組を全部決定し來る九日には夏川靜江來演の件に關し上洛の豫定である、以上各方面より見るに大日活及び演藝館に關する流言は問題にならぬものである、右に就き長氏は語る

新館を建てゝ今日まで實際に苦みました、一時はこんなことをするのでなかつたと思つた位です、昨年は金策に奔走し借金償却に追はれて……飛びました、しかし今は立派に採算がされます、上來年こそは私の今日まで努力の酬いられる時です、と共に舊映畫館が改築されれば斷然大日活が有利な立場に立ちます、幸ひ皆樣の御……借金もこの程一段落つきましたから、今後は興行に全力を……ぎます、……そんなことは噂され……でも心外です。口幅つたい言ひ方ですが、十五萬圓以上もかゝる新館がそう容易に出來るはずはありません、來春から私が獨り舞臺の意氣込みで……

清元演奏會はヤマトホテルに會場を變更

清元美笑會

明七日夜六時より遼東ホテルにて開演の筈なりし

新舞踊會日延

明晩もひらく

大連舞踊研究所師範科第一回公會は六日夜協和會館で開催したが、前人氣よく全部座席を收容し切れぬので明七日まで日延べすると

大連ラヂオ界回顧（二）

—JQAKの處女時代—

貝瀬謹吾

これを日本に就て見まするのに古い文明に就ては歐米先進國に一籌を輸する事已むを得ませんが、新しい科學に關しては決して人後に落ちないのでありまして、前記マルコニーの無電がヨット競漕に實績を收めた翌年、早くも我遞信省の電氣試驗所内に無線電信研究部が設けられ、爾來無線電信電話に關する研究發明は歐米のそれと並行して進步し、殊に最近丹羽博士の……

濫觴をし、博士發明の機械が盛に徴地に輸出されると云ふ實情であります、而して所謂ラヂオ放送も亦米國に於ける最初の試驗に遅る、二年、卽ち一九二二年（大正十一年）の頃から放送開始が提唱されその翌年の關東大震災に際しては、無線の威力が素晴らしく發揮されて其の年の十二月に放送用無線電話規則が制定公布されたのであります、而してJOAKは大正十三年……

可を受け、翌十四年の三月一日から芝浦高等工藝學校内の假……から試驗放送をはじめ、同二日から愈々假放送を開始、同年七月愛宕山の本放送所に……式放送をはじめたのであり……大阪、名古屋も夫々假放送……後、JOBKは同年四月一日、JCCKは同年五月一日から正式の本放送に移つたのです。

さて然らば我滿洲のラヂ……何、今回滿洲日報社がラヂ……會を開催されるに際り、……關する特別講演會を設け、……權威者たる丹羽博士たは……

滿日勝繼碁戰

滿洲日報
帝國生命
生命保險に値下りなし
貯蓄、信託に代るのみか投資として最も有利なり
不況時代に却つて堅實なる伸展を示せる會社こそ眞に信頼するに足る事を知る
契約の純増加が前年同期に比して斷然光彩を放てるはひとり帝國生命あるのみ
解約率の僅少優良なること四十に餘る生命保險會社中他に追隨するものを見ず
新種保險は連年利益の九割積立を實行し愈々明年より無比の高額配當を斷行す
健康增進施設を利用されし御加入者は創始三年間に約三萬件に及ぶ多數を示す
新種保險
健康增進施設
東京 丸ノ内 帝國生命保險株式會社
大連市西通り三十五番地 大連出張所
東京支店 大阪支店 仙臺支店 福岡支店 札幌支店 金澤支店
名古屋支店 臺北支店 京城支店 廣島支店 京都支店
新年號出來!!
富士
『富士』は輝く日本の雜誌
全國に轟く大歡呼、悉く粒選りの巨篇大傑作
美しき地上 山中峯太郎
愛憎秘ノ録 三上於菟吉
大盜傳 佐藤紅緑
千兩花嫁 前田曙山
無遠慮夫人 伊東研齋
花月風流第一課
怪奇戰慄!幽靈塔
黑龍白虎の大試合
さすらひの孤兒
反逆兒由比正雪
雪中鴛鴦圖繪 小島政二郎
踊れぬ愛人 近藤經一
怪奇實話 猛獸人の告白 小山莊郎
悲壯絕戀 ぐるま 吉川英治
滑稽無類 人生漫畫面 佐々木邦
哀戀悲戀 愛の戰車 加藤武雄
二組の情死事件
書籍附錄 芝居と映畫 名流花形 大寫眞帖
空前の大奮發 三百六十頁堂々たる美麗書籍附錄
天下の名優花形一人も洩れなく採錄!
映畫ファン、芝居ファン、必携の大アルバム
この附錄だけでも、一圓でも安い二圓でも安いと大評判!
定價七十錢
大日本雄辯會講談社
美裝罐入
(新製品)
御園石鹸
御歲暮に御年賀になどにたもれば喜ばる御進物
TOILET SOAP MISONO
定價 六個入 九十錢 十二個入 一圓八十錢
伊東胡蝶園
東京・大阪
最新刊
大阪屋號書店
最新刊

コドモ

おはなし 山賊たいぢ

沙河口小學校尋三 五十嵐幸

ある日のことです、一郎さんは山へ鐵砲を持つて鳥をうちに行つた歸り、日暮近く一本道を一人で歸つて來ると、前の方から猿がやつて來るのを見つけました。「これは大變だ」と思つて後を向くと、後の方からは熊がやつて來ました。道は一本道です「どうしようか」と困つてしまつたが、丁度其處に一本の高い木がありましたので一郎さんは急いで其の木に上りました。

一郎さんは葉と葉の間にからだをかくしてヂーツと下を見てゐると猿は熊を見てにげてしまひました。熊は木の上をじつと見てゐましたが、あきらめたと見えて、のそり／＼とどこかへ行つてしまひました。

一郎さんは木から下りて又一本道を歩いてゐると向ふの草原から銀色の兎が不意にとんで出て一郎さんにヒヨコンとおじぎをしました。

一郎さんは、何の氣なしに兎の後からついて行くと、兎は青い森を通りぬけきれいな野原に着きました。或橋を渡ると金の門がありました。そして其の中には、きれいな金のお城がありました。

兎は其の中に入つたので、一郎さんもついて入りました。

やがて兎は王樣のおへやに入りさまや王樣の前で、ていれいにおじぎをしました。

王樣は、一郎さんの姿を見ると大へん珍しがりました。

「おう、あなたは、なか／＼强さうな少年だ、どうか私達のお城にいつまでも居て下さい」

王さまは、いろ／＼と一郎さんをもてなしてから、

「じつは、おれがひがあるのですが、きいて下さいませんか」

「それは、どんなことです」

一郎さんは王樣のしんぱいさうな顏を見ました。

「それは、外でもない、じつは、この向ふの山に、おそろしい山ぞくが住んで居る。その山ぞくが私の娘の菊姫とたからものゝ千里ぼうえんきやうをぬすんで行つたのです、どうかして取りかへしたいと思つてはゐるのですが、山ぞくは仲間が大ぜいなので中々取りかへすことが出來ないのです、あなたは强さうな少年だし、それに鐵砲を持つてゐなさるから、きつと山賊に勝つことが出來るにさういありません、どうがこの國のために山ぞくをたいぢして下さい」

これを聞いた一郎さんは、もとく勇ましい少年ですから、すぐそれを引きうけました。

「よろしい、私がたいぢしてあげませう」

一郎さんのこの言葉をきいて王さまや、けらいどもはたいへんよろこびました。

「では、今すぐ出かけませう」

一郎さんは、さつきの白兎を道あんないにしてズン／＼山奥にはいつてゆきました。

やがて、けはしい山の中ほどのところに來ました。

「あそこが、山ぞくの岩やです」

白兎の指さす方を見ると岩やの入口らしいものが見えます。

一郎さんは、けはしい坂道をかけのぼつて岩やの門のところにつくと、おもての戸が破れるやうにドン／＼たゝきました

「開けろ／＼開けないと、門をぶちこはすぞ」

一郎さんの聲をきゝつけた山ぞくのけらいは、出て來て見ると鐵砲を持つた强さう少年が立つてゐるのでびつくりしました

「かしら、大變です、鐵砲を持つた强さうな子供が門の前でいばつてゐます」

「何、鐵砲を持つた少年が、よしおれが、さつちめてやらう」

と、いかつい顏をした山賊のかしらは太い鐵の棒をかゝえて表に出やうとしてゐると一郎さんは岩やの中にとびこんで來ました

「きさまが、山ぞくのかしらだナさあ奪つて行つた菊姫と千里望遠鏡を出せ、出さなければこの鐵砲で打ち殺すぞ」

とどなりました

「何をこしやくな、小ぞうめ、この鐵棒をくらへ」

まつかになつて怒つた山ぞくのかしらは、鐵の棒をブン／＼ふり廻して一郎さんに打つてかゝりました

一郎さんはパッと後に飛びのいて鐵砲のねらひを定め、山ぞくのかしらの足をめがけズドンと一ぱつ放つと、ねらひはあやまたず、山ぞくはちんばになつてしまひました

この騒ぎに手下の者どもが澤山集つて來ましたが、片はしから鐵砲で足を打つたので、山賊どもは一人のこらずちんばになつてしまひました

山ぞくどもは、これには困つてしまつて、みんなは地べたに手をついて「どうぞ命ばかりはお助け下さい」とたのみました

×

一郎さんは、菊姫と望遠鏡とを取り返してお城に歸ると王樣は大へん喜んで、一郎さんに金銀の寶物を澤山くれました

「不慮の死を遂げた 菊子さんを憶ふ」

お友達が涙で綴った悲しみのつゞり方

朝日小學校に學藝會のあつた二十九日の午後四時半頃、朝日校六年生の小澤菊子さんがお祖母さんといつしよに元菊子さんのおうちに雇はれてゐた支那人ボーイのために殺されたことは皆さんは其のあくる日の新聞の記事でよくご存じでせう、自分の大へん世話になつた家のお婆あさんを殺し「かんにんしてちようだい」といふ、かあいゝ菊子さんまでも殺してしまふとは何と恐ろしい支那人でせう、小澤さんのおうちはほんたうにお氣の毒でした、とりわけ菊子さんは朝日小學校でも優等生であり お友達からはよく慕はれてゐました。來年は目出度く學校を卒業して女學校に入ることを樂みにしてゐたのでせうに先生達も お友達も共に前途ある菊子さんの死を悲しみ、それと同時に小澤さん一家の不幸に同情をしてゐます。恐らくあの新聞記事を讀んだ世の中の人々も恐らくは同じ心で二人の冥福を祈つたことでせう、次に掲げた綴方は菊子さんの同級のお友だちが菊子さんの死を弔つた涙の思ひ出です（寫眞は菊子さん）

溫い心の 菊子さんだつたのに

村井喜代

思ひ出深き二十九日、私たちに悲しい出來事がおとづれて來たのでした、

私と親しいくお友達の小澤菊子さんが、おなくなりになつた聞きまして天地もくつがへるばかりに驚きました、

ほんとうに御不幸な小澤さん、永久にあなたは私たちの所へは歸つて來てくれないのでせうか、私達はいくら運命だと言つてもあきらめられません、あの日學藝會へ私達と一緒においでになつたら何事もなかつたでせうに、

あの、やさしいく小澤さん、木曜日にお會したのが最後のお別れだつたのです、私は、まさか、あれが最後のおわかれであつたなどとは夢にも思ひませんでした、

あなたのお机は、しよんぼりとお教室で、あなたをお待ちして居りますが、二度と私達とお勉强はできないやうになつたのです、やさしい／＼とだれにも好かれ、お勉强もよくお出來になつたのに、私の泣いてゐた時など、やさしくなぐさめて下すつたことは今でも忘れられません、

おうちにおよびして樂しく遊んだことも十月が一番最後でした、お正月にも又およびして、たのしく遊びませうと思つてゐたのにそれは夢のやうに消えうせてしまひました、

スケート場を見るにつけても、もし小澤さんが生きてゐらつしやつたら今年も愉快にスケートができたでせうにと思ふと大そう殘念で、その場をすぐに立去りました。

私はもう一度小澤菊子さんのお顏が見たうございます。あの、かわいらしい、やさしいお顏を……

安らかに お眠り下さい

牧文子

二十九日「菊子樣が亡くなられた」といふ電話を受けたとき私は、どうしても信じる氣にはなれませんでした。

あのお優しい菊子さまが、私の一番仲のよかつた菊子さまが……「お母樣、嘘でせう、嘘でせう、いや、嘘です、嘘です」默つて涙をためてゐらつしやるお母さまに「嘘ですよ」といふ返事が聞きたくて泣きながら尋ねました。本當だと知つてゐても、どうしても嘘にしてしまひたかつたのです。

菊子樣と私とは幼稚園から小學校六年まで、いつも同じ教室で學び、同じ庭で遊び、どこに居る時も二人は一緒でした、受持の先生も二人の仲をよく御存じだつたので、二人は常に机を並べていただいてゐました。

あの日は丁度、菊子樣が御病氣で學藝會には出られず私が菊子さまの代理をしたのでした。菊子樣のお母樣のお話によれば菊子樣は、あの朝までお妹さんの「よつちやん」をお相手に、學藝會のおけいこをなすつて居られ「牧さんがきつと立派に代理を務めてくれるだらう」と、そのことばかり氣にして、私のことを御心配のあまり、お母樣に「牧さんの出來ばえを見て來てお話しして下さい」と無理矢理に學藝會に行かれる事をおすゝめになつたといふ事です、何と强い責任感と友情でございませう、私は美しい菊子樣のお心をうれしく悲しく何とも感謝の言葉がありません。

菊子樣安らかにお眠り下さい私は全力を注いであなたの代理を務めました。

童謡 風のふく夜

北村しげる

お猿のお尻は
つめたかろ
まつ赤な
お尻は
つめたかろ
れどこの中に
ぬくぬくと
ねながら
一人考へた

ひる間遊んだ
公園の
おさるのお尻が
寒さうな
寒風
ピユウ／＼
吹いてます

新年童話 —懸賞募集—

規定

一、內容が朗らかで童心の豐かなもの
二、十五字詰、百二十行內外
三、一人で何篇應募するも差支なし
四、紙上匿名可、但し住所姓名を原稿の末尾に明記のこと
五、應募原稿は一切返戾せず

◇原稿締切 十二月十五日限り

◇懸賞金 甲賞十圓、乙賞五圓、丙賞三圓

◇發送先 滿洲日報編輯局學藝部「懸賞童話」と朱書のこと

締切いよ／＼迫る 國産愛用の『童謡と標語』

各小學生諸君奮つて應募せられよ

＝十一月六日の大連滿日兩新聞參照＝

大連新聞社
滿洲日報社

暖い冬の日の午後

懸賞童話（選外佳作） 桔梗と鷄

Y・HORI

それは晴かに晴れ渡つた初秋の朝でした。

海に面した丘陵の中腹に、一本の桔梗が美しい紫色の花を開きました。丁度其の時あかるい太陽が碧い海からきらきらと輝き出ました。太陽はすぐに桔梗を見つけました。そしてにこ／＼笑ひながら桔梗に話しかけました。

「おーい、桔梗のお孃さん、綺麗に咲いたね」

桔梗は嬉しさうに答へました。

「太陽の叔父さん、お早やう。私そんなに美しくて」

太陽は愉快さうにうなづくと、高く高く空へ登つて行きました。野にも山にも明るい秋の光りがさんさんと降りそゝがれました。

靑い空から一匹の鷄が降りて來ました。鷄は桔梗の傍に翅を休めながら、歌を唱ひ初めました。

「チッチチ、チッチチ
高いお空はうれしいな。
チッチチ、チッチチ
涼しい秋はうれしいな」

桔梗は鷄の面白い歌聲に調子を合せて、思はず美しい體を搖りました。鷄は桔梗に氣がついて、びつくりしながら尋ねました。

「チッチチ桔梗さん
貴方はぽつかり何時咲いた。
チッチチ桔梗さん
僕はちつとも知らなんだ」

桔梗は快活に答へました。

「ほんのほんの前なのよ。
明るい光と、涼しい風に
妾ぽつかり咲いたのよ。
だけどおしやれの鷄さん
あなた何處から飛んで來て」

鷄はぱつぱつと桔梗の周圍を飛びながら、又きれいな聲を張上げて歌ひ出しました。

「チッチチ、僕はねえ
高い空から來たんだよ。
チッチチ、僕はねえ
碧い海越へ來たんだよ。
奇麗なお空に
奇麗なお海
飛んで歌つて來たんだよ」

桔梗は羨ましさうに溜息しました。そして鷄に言ひました。

「それはほんとにすばらしい
綺麗なお空に
綺麗なお海
妾も飛んで見たいな」

鷄は大聲で笑ひながら、然し親切に桔梗に言ひました。

「アッハハ桔梗さん
あんたは翅が無いだらう。
高いお空は飛べないよ。
チッチチ、だけどそれ
お顏を上に向けて見な
ほーらよ。
奇麗な奇麗なお空だろ
すうつと向ふを見下しな
奇麗なお海だろ」

桔梗は空を見上げました。美しい靜い空が、高く高く澄んで居ました。

桔梗はずつと向ふを見下しました。おだやかな碧い海原が何處までも續いて居ました。

「おゝきれい」

桔梗はうれしくてうれしくて仕方ありませんでした。鷄も愉快でした。そしてぱつと飛ひ上りながら桔梗に言ひました。

「桔梗さん、さあ私達はこの麗かな秋のお天氣のために歌を唄はうよ」

桔梗はうなづきました。やがてさんさんと降りそゝぐ秋の光の下に、美しい歌聲が傳はつて來ました。

一秋のお空は綺麗だね
千丈も萬丈も澄んでゐる
秋のお海はすてきだね

旅順
恒例のマラソン
爾靈山巡拜
各組に見事な新記錄

恒例に依る旅順第一中學校爾靈山巡拜競走は五日占領記念日正午から擧行されたが定刻平田校長以下各職員生徒一同は雨天體操場に集合君ケ代を奉唱し校長の訓示木村マラソン部長の注意ありて一同校庭に出て頓く午後零時三十分を合圖に靑年組(五四三學年生)同四十分に至るや第二の號砲にて幼年組(一二學年生)總員四百名の韋駄天は輕衣快走の姿にて一齊にスタートを切り壯觀を極めたがその結果

▲靑年組　一着四十三分二十秒、(櫻組)三年生福永健三▲二着四四、四六(桂組)三年生川村文雄▲三着四四、四七(桂組)四年生酒井秀高▲四着四四、五〇(櫻組)四年生坂元武巳▲五着四五、一二(旭組)三年生來岡律

▲幼年組　一着四十四分四十三秒(桂組)一年生立石義雄▲二着四四、四八(桂組)一年生横佩敬勝▲三着四六、一五(櫻組)二年生橋本壽一▲四着四六、二八(旭組)二年生入江常信▲五着四七、〇五(櫻組)二年生内野眞

にて昨年の記錄保持者四年生山田盛一の四十五分を破る事一分四十秒、又幼年組昨年の記錄保持者一年生入江常信の四十六分五十五秒を破る事二分十二分の好成績をあげた、尚平田校長も生徒と伍し五十二分三十三秒の記錄を得たが此日關東廳マラソン部の選手十餘名も參加しその結果は左の如し

▲一着四十一分三十秒宮本▲二着四三、二〇積▲三着四八、四九樋上▲以下越智、宮崎、大島井、中本、鳥原の諸氏

因に本年の參加學年別は左の如くであつた

五年生四十五名、四年生七十七名、三年生七十名、二年生九十二名、一年生百十七名

櫻、旭、桂各組別、幼年別は左の如し

組別	靑年組	幼年組	計
旭	七七	六八	一四三
櫻	六二	六四	一二六
桂	五二	七七	一二九

爾靈山の英靈を慰む

旅順第一、二兩小學校生徒一同は二〇三高地占領日たる五日午前十時全員爾靈山に登り地下の英靈を慰める處があつたが折柄當年の激戰を追想登上してゐた當時の從軍記者厚東要塞司令官より約一時間に亘る興味有益なる講話を受け大に感動する處があつた

戰跡見學閑散

旅順戰跡の見學者で十一月を以て漸く本年の終りを告げたが前月中の來旅者中在滿組數七團體、人員二〇二名、内地人十團體、人員二三名、鮮人團體三、人員一四を算し總計團體二〇、人員二三九名を數へた

郵便局の成績

十一月中に於ける旅順郵便局の業務成績を見るに

▲爲替の引受は一、〇八七口金額三五、六三九圓七三、支拂一、〇二八口金額一九、八五七圓五四

▲貯金の引受は二、五六二口金額二七、三一六圓七七、支拂一、三五九口金額一六三、五〇〇圓九七支拂一五二口金額四一、一一六圓三九

にて前月に比し多額なるは陸海軍人滿州除隊のため土産品購入その他の爲めであり

▲振替　では引受九九〇口、金額一六三、五〇〇圓、九七、支拂一五二口、金額六、七〇三圓五二

なるがこれは主として銀行の送金又は年末に際しての仕入關係と見られる、尚

▲保險　方面では新規申込四一口此契約金一〇、六四〇圓八〇にて此外通常郵便の引受は八六、三四五通あり、此内特殊郵便物は一、八一四通、又配達は一一八、四四通にて此内特殊郵便は二、八一九通あり小包の引受は六三一個配達は二、二〇三個を算した

支那語合格者

這次施行せられた旅順民政署管下の支那語試驗に際し合格せる者十二名あつたがいづれも語學校通學者のみにてその等級氏名は左の如し

▲二等細川浩三▲三等安倍久滿夫▲四等奥村俊信、南喜市、小西秀雄、佐々木徹、益田信夫▲五等明星正明、竹林福太郎、乙守不二男、松尾繁實、生野三雄

武波氏母堂遺骸

四日關東廳醫院にて死去せる武波親子富民政署長母堂の遺骸は四日午後零時自動車にて親子寓に送り六日

黄金臺

同地に於て葬儀を行ふ由

小林第十六驅逐隊司令、越澤機關長、有賀芙蓉艦長、瀧谷刈萱艦長荒井蘇鐵艦長は久保田駐在武官の案内で四日各所を歷訪着任の挨拶を述べた

◇

靑年團旅順支部では來る六日午後六時から食堂キムラに於て會費一圓持寄の忘年會を開催する由

◇

十一月中に於ける旅順警察署司法係取扱ひは刑法上の罪二十四件に對し檢擧數十七件、人員二十一名行政上の罪三十七件に對し檢擧人員共に同數にて前者の多くは竊盜の二十件、後者は多く車馬事故であつた

◇

今回本社の招聘に應じて來滿せる電送寫眞の世界的學者工學博士丹羽保次郎氏は五日午前十時半高田日電大連支店長の案内にて來旅正午は關東廳高等官食堂に於て通俗的なる寫眞電送につき又三時よりは工大に於いて專門的講演を夫々試みた

◇

中谷警務局長は七日午後五時から關東廳出入記者を瓢亭に招待

◇

忘年會を催す由

◇

州內各中等學校英語主任教諭協議會五日午前九時から關東廳會議室に於て際會教授法につき協議した

哈爾濱
共產校長は近く南京へ押送
學生に主義を宣傳

長春第五中學校の校長薛汝綸、前校長南秉方兩名が共產主義者となり上海共產黨本部と連絡を執り吉林省教育界を赤色化し漸次勞働者下級職工等に主義の宣傳を行はんとし支部の組織に着手してゐたことを暴露し張作相主席の命で薛校長と鄭の兩教諭に學生三名が逮捕され吉林參謀總長熙治氏の嚴重なる取調を受けてゐるが薛氏は劉樹春教育廳長と姻戚關係あり、劉廳長はどうかして薛校長を釋放せしめやうと運動した、然し事件は軍憲の手にうつされ文官ではいかんともすることができぬので薛一味は結局南京へ押送される模樣である、南秉方は昨年京都で開かれた太平洋會議に吉林省を代表して出席した學者で第三インターと當時から連絡のあつたものであらうといはれ校長を辭すると共に薛校長を同志に加擔せしめ上海黨部と氣脈を通じてゐたものである、學生間にはかなり左傾的思想を培養してゐたので各學校とも連絡あり事件の發覺で教育界にセンセーションを與へてゐる

鑛山地帶調査結果

黑龍江省東興設治局管內における鑛山地帶の調査を遂げた江省農鑛廳技師韓樹常、北平地質調査技師王恒升、北票煤礦技師張先正、侯德封の一行は去月十七日チチハルに歸還したが煤石、石門子の炭礦は七百萬噸に達し卅年餘の採掘可能で石炭も亦良質である、五頂山の西南六區楽附近にも炭礦はあるが地下水結のため試掘することができなかつた

東鐵運行時間短縮

九月一日までは東鐵の各列車運行はこれまでのデスパッチ式を採用して來たが、十月一日から各東、西、南部線の運行に漸次ダイヤ式を採用し列車の運行を能率化すことになつたが、十一月末の各課からの報告によると南部線は直送貨物列車は三時間、各驛停車の列車は四時間、東部線は直通が二時間十五分、ハレードが五時間半ないづれも短縮しそのため一列車毎に少くとも一千六百四十三金留の節減廿五金留の經費節約となり一日少額を得たので一ケ年約百萬金留の利益を得ることに成功したと、これがために商主に多大の便宜を與へることができたといふ

東鐵技術改善委員會組織

東鐵管理局長は列車編成、運輸の改革その他鐵道運行上に關する技術的改善のために特別委員會を組織することを命じ各汽車、工務、運轉、營業の技師チウノフ、マドウイエワ、ジクリーチジリユースキーの諸氏を委員に任命した、これによつて經濟的節約を發見することに努めるさ

東鐵病院分局區域

東鐵の緊縮整理のため中央病院組織は一部改革された、從つて各沿線の從業員にたいする病院分局の總轄は左の如くに改められた第一區滿洲里分局、第二區ハイラル、第四區プハジンスキー、第十二區橫道河子、第十四區ポグラニーチで、縮小併合したものはチチハル第六區をフラルヂに第十區經門を寬城子、第五區は札蘭屯となつた

東鐵取扱貨物

十一月中の東鐵取扱ひ貨物は全部で三四四千噸でそのうち特產は二四一千噸、東行浦鹽行一三六南行大連向七〇、地方三八(各千噸單位)であつた、各沿線の滯貨は南行線五二、西部線四五、ハルビン四〇、東部線一七〇である

濱江雜俎

浦鹽駐在獨逸總領事パイツェル氏は五日の歐亞直通連絡で來哈し獨逸領事館員の出迎を受けモデルンに投宿、二日滯在の後浦鹽に赴任した

◇

東鐵の地方貨物運賃支拂の金留對哈洋の換算は一金留が一六九分と決定した

◇

東鐵の默醫處を本年末までに醫務處に合併し人件、事務費の節約をすることにルドウイ局長は命令したが、そのため一ケ年約四萬金留の節約をすることができると

◇

東鐵管理局デニソフ副局長は病氣のため療養中である

◇

四日附をもつて技師アレフーノは辭職した

◇

三日東鐵取扱の特產は五八二車であつた

◇

五日の地方換算金留對哈洋は二三四元

コルバニー

不景氣とは債務の延長を意味する、一ケ年間パン代を支拂はずに生活してゐる日本人もゐる▲雜貨商洋服屋、食料雜貨等に月末の支拂に三分の一平均決濟があればよい方だとあり▲在哈日本人の洋服代一ケ月の未拂額が五萬圓見當▲貯金はしても借金を拂はぬ債務延長主義者もゐる

本溪湖
大森理事來往

大森理事は五日午前十一時營後多數有志の出迎へを受けて直に神社に參拜して後採鐵公司を視察し午後一時より沿線各地を含む多數有志を公會堂に招待の席に列し終つて地方事務所々轄事務に付き聽取したる後午後三時四十分の列車にて橋頭に向つた、因に太田學務課長も隨行した

人事

▲滿鐵大連道場劍道師範高野茂義氏は一日來本、滿鐵道場に於て稽古を與へ二日南行す

▲大森地方部長十三日來瓦の豫定

瓦房店
警察の家族會

警察署にては五日正午より署員の家族會を催したが沿線駐在の家族も集まり約七十名の多數にて和氣靄々として樂しき半日を過ごし夜は無聲華の映畫を總見したのであつた

櫻木氏歸鄉

滿鐵を辭した元社會係主事櫻木芳國氏は五日午後五時列車にて出發歸鄉の途に付いたが驛頭には多數の見送り人であつた

醫院職制改正

今回滿鐵醫院職制改正の結果阿部勳造氏は婦人科醫長となり山下友市氏は齒科醫と藤野新太郎氏は藥劑長早川與八郎氏は庶務長となり何れも長組となつた

年末特別警戒

瓦房店警察署にては年末匪賊の警戒を嚴にするため五日より晝夜の別なく特別警戒する事となり巡回又は張込等臨所に行ふ筈

上級校希望者

瓦房店小學校では六年末の父兄會を開催した處來春同學年より中等學校に入學希望者は二十四名の多數に上り內中學校へ十四名商業學校三名女學校七名の豫定であると

義士會を開催

瓦房店小學校では兒童自治會主催の下に來る十四日義士の討入を記念とし義士會を開催し兒童講話繪畫綴方書等の陳列をなす由

小學校に寄贈

當地居住四元龍之助氏は今回他に轉居する事となり令息在學記念として金五圓小學校に寄贈した

電燈會社視察

瓦房店家庭研究會員十餘名は五日午後一時より瓦房店電燈會社の實見をなし谷事務の說明を聽取した照明ラヂオ諸器械等に就き觀察の眼を開いて居た

吉村主事講演

瓦房店地方事務所吉村社會主事は八日午後一時半より家庭研究所に於て會員に對し吾々の生活に及ぼす思想の力と題する講演をなす事

遼陽
心中男判決

遼陽本町滿月の藝妓笑太郎と心中した片割れ榊本の公判は四日午前十時から領事館法廷に於て佐藤司法領事菊池檢事々務立會で開廷されたが佐藤司法領事は被告榊本を懲役二年に處し五ケ年間執行を猶豫する旨言渡したが被告は判官の情ある判決に服罪する旨を述べ退廷した

歲末特別警戒

遼陽警察署では五日から三十一日迄晝夜連續の特別警戒を開始した

副領事の招宴

遼陽駐在山崎副領事は八日午後五時半か、鞍山獨立守備大隊長ゝ主賓に遼陽駐箚師團及び滿鐵課所長其の他を官邸に招待すと

師團長視察

山本第十六師團長は幕僚を隨へ六日十一時發列車で鞍山及び大孤山視察の爲め出張した

淸鄉連座會

遼寧省淸鄉總局からの通令に依り遼陽縣では冬期警戒の爲め縣內各村十家連座會を實施すること

人事

▲松木鞍山署長　四日遼陽來去

▲齋藤鶴太郎氏(辯護士)同上

▲杉野耕三郎氏(辯護士)同上

▲高塚源一氏(大連市會議員)同上

▲長山遼陽署長　五日朝奉天へ

大石橋
有志相談會

五日午後二時より地方事務所會議室に於て新年の互禮會並に今回の震災地罹災者に對する慰問寄附金募集其他に關し官民有志相談會を開催した、互禮會は例年の通り一月元日午前十一時公會堂に於て催す事となつた會費は金五十錢昨年通り名簿を作製し出席者に贈呈する震災地罹災者慰問寄附金募集は關東廳內務局長の通知に基き月給生活者は高等官月收百分の一判任官以下は二百分の一を寄附する事とし市中側は各自五十錢以上とし來る二十日までに各區長より取纏め地方事務所庶務係に屆ける事に決した其他神社の修理改築等に關し種々協議を重ねたが結局明年春期に會議を開き相談する事として四時解散した

大森地方部長

大森地方部長は初巡視のため來る十日午前十一時五分着の列車にて鞍天より來石同夜一泊翌十一日午前營口に赴き同地に一泊の豫定であると

鐵嶺
また氣乘り薄の歲末大賣り出し
商人側は廿日過に期待

商友會主催の恒例年末大賣出しは豫定の如く五日から聯合三十軒一齊に彩旗美しく開始したが初日は未だ氣乘り薄く各店とも大した賣行を見なかつたが二十日過ぎともなれば官廳會社のボーナスが渡り一般の懷ろも溫かくなるので購買心が出るであらうと見てゐる今年は景品の趣好を變へ一等百圓、二等五十圓の商品券以下八等まで空籤なく五圓買上げ毎に抽籤券一枚を贈つてゐるが一等百圓に一般の興味が注がれてゐる

飛降りて危篤

四日午後十一時十分着列車が鐵嶺驛構內に入り中ホーム附近を徐行中突然三輛目の客車から飛降りた滿力態のみ邦人あり頭部を强打し右耳から出血し腦震盪を起して人事不省に陷りたるを乘務車掌が發見驛員の手によつて滿鐵醫院に擔ぎ込み應急手當を施したるも生命危篤、負傷者は原籍住所氏名不詳なるも前後の模樣より察するに機關區南信號所附近の建物や電燈多きを見て驛を乘越したものと早合點し慌て、飛び降りたものであらうと

新戲曲座興行

松田演藝部では本年最終の實演興行として全滿各地に好評を博した新戲曲座二條昌子とその一黨を招し今七日から二日間公會堂において華々しく開演する由出し物は特に十八番もののみを選定するが一座の俳優は最も好評あり特に脚本

社告

これまで吉林に於て弊紙販賣の一部を扱つて居た辻川氏と今般都合に依り取扱を中止し全部從來辻川氏名義のものを御購讀行の椎元滿氏に取扱はしむることに致しましたからこの段各位に御通知申し上げます向下さいましたお方も十一月分よりの新聞代は勝手ながら報行社へ御支拂ひ下さいます樣御願ひ申します

滿洲日報社販賣部

仙遊記(六十六)
不老不死
竹內克己
淺枝次朗畫

仙人の藝妓買ひ

それから二三日すると、温公子は一人で馬車を雇ふて、試馬坡の金鐘女のもとへ出掛けた。村の近くまで來ると向ふから、面は秋月の樣に凉しく、髯は…の樣に麗々とした一人の道士がやつて來る。如は車の上から之れを見ると忘れもせない冷于冰なので、急いで車から降り、恭々しく禮をなし

「冷先生でございますね。しばらくでございました」

冷は陝西の大飢饉に苦む人民を救濟してから、猿不邪に別れ、連城壁、金不換を泰山に訪れるべくこゝへ來たのであつた。

「あゝ、溫公子ですか、母上がおなくなりですね」

「いや、よくご存じで、ともかくこゝではお話も出來ません。丁度近くに私の知り合ひの家がございますから、どうぞそこへ。お別れしてから色々のことが次から次へと起りまして……」

「では御邪魔してお話を御伺ひすることに致しませう」

二人は數軒屋の鄰三の屆方にいつた。

これはとんでもない所に來たと冷は思ふのであつたが、今更引返すわけにもゆかない。すると金鐘兒がチョコ〳〵と小走りに迎へに出て來た。

「まあ、ひどいわあなた。あの日すぐ來るとおつしやつたくせに今日で幾日になるとお思ひになるの」

「いや、どうも……つい忙しかつたものだからなあ……こちらの方はごく仲のいゝわしの友達で冷さんとおつしやるのだ。早くご馳走をな。だが冷さんは煮炊きしたものは召し上がらないから、そのつもりで……」

流石に人を見るのが營業の金鐘は、服裝はまづいが氣宇普通でない冷を見て、尊敬の念を起してゐた。

「冷先生、今來たのが玉磬で、前の金鐘です」

そのうちに玉磬も來て挨拶をする。

「いやどうも、どれもこれも別嬪さんですね。所で溫公子、あなたはまだお母さんの喪中の筈ですのに、なぜ家に居ないでこんな所に來るのです」

「一言もありません。然しお話しをすれば愧しいやら、殘念やらで……」

それから溫世叢から叛逆罪と見なされ金をとられた事から、溫友のぺてんにかゝつたことなど話す。

冷は世の中のことを少しも知らないお坊ちやんの公子が可愛想になり、それに現在では金に困つて居る樣子なので、ふり切つて去るのも、返つて氣をひがましてはと思ひ、いゝ加減な返事をしておき合ひをしてゐた。

公子は一生懸命、心から冷を尊敬し、どうしてもてなそうかと心をくばる。冷にもその可憐な心がよくわかるのであつた。

それから又離れの亭に案内され、そこには冷の爲めに色々の果物が用意されてあつた。ふと正面の柱を見ると、木に刻つた聯句がかゝげてある。

妾の心は流るゝ水に
浮いた木の葉の紅葉の
それよ
今日は東へ
又西へ
水のまにまに南へ北へ
妾の情は露花の樣に
李さん張さん異でも越でも
赤いえにしを浮氣ぢやないが
風のまにまに散りそゝぐ。

冷、溫「アハヽヽ、これはなかゝ適切の句だ。皮肉だわい」

金鐘、玉磬が二人の間に坐つて小宴がはじまる。

「所で公子、あなたの運はこれまでは開けなかつた。これからはどうなさるお考へで……」

「私はまだ富貴功名を斷念することが出來ないのです。お笑ひ下さい。來年は都へいつて試驗を受けて見る考へです」

「それもいゝでせう、が、あなたが最もお困りの時こそ、あなたの出世なさる時なのです。それだけは申上げておきませう。そのお困り時、きつとあなたは私のことをお思ひ出しになるでせうが、私は自然にあなたの前に現はれます。そしておカになるでせう。それは都でのことです。では私はこれで失禮します」

溫公子は非常によろこび、冷の好意な歓待か頭を下げて心から謝し、是非泊つていつてくれといふ。

二人の女も

「賤しい家業ですから、先生の樣なお方をめすることは失禮かも知れませんが、此の村にはに宿屋もございませんから、ここで……」

「いやどうしまして、ん御厄介になつた。ついでにさめて貰ふかな」

すると世間見ずで子は

「こんなことを申しもしれぬが、今夜は…めに戒を破つて頂く…玉磬と一つ泊つて…」

「結構です、だが玉…が薄い樣ですから、…お愛下さらんか」

「アハヽヽヽ、…下の奇人でいらつし…も定めしよろこぶこ…知致しました。私の…たのことですから…」

溫如玉は冷が本氣…して居るらし…ぬことを言ひ出した…するのであつたが、金鐘に向ひ

「おい、お前も仕合…」

冷はにこ〳〵と默…金鐘はそつと溫公…まゝ何にも言はず、…いつた。

此の金鐘といふ女…我まゝもので、男が…あるお客でなければ…といつても相手にせ…が、衣服はきたない…で風流なのを見て心…それに仙人といふ…中での〇〇もうまい…公子からたのまる、…らしい風をよそはひ…好き心も手傳つて、…冷と寢ることになつ…

補血強壯增進劑
ブルトーゼ
活動に耐え得る體軀となれ
身体は運動に際し筋肉や其他諸器管等が物質の消費を盛んに行ふものであります 從つて他方分解產物が多く出來ます これに對し必要な物質を補給し不用物を運び去るものは血液であります 所謂血液の循環作用の盛んなることが是非必要となります 血液を作るものは蛋白質と鐵とでありますそれ故活動する人は常にその重要な役目をする意味に於て合理的有機性鐵劑ブルトーゼを御服用になることは保健上是非必要なことであります
ブルトーゼは、已に消化吸收を經て人體の臟器中に必存する有機性鐵蛋白酸化合物と同一々成で吸收同化され若しく血液を完全に剛補して榮養を增進する効果が血臟器機能を增加して發育不良となりまず體重を増加して若く劇血多に衰弱せる全身の根本的補強に卓効して特殊價値を誇る所以であります
▼ブルトーゼには體質と症狀とにより用途を異にする
アルゼン
ヨードナ
キナ
グアヤコール
の五製劑あり
大阪道修町二 藤澤友吉商店
B—288
大連市西廣場西入る電車通
池田小兒科專門醫院
池田嘉一郎
電話六三六五番
建築・設計・監督
構造・計算・鑑定
宗像建築事務所
大連市連鎖商店街広小路
工学士 宗像主一
電話二二三五五・二二二一六番
新
天感ランプ
天感瓦斯入電球
もちよく明るく電気がお徳な經濟電球
内は艶消、眞珠の表
放つ光は春の色
TEC
東京電氣株式會社

忘年會客の凄じい爭奪戰
『安い』を標語に展開す
エロ不足を覘ひ肉薄の小料理店 目覺しいカフエーの進出振り

▼…緊縮、節約、減俸、淘汰等々……不安な合言葉がサラーメンの末梢神經を錐揉みに揉み初して減收、投賣、倒産等々、中產工業階級の年の瀨越しの不況が目先に迫つても師走の桃旬を過ぎた慌ただしい市民の腦裡に浮ぶのは「忘年會」の歲末行事である

▼…不景氣の聲を追つ拂ふ意味からか更始一新の新春へ肩の荷も輕々と迎へる前祝ひからか忘年會まで愉快に年越し快飲、談笑の出來るオアシスを醸し出してくれるのだ

▼…さて――夕食を待ち構へた妻君に鹽引の二ツ切れは土産にしなくとも、ボーナス袋が乾からびぬ限り忘れられない忘年會を覘つて大連市中の料理店、飲食店それに一年の粉黛をこゝ二旬に化粧を凝らしたさりぐの藝妓ガール、サービス・ガールが一樣に凄じい宴會爭奪を開始した、不景氣と宴會諸事萬端時節柄と尻ごみする連中も忘年會だけは避けられぬ年貢と諦めたかどうか、大連の青樓、酒店はそろ／＼これらの申込みで活氣づいてゐる

▼…美濃町約三百の藝妓ガールを算盤玉と線香代の煙の中にあやつる大連檢番の景氣は不況は昨年からの持ち越で年末の宴會にはそろ／＼頭數を並べた豫約が增えて來た、宴會時間は大體三時間が決りで料理店の申込に左右されてゐるがお客一人にガール一人宛といつた贅澤な宴席は少い、まづ精々二人の客の間を器用に泳がせる二人に一人當が上等どころだといふ

▼…プチ・ブルヂョアジの宴會景氣はどんなものか、一日ごろから豫約の口がかゝつて來たのは先づ一流の二、三軒、それも從來と違つて費用構はずの後勘定で一人前いくらと限らないのは少い、七八圓から十圓どまりが見當、まあ御時世柄と逃げを打つて鍋物でいゝから五圓限と克明に懷で算盤を彈く怜悧な節もないではない、然し流石に年忘れの宴席だけに女氣は食氣より果報だとあつて客五人に女一人は料理店の粹な計らひだといふからエロの一九三〇年掉尾のお笑ひだ

▼…場所柄が惡いと考へた料理店ではこのエロの不足を覘つて一流に肉薄した、お一人前五圓五十錢が通り相場で料理九品に、女氣たつぷり、これは主として內藝妓を置いて料理店を兼業してゐるところの強味で待つ間と、ガールの送り迎への車賃の負擔がない處が好餌、エロの豐富と安値が人氣に投じてか、去年よりは申込者が多いやうだとの御託宣だ

▼…こゝに目覺ましい進展ぶりを見せたのは食氣を賣物のカフエーと飲食店、脂粉、紅唇の藝妓はなくても酒と食物ならといふのが看板、鍋物を主にして酒呑放題料理食次第でウンと凄じい潜行運動を開始した、醉つた上での嚴談を豫想して先づ酒食だけの忘年會黨はこゝらに來る

▼…色、酒、食の三題揃つた遊廓もグーンと觸手を伸ばして某一流の家では酒はいくらでもサーヴィスガールにも豐富それで五圓で持込んだとか、さては星ケ浦海岸の上流どころへ呼ばれた美濃町の美形が送迎にバスに滿載されてこれぢやアお太鼓帶も髮形も滅茶々々だわと悲鳴を擧げたとか、忘年宴が生む珍談奇語も年の瀨らしい焦躁にざわめいてゐる

は日本人の年中行事中その最後を華やかに粉飾する、酒と食ひ氣と色氣がほんのりと混亂する忘年宴は一年間の快、不快、から傭主、被傭者の社會的羈絆をまで完全に斷ち切つて社長がお友達に下降し課長が同僚になり、さては日頃の謝馬哲學の傀儡が「醉ふた上」での戲れ言葉となつて吐き出される

高松宮兩殿下 羅馬に御到着

【ローマ五日發電通】高松宮同妃兩殿下には午後七時五十分レグホーンよりローマに御到着、停車場貴賓室にてイタリー皇帝御名代アシナリ、ディベルネッツオ將軍を始め日本大使館員等多數御出迎へを受けさせられホテルに入らせられた、兩殿下には明六日エマヌエル三世陛下を御訪問遊ばさるゝ筈である

不思議な霧
この中で呼吸しては苦痛を感ず ブラッセルに奇病

【ブラッセル五日發電通】歐洲大戰當時の最激戰地として知られたリエージュ・ナミユール兩市間のマアス流域一帶の地方で五日突如原因不明の奇病發生し、患者は續々病院に運び込まれ既に死者三十二名を出し、外に十一名手當中であるが、原因は毒瓦斯中毒らしくまだ正確には判明せぬが一部の說によれば何處からともなく不思議な霧が吹き寄せて來てマアス流域各地にひろがりその霧の中で呼吸したものは忽ち身體に障害を呈し苦痛を感ずるやうになつたとの事で、罹病者は外にも多數ある模樣である、或は大戰中ドイツ軍が穴藏にでも貯藏して置きその儘砲擊で埋沒されて了つた毒瓦斯か何かのはずみで氣化して擴がつたものでないかとも想像される

日本橋校の講堂落成祝賀

大連日本橋小學校講堂その他改築落成祝賀式は五日午前十時から同校の新裝成れる講堂で擧行、市役所民政署各小學校、兒童保護者代表等多數列席、大連一を誇る高サ六十尺の旗竿に日章旗が揭揚せられると同時に式は開かれ、來賓兒童には紅白の菓子にそへて供物の餅の分與あり、午後一時から兒童の手になる圖畫の展覽會一年から六年迄の學藝會が催され、兒童も保護者も大喜びで午後四時散會した（寫眞は四年生の舞踊「エジプトの夕」）

十日も經てば明確にお答へ
濱口首相の容體について 鹽田博士は語る

【東京五日發電通】帝大鹽田外科に入院加療中の濱口首相の容體は漸次良好に向ひつゝありとの事であるが、遭難以來既に二十二日を經過するも最初發表された如く經過は思ふやうに進行してゐない模樣で、腹部の切開個所はまだ完全に固着せず依然ガーゼの取替へを必要として居り家人と主治醫のほかは絕對に

面會を 禁止して安靜を保つてゐる食物は流動物のほかとパンを攝取してゐるが目下の處退院の時期も明白でなく年內の退院は至難の事といはれ從つて來議會出席出來るかどうか疑問とされてゐる、五日午前十一時首相の容體につき鹽田博士は語る

首相の容體に就ては世間で色々疑ひを以て見てゐるが今日の處順調である、もう十日位經過せぬと何時退院出來るか明確に申上げられぬ、立つて步けるやうになるにはなほ一月位はかゝるだらう、何分老齡の事であるから我々としては

極めて 慎重な態度を採つてゐるがもう十日もすれば明確な御答へが出來るであらう、議會に出席出來るかどうかは私からは何とも言へない

送金は 振替貯金で
安全で料金が安い

年末も押迫つたので國元へ送金する者や商品代を送る者が漸く增加して來た、これ等は多く郵便爲替や郵便振替貯金を利用するが、遞信當局の語る處に依れば最近一ケ年間の爲替に依る

送金高 は約六十三萬一千七百餘口、この金額千八百九十八萬九千餘圓、振替貯金に依る送金高は約十二萬三千五百餘口、この金額二千百二十六萬餘圓の多きに達してゐるとの事である、利用者はその何れに依るのが最も利益であるかと云ふと電信爲替のやうな特に至急を要するものは別としてその他のものは振替貯金に依るのが第一安全で、しかも料金が

低廉で あらゆる處から漸くこの制度を知つて居る者は金高の多少に拘らず皆この振替貯金を利用してゐる狀況である、卽ち郵便爲替に依ると爲替證書は普通差出人が自分で送達せねばならない結果途中で間違ひがあつた場合自分で責任を負はねばならないが、振替貯金に依れば受取人が振替貯金の加入者でない場合にも拂出證書は郵便官署が受取人に送達する關係上萬一の場合には郵便官署で

責任を 負ふてくれるから安全である、若しまた發受人が何れも加入者である場合には單に口座の上で取引を濟ますのであるから何等危險はない、また送金者が加入者でない場合でも受取人たる加入者の口座へ拂込めばよいのであるからこれまた極めて安全である、次に料金を比較して見ると

內地へ 送金するとすれば假りに二十五圓の金を郵便爲替に依るときは左の通りで廿八錢乃至三十八錢を要するが ▲爲替料金二十五錢 ▲譯書送達の郵便料金三錢 で若し書留に依るとすれば更に十錢を要する、それが振替貯金に依れば

▲送金人だけが加入者である場合十五錢 ▲發受人が何れも加入者である場合四錢（金高は何程でも同一料金である）若し受取人の方が直ちに現金を受取る必要がある場合は右四錢の他現金拂出料金として別に五錢を要する ▲受取人だけが加入者である場合八錢、若し受取人が直ちに現金を受取る必要がある場合は右八錢の外現金拂出料金として別に五錢を要する

で郵便爲替に依るよりも十三錢乃至三十四錢だけ低廉な譯である、されば常に送金の要ある者は振替貯金の口座に加入してゐる方が

得策で 振替貯金は決して商人とかまたは常時多額の送金をなす者のみの專用物ではないのである、加入の手續は加入請求書に基本額十圓（年三分六厘の利子が付く）を添へて郵便局に差出せば詳細な事は郵便局で指示して呉れるから別に面倒な事はない、現在大連の振替貯金口座に

加入し てゐる者は四千六百七十四人であるが少くとも各戶加入するとしてこの十倍位に達せれば遺憾なく利用されてゐるとは言はれない

スケーチングを語る
アイスホッケーに就て（2）
北河清

私はアイスホッケーの將來を有望視するものである。他の競技よりもより盛んになる運命を持つ事を認める、その理由は

××

現代人はスポーツと緣を切つては生活は無味である、あらゆるスポーツを見て眼が肥えて居る、批評の眼を持つて居る爲にあまり單純なる組織のものは魅力が少い。と云つてアイスホッケーは決して複雜なものではない、しかしどんな天才でも明日から出來ると云ふ樣な競技ではない。走つて行ふ競技は、走ると云ふ事はわれ／＼は誰でも出來る事だ、しかし氷の上をスケートを穿いて滑ると云ふことは一日では出來ない、その滑るといふ特殊技術の上に組立てられたる競技である、競技中でもある種の高等のものと見ることが出來る

××

われ／＼は觀覽競技と云ふもの、面白味と云ふものを忘れることは出來ない、アイスホッケーはラグビーの如き男性味を持ち又籠球が持てない氷上滑走の美觀がある

××

如何なる競技でもプレーのテンポの速いものでなくては大衆をひきつける力は無い。特に現在はスピードの世の中である。事毎にスピディーを要求して居る。アイスホッケーはあらゆる觀覽競技中一番スピードのある競技である。廣いリンクの中にあの目まぐるしい程のプレーを演ずるアイスホッケーは一度見た事のある人には忘れられる事の出來ないものである。ある寒い戶外に立つてゞけて終りまで見て居る程のファンになる

××

私自身にしても殆どあらゆる運動競技をやつて見たがアイスホッケー程面白く感じたものはない。選手自身にしろ觀衆にしろ愉快な現代的競技である、而して日本のアイスホッケーが世界的に進出し得るや否やは昨年の歐洲遠征によつて證明された。一番最初に全ドイツチームとは十五對四の試合であつた、色々コンデイシヨンのハンデイキヤツプはあつたものゝ、彼等は強いと思つた。我々を飛ばして進む彼等、幾度も幾度も攻めてくる猛烈さは體力の差で如何んともする事が出來ないと思つた。しかし最後にウインで澳國チームと試合をした時は此は間違つた考へだと思つた。彼等は可成りの如き選手チームである、その上指導者のカナダ選手を加へて居り、試合は七對四であつた。しかしそれも五對四の後庄司君が負傷し四內君も足をやられて退場してからである、私達は體力の差異は技術によつて補ひ得ることを知つた

××

日本人は恐るべき手先の器用さを有してゐる。彼等以上の技術によるのは困難なことではない、そしてそれで彼等の體力に對する補ひとすれば彼等を征服し得るのである

××

近來滿洲に於ては心しく冬季運動について考へられる樣になつた。しかしまだ／＼微々たるものである。特に一般の人々の理解と云ふものは皆無であるが此所で滿洲に於ける冬期運動必要論を再び述べる事は省略する。スケート競技の一般人に無理解であつた反面にこれを理解する人々が發達の爲に振つた影の努力は大なるものがある

××

スピードスケーチングは安東を中心に、アイス、ホッケーは奉天を中心にして今日の隆盛を見るに至つた。醫大は今年は理想的ホッケーリンクを作り、夜間練習も出來てます／＼その腕前をあげ常に滿洲各地のチームを指導して行く事が出來るであらう。滿洲各地はリンクを作ればいくらでも出來て充分に練習する事が出來る。しかし大連の事を考へて見ると憫なくなる

飢と寒さに泣く哀れな一家七人
妻女の重い病ひから

年の瀨も押し迫つた昨今、瀕死の妻を抱へて一家七名、餓と寒さに喘ぎ乍ら世を呪つてゐる哀れな一家――今夏沙河口納涼園に出演した旅役者上りの沙河口元町八二鹽川田梅治（三三）は妻フキノ（三〇）との間に章一（九）キヨコ（七）マ（五）末子（三）房子（二）九名の子持であるが、不幸にも妻フキノが六月房子を分娩後病床に臥れてからは大正小學校三年生である章一の學資も續かず十圓の家賃も支拂ひ出來ず十一月十五日以來は市役所の同情によりフキノを聖愛醫院に入院せしめ專心加療せしめてゐたが病狀は昂進するばかりで現在は肺結核に腸結核まで併發し命旦夕に迫りキヨコはまた生れながらの白痴である、これを見兼ねた附近の婆さんが子供を世話して呉れるので梅吉は新聞の配達から方々の[illegible]仁輪加などに出演して稼いでゐるがこれとても多分の收入がある譯でなし嚴寒に向ひ着るに充分な着物なく充たすに充分の食物がなく啼く人の涙を誘つてゐる

ネストル大主教の身邊も漸く危險
哈市支那官憲の白系露人壓迫

哈市在住のキリスト教宣教師ニコライ・ペテーリン氏は五日六時四十四分着列車で來長、八時三十分發列車で南行したが、氏は新京經由東京に赴き在京のセルゲイ大主教と會見する由でその語るところによると

最近支那政府がモスクワ會議の成立に

焦慮し つゝある事は爭ひ難き事實で現に北滿及びハルビンにおける支那官憲の態度は全然ソウエート政府の方針に盲從の態度を採りつゝある、卽ち、曩にソウエート側から要求せる在哈白系露人の主腦者追放の如き直ちに彈壓の手を下し既に一部有力なる白系露人は續々上海方面に避難しつゝある、而して最近に到り支那官憲の辣腕は益々甚だしきを加へ在哈基督教大主教ネストル師の身邊も危險を

感ずる に至り、支那官憲は師をもまた追放せんとの意嚮を有する事が、明白となつたので、自分は日本に直行してセルゲイ大主教と會見の上これが對策を講ぜんとするものである（長春電話）

捕へて見れば巡警なり
營口の二人強盜

去月二十四日午前四時半ごろ營口南新街公平酒局韓錫山方に二名の強盜押入り現大洋票六千七百二十元を強奪逃走した事件については その後支那側警察に於て極力捜査の結果、犯人は意外にも第三分局の王、劉の二巡警なることを發覺し直に取押へ免職處分に付し嚴事訴追中である、犯人の自白に依れば當日同酒局に於ては賭博を開帳し居りこれが取押へのため臨檢したるが彼等は早くも之を覺知し風を喰つて既に逃散せし後にて前記の大洋票が現場に散亂して居たるを拾得惡心を起し隱匿所持せるものなりとのことなるも被害者の申立とは甚だしき相違の點あり目下嚴重取調中である（營口電話）

行方不明の少年ヒヨツコリ歸る
どこに居たか判らず

四日夕刊既報、去る三日午後二時頃大正小學校通學の歸途突如姿を消して行方不明となつた市內沙河口大正通り六二寶久榮富さんの實弟大正小學校四年生德榮さん（一一）の行方については所轄沙河口署では管內各派出所に手配して捜査すると共に一方寶久さん方では占を聞いて歸宅した旅順海軍驅逐隊勤務の實兄等も心當りに就て各方面捜査中であつたところ五日午後二時ごろ附近の友達につれられてヒヨツコリ歸宅したが、家人がそれまでの行動を取調べたるも單に沙河口市場附近に居つたと語るのみで何等取とめたことは判らない

大西の無罪を誤解するな
滿淵檢事の談

【東京五日發電通】大西愛治郎に係る天理研究會不敬事件は五日大審院において無罪の判決言渡があつたがその理由は大西の所爲は不敬罪を構成するが精神鑑定の結果心神喪失の狀態にあつたものと認め無罪としたのであるといふにあり立會の滿淵檢事は彼の如き行爲を法律上罪にならぬと誤解されては大變だと語つた

養子夫婦の離緣訴訟

市內平和街六五番地料理業港機こと鈴木藤之助及び妻チカは木原辯護士を代理に婿養子たる東京在住の鈴木春吉及び同人妻ハツヨの離緣請求の訴訟を五日大連地方法院民事部に提出した理由は

原告は大正七年十二月被告ハツヨを養子となし更に昭和二年ハツヨの婿養子として春吉を迎へ緣組させたが、兩人は養父母の恩義を忘れて昭和二年十二月五日無斷家出し、今日に至るまで音信不通であるといふのである

密輸阿片押收
手配で長春署

四日午後八時ごろ長春警察署內は遽に緊張し署長數名は長春驛に急行し同九時ごろ多數の小包を押收して引揚げた、探聞するに、同日公主嶺警察署より同夜二十時三十分長春着、大連發の急行列車內に多數の阿片密輸入品を搭載せる旨移牒があり、同署で引受人逮捕の目的で長春驛に手配を行つたが、發覺を察知したか引受人は遂に現はれなかつたので、阿片約八百目包七十個（價格約八千五百圓）を押收して引揚げた發送地は奉天あたりではないかと觀測されてゐる

海の唄 「一三五」

仲木貞一作　林唯一畫

出　沒（八）

丹波屋の幸吉、田部と月枝の三人は、その日、朝早くから旅順へ出かけた。

月枝は自分が一番のり氣になつて云ひ出したことであるから、何時もの朝寢で、機嫌の惡いのには似もやらず、この日は誰人よりも早く起き出て、幸吉や田部を急き立てた。

汽車が大連の停車場を發車した時から遠くで鳴る半鐘のやうな不思議な優しい音が、列車の下の車輪のところに聞えた。固止めが車輪に觸れて、こんな音を立てるのだらう！ゆつくりした客車の中でこの音響が耳立つて聞える。

月枝は旅順へ着くまで、この音ばかりを氣にした。

旅順の停車場に着くと、三人はそれから古風な餘り綺麗でない馬車に乘つて、さびれたやうな舊市街を一通り見て通つてから、有名な二百三高地、砲臺や、白玉山塔などを見物した。

「えらいもんやなあ！おそろしいこつやなあ！」

幸吉は、それ等の何かを見る度にいつもかうして感歎してゐた。

「面白いく、實に痛快だなア……」

田部はたゞかう云つて、もの凄い形に砲臺の打ち拔かれた痕など、眺めて幸吉に對して、わざと反抗的に戯れるやうな態度をとつたりした。

月枝は、そんな戰爭の跡よりも此地の博物館が一番珍しいと思つた。

その博物館にあるものは、何れも内地の博物館などに在るものよりも、戰役記念の品々でもあり、また大きな國、古い國のものを蒐集してあるだけに、遙かに珍品も多く、いろくの參考品が納めてあると月枝は思つた。

そして、其の中で一番眼を止めさせのは、ミイラであつた。ミイラは丈六尺餘りの男が二人と、五尺餘りの女とであつた。埃及のミイラと違つて、これは五千年も前に死んだらしい人々の死體が、此の土地が乾燥し切つてゐる爲に自然に凝固して、出來上つたもので、あることであつたが、その氣味の惡い飾物の硝子箱の上には、何年何月O氏が蒙古旅行の際、支那新疆天山南路に於て、これを發掘して、此處に納めたといふ細い證明書が添へてあつた。その他此のミイラの發掘者のO氏が、此館に納めたといふ支那蒙古地方の珍品が、數限りもなく陳列されてあつた。

「田部さん、ほんとにQといふ人は豪い人なんですね。今何處にいらつしやるんでせう？」

と、田部に向つて、斯う云つた月枝は、飽かずにそれ等の品々を觀てゐたのだ。

「さあ、今、青島にゐるかも知れないね。此の間大阪で演説したといふが、また此方にゐるでせう！それとも上海へ行つたか……」

と、田部も何か一心に視入つてゐた眼を、月枝の方へ向けて云ふ

「さう？青島なんでせう？……私一度でいゝからその人を見たいわ！どんな男か……」

「大きな男さ、立派な……矢張あゝいふ大きな男でないと外國へ行つても恥かしいね。フツ、秋月みたいな貧弱なのぢやね。ほんとに見たところからケチ臭い奴だ」

と、云つて、田部はわざとらしく肩を怒らしてみた。

「へツ、大きくたつて、醜いんぢやれえ。小さくたつて綺麗ならまたそれでいゝのよ」

月枝は何か癪にさわつたやうに高い聲で怒う云つた。コツリくと鼠のやうに幸吉が背後から來た。

「あゝ、幸さん、今度青島へも伴て行つて下さらない？ほんとに私は旅が好きだわ」

月枝、幸吉を見ると、媚然として甘へるやうに云つた。

幸吉は、何氣なく月枝の言葉を

自嘲に近いものゝやうに感じはするものゝ、それを受け流す氣にもなれなかつた。

新年俳句募集

▲課題「社頭雪」
▲句數一人五句以内のこと
▲締切は十二月十五日
▲封筒に滿日俳句と明記
▲原稿は東京市牛込區若松町八二島田青峰宛
▲賞品　天五圓、地三圓　人二圓

新年川柳募集

▲課題「羊」一人五句以内
▲〆切は十二月十五日
▲大連市能登町十高橋月南宛
▲賞金天（五圓）地（三圓）人（二圓）

暮の雜誌界

世の不景氣は益々深刻化して來たが暮の雜誌界は益々異數の發展振りを示してゐる、ここに雜誌の元締たる講談社發行の雜誌はこの不景氣を吹き飛ばした活躍振りを見せてゐるのは時節柄愉快である

油斷のならぬ 赤ちやんの便秘

やたらに出來ぬ浣腸や下劑

人口榮養の場合は勿論母乳で育てる場合でも、赤ん坊は僅かな不注意から胃腸障害を起して、便秘勝ちに成るものです。

無論他の原因で便秘する場合例へば先天的に腸機能に缺陷のある兒や、哺乳が不足で榮養が少いために便秘と云ふより寧ろ無便となるやうな事も有ります。

而し乳兒便秘の大部分はこの胃腸障害に起因して居りまして、放置しますと遂には小兒削痩症等の重症に陷り取り返しのつかぬやうな事になります。

然るに下痢の時は家中大騷ぎをするのに、便秘をしても一向氣にせぬ親達がありますが、この便秘こそ嬰兒を害ふ病魔なのです。

さて便秘の手當としては誰れもが浣腸や下劑を考へますが之等はいはゞ強制手段で一時便通の目的は達しましても反覆しますと習慣性となり、且つ自力の弱い乳兒が衰弱して居るのでありますから、益々衰弱の度を加へる危險が伴ひます。

しからば、どんな手當が良いかと云ふに浣腸や下劑は一切やめて、マルツ汁榮養療法を行ふのが最も有効最も安全な療法とされて居ります。是は別に六ケしい方法はなくマルツ汁エキスと云ふ美味な滋養品を牛乳か白湯に溶して病兒に與へるので、胃腸障害を根本的に除き自然によい便通をし、牛乳其他の榮養物が消化し得ない場合でもマルツ汁はよく消化吸收されて、胃腸が恢復するに從ひ便通をつけ榮養を増進し強健な發育を遂げしめるものであります。